

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月末	2025年3月末	別紙様式 第十四号 (CC2) の参照項目
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目（1）				
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	1,057,082	1,014,434	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203	267,203	(1) (2)
2	うち、利益剰余金の額	874,340	837,898	(3)
1c	うち、自己株式の額（△）	64,921	75,104	(4)
26	うち、社外流出予定額（△）	19,539	15,562	
	うち、上記以外に該当するものの額	-	-	
1b	普通株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-	
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	180,678	115,193	(5)
5	普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額	-	-	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額 (イ)	1,237,760	1,129,627	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目（2）				
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	21,669	19,003	
8	うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	7,839	8,261	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものの以外のものの額	13,830	10,742	(6)
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	
11	繰延ヘッジ損益の額	△ 9,622	△ 8,729	(7)
12	適格引当金不足額	14,082	15,503	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	2,687	1,188	
15	退職給付に係る資産の額	34,779	26,898	(8)
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	59	30	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	5,370	-	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	
27	その他Tier1資本不足額	-	-	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額 (ロ)	69,026	53,895	
普通株式等Tier1資本				
29	普通株式等Tier1資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	1,168,734	1,075,732	
その他Tier1資本に係る基礎項目（3）				
30	31a その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	
	31b その他Tier1資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-	
	32 その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-	
	特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
34	その他Tier1資本に係る調整後非支配株主持分等の額	-	-	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額 (ニ)	-	-	

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
自己資本の構成に関する開示事項

(前ページより続く)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月末	2025年3月末	別紙様式 第十四号 (CC2) の参照項目
その他Tier1資本に係る調整項目				
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
42	Tier2資本不足額	-	-	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額 (ホ)	-	-	
その他Tier1資本				
44	その他Tier1資本の額 ((二) - (ホ)) (ヘ)	-	-	
Tier1資本				
45	Tier1資本の額 ((ハ) + (ヘ)) (ト)	1,168,734	1,075,732	
Tier2資本に係る基礎項目 (4)				
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	
	Tier2資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	-	-	
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-	-	
48	Tier2資本に係る調整後非支配株主持分等の額	-	-	
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	18	20	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	18	20	
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-	-	
51	Tier2資本に係る基礎項目の額 (チ)	18	20	
Tier2資本に係る調整項目 (5)				
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-	
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-	
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	7	-	
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-	
57	Tier2資本に係る調整項目の額 (リ)	7	-	
Tier2資本				
58	Tier2資本の額 ((チ) - (リ)) (ヌ)	11	20	
総自己資本				
59	総自己資本の額 ((ト) + (ヌ)) (ル)	1,168,746	1,075,752	

(前ページより続く)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行連結）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月末	2025年3月末	別紙様式 第十四号 (CC2) の参照項目
リスク・アセット (6)				
60	リスク・アセットの額	(ヲ)	7,780,812	7,149,263
連結自己資本比率及び資本バッファー (7)				
61	連結普通株式等Tier1比率 ((ハ) / (ヲ))	15.02	15.04	
62	連結Tier1比率 ((ト) / (ヲ))	15.02	15.04	
63	連結総自己資本比率 ((ル) / (ヲ))	15.02	15.04	
64	最低連結資本バッファー比率	2.54	2.54	
65	うち、資本保全バッファー比率	2.50	2.50	
66	うち、カウンター・シクリカル・バッファー比率	0.04	0.04	
67	うち、G-SIB/D-SIB バッファー比率	-	-	
68	連結資本バッファー比率	7.02	7.04	
調整項目に係る参考事項 (8)				
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	117,410	103,198	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	50,198	40,526	
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-	-	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額	-	-	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (9)				
76	一般貸倒引当金の額	18	20	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	1,038	1,053	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）	-	-	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	43,579	40,040	

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定性的な開示事項

連結の範囲に関する事項

自己資本比率告示第三条の規定により連結自己資本比率を算出する対象となる会社の集団（以下、「連結グループ」という。）に属する会社と連結財務諸表規則第五条に規定する連結の範囲（特例企業会計基準等適用法人等（規則第十四条の七第三項に規定する特例企業会計基準等適用法人等をいう。）にあっては、その採用する企業会計の基準における連結の範囲。以下「会計連結範囲」という。）に含まれる会社との相違点及び当該相違点の生じた原因

該当事項はありません。

連結グループのうち、連結子会社の数並びに主要な連結子会社の名称及び主要な業務の内容

連結子会社の数： 9 社

主要な連結子会社の名称	主要な業務の内容
ちばぎん保証株式会社	信用保証業務、集金代行業務
ちばぎんカード株式会社	クレジットカード、信用保証業務
ちばぎんリース株式会社	リース業務
ちばぎん証券株式会社	証券業務

自己資本比率告示第九条の規定が適用される金融業務を営む関連法人等の数、名称、貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容

該当事項はありません。

連結グループに属する会社であって会計連結範囲に含まれないもの及び連結グループに属しない会社であって会計連結範囲に含まれるものの名称、貸借対照表の総資産の額及び純資産の額並びに主要な業務の内容

該当事項はありません。

連結グループ内の資金及び自己資本の移動に係る制限等の概要

該当事項はありません。

自己資本の充実度に関する評価方法の概要

当行は、「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」がすべてのリスクを統合的に管理するとともに、計量化した統合リスク量と当行の経営体力である自己資本（Tier1）との比較を行うことで、リスクに対する自己資本の充実度を検証・評価しています。加えて、自己資本の充実度の評価を補完する手段として、一定のストレスシナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証するストレス・テストを実施し、収益への影響などを取

締役会に報告し、対応策を協議しています。

「自己資本比率」とは、銀行が抱える予想外の損失発生リスクに対して、損失吸収バッファである自己資本の備えをどの程度持っているかという自己資本の充実度をあらわす指標です。当行では、一定のストレス時においても、国際統一基準において求められる規制水準以上の自己資本比率を維持し、銀行財務の健全性を維持できるよう、自己資本比率のストレス・テストを四半期毎に実施し、自己資本比率の充実状況についてもあわせて検証しています。

連結グループ全体のリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

銀行のビジネスモデルとリスクプロファイルとの整合性がどのように確保されているかの説明

● ビジネスモデルに係る主要なリスク

当行は、千葉県を主要基盤としつつ首都圏でのリテール基盤の拡充に努めており、事業性評価の推進と地方創生への積極的な貢献、多様化するニーズに対応した個人向け総合金融サービスの提供、業務効率化の促進、運用力・収益

力の強化などの各種施策に取り組んでいます。

預貸金業務による利ざやの増加、有価証券投資業務による収益の増加、金融サービスの提供による手数料収益の増加等、収益力の向上のため、各種施策を実施していますが、これらの施策の実施に伴い、当行及び当行グループ各社は主に次のようなリスクを抱えることとなります。

統合リスク	信用リスク	市場リスク
信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクについて、共通の尺度を用いて計量化したリスク量の総額	信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスク	金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスク
オペレーショナル・リスク	流動性リスク	その他のリスク
業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生するリスク	資金繰りが困難になること、あるいは市場の混乱などにより、不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク	■ 業務委託先に係るリスク ■ 戦略リスク など

● リスク・カテゴリー別の主要なリスクに係る管理及び開示状況

当行では、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク及びそれらを合算した統合リスクを管理する枠組みとして、リスク資本配賦制度を導入しています。この制度は、自己資本の範囲内で国内営業部門・市場部門といった部門別にリスク資本（リスク許容量）をあらかじめ配賦し、健全性の確保を図ったうえで、各部門が収益性の向上や効率的な資本の活用などリスク・リターンを意識した業務運営を行う仕組みです。資本配賦は「ALM委員会」、及び経営会議での協議を経て、取締役会の承認を受け、半期ごとに実施しています。遵守状況についても、月次でモニタリングを行い、定期的に経営会議及び取締役

会に報告しています。

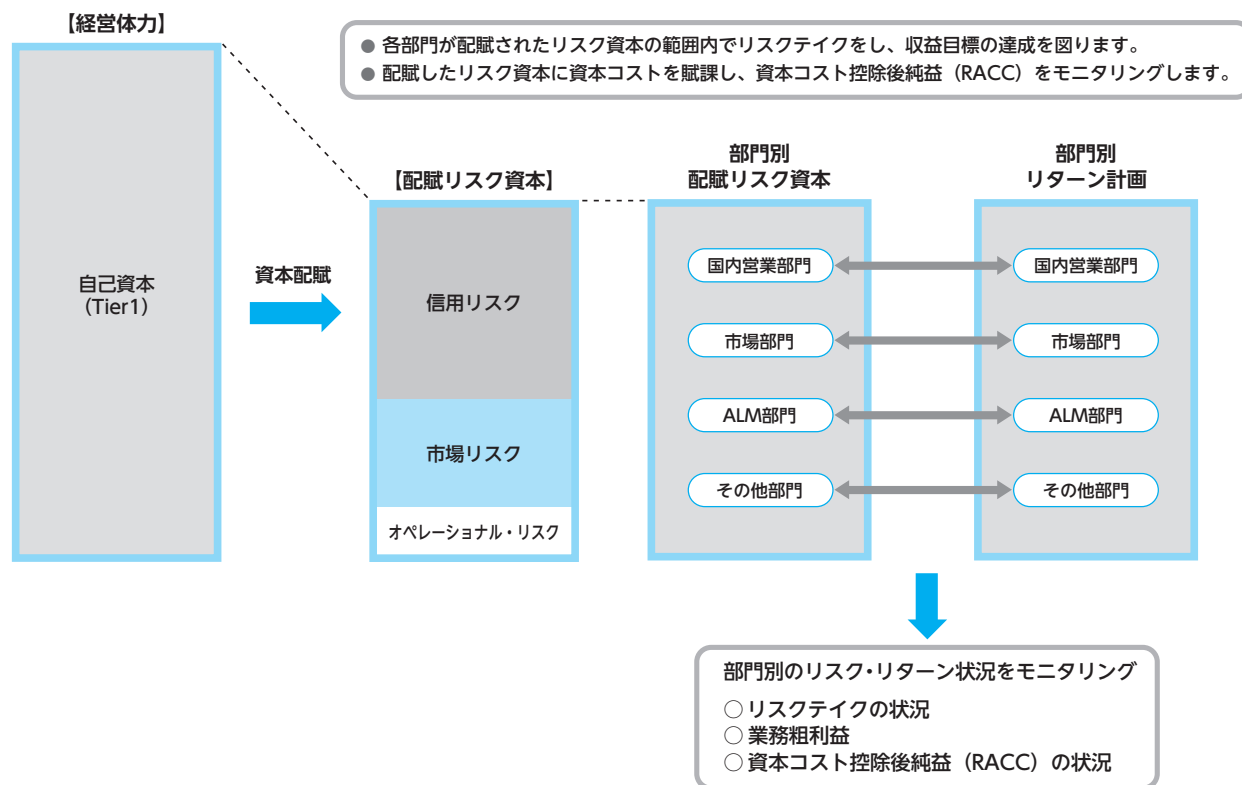
そのほか、当行では、ALM管理体制のもと、流動性リスク管理を行っています。具体的には、短期に資金化可能な資産の最低保有額や市場調達にの限度枠を設定することで、資金繰りを当行の規模・業況に見合った範囲にコントロールしています。また、市場取引における各ポジションに限度枠を設定し、市場流動性に係る損失の抑制を図っています。

また、外部委託先に係るリスクは、委託先の選定時チェックと定期的な管理により、過大なリスクを抱えることのないよう管理しています。

各主要なリスクに係る管理状況については、本誌及び有価証券報告書等で都度開示しています。

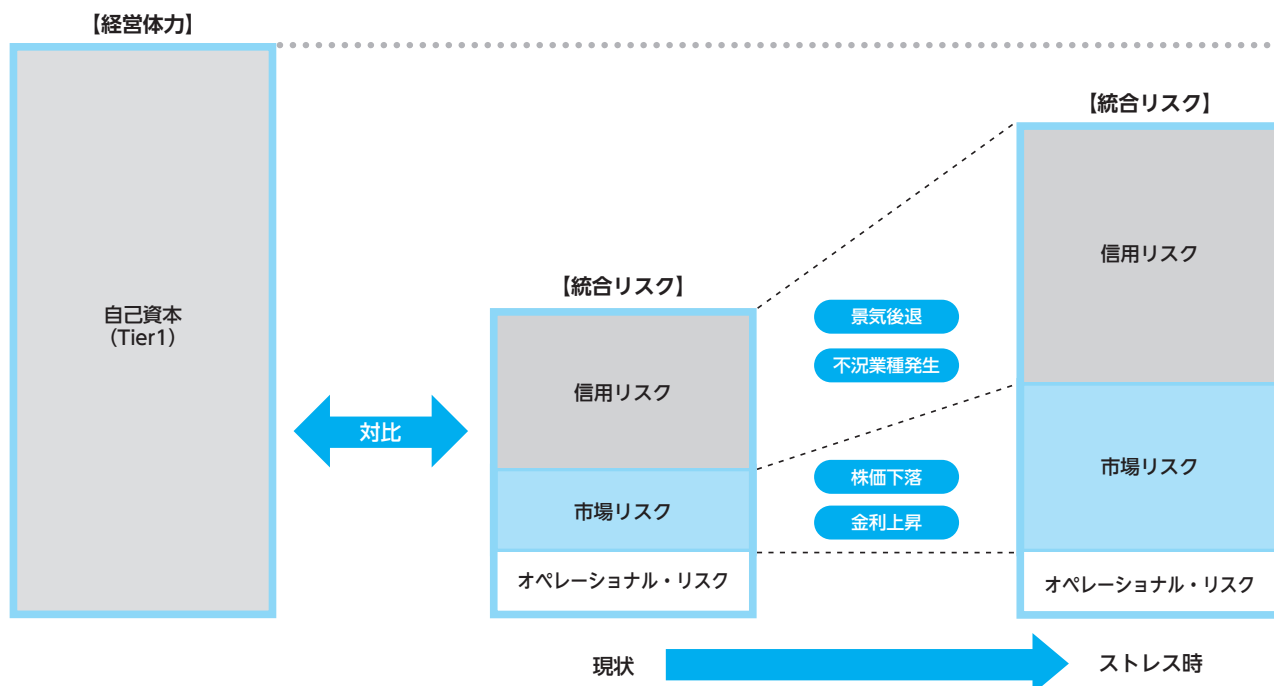
【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

リスク資本配賦制度の概要



● リスクプロファイルとリスク許容量との関連

統合リスク管理の概要



リスク・ガバナンス体制

● 銀行内の機関、部署ごとの権限並びにリスク・カテゴリー別及び事業部門別の責任の分担等

当行では、リスク管理に関する最高意思決定機関は取締役会であり、リスク管理体制を構築する責任を負い、適切で有効なリスク管理体制を構築・維持するための諸施策の実施について、必要な決定を行っています。取締役会で承認された管理体制の統括及び取締役会への報告については、グループCRO（最高リスク管理責任者）が責任を負い、リスク管理体制に係る運営の統括については、コンプライアンス・リスク統括部長が責任を負うこととなっています。

こうした体制のもと、「コンプライアンス・リスク統括部」は、統合的リスク管理部署として全てのリスクを統合して管理しているほか、信用リスク、市場リスク、流動性リスクの管理部署、オペレーショナル・リスクの統括部署及び風評リスクの所管部署として統括管理を行っています。また、オペレーショナル・リスクに関連するリスクとして、事務リスクは「事務企画部」、システムリスク・サイバーリスクは「システム部」、人的リスクは「人材育成部」、有形資産リスクは「経営管理部」、AIリスクは「デジタル戦略部」が所管部となり、「コンプライアンス・リ

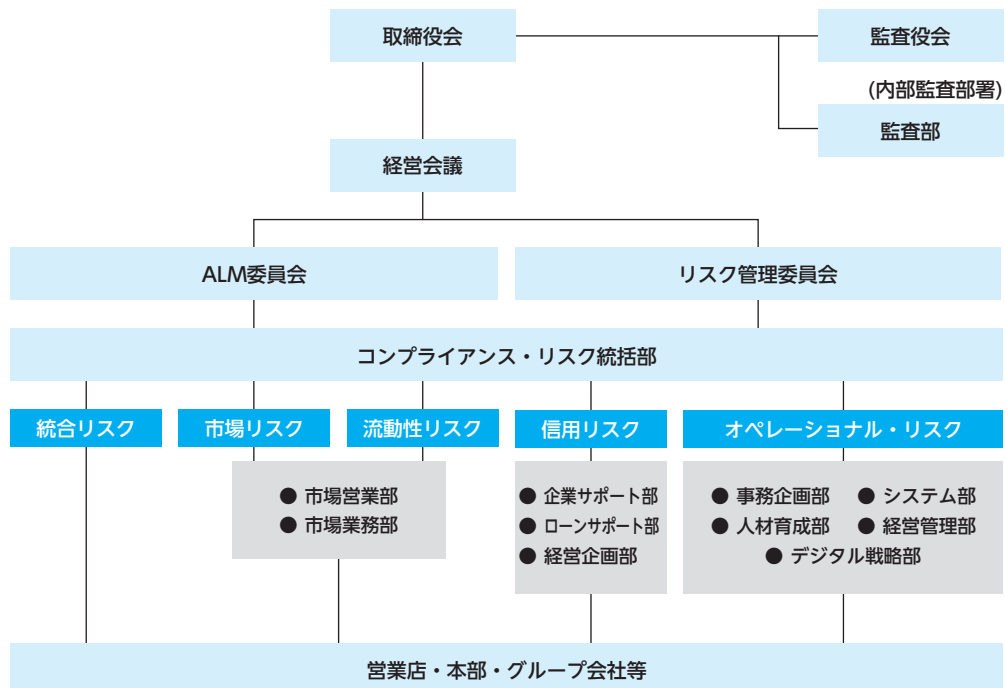
スク統括部」が一元的に把握し、管理を行っています。

これらのリスクについては、各委員会で協議が行われます。「リスク管理委員会」は、信用リスクにかかる各種報告を受け、当行及び当行グループの与信ポートフォリオの運営方針等の策定に係る協議を行っています。また、オペレーショナル・リスクにかかる各種報告を受け、損失事象等に対する具体的な対応策の検討、実施などオペレーショナル・リスク管理の運営方針等の策定に係る協議を行います。「ALM委員会」は、市場リスク、流動性リスク、統合的リスク管理及び自己資本管理に係る各種報告を受け、当行グループの資産・負債の総合管理を通じ、当行及び当行グループ各社の市場リスク、流動性リスク、統合的リスク管理及び自己資本管理についての運営方針等の策定に係る協議を行うほか、トレーディング取引のマーケット・リスク管理方針の策定に係る協議を行います。

各委員会において管理、検討されたリスク状況については取締役会に報告され、更なる対応策を検討・実施していく統合的なリスク管理体制を構築しています。また、実効性のあるリスク管理体制を実現するため、リスク管理体制が適切に運営されているかを「監査部」が定期的に監査し、取締役会に報告を行っています。

● リスク管理プロセスに関与する組織、部門間の関係

リスク管理体制図



【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

銀行内でリスク文化を醸成するための方法

● 行動規範、リミットの管理方法や抵触した場合の手続

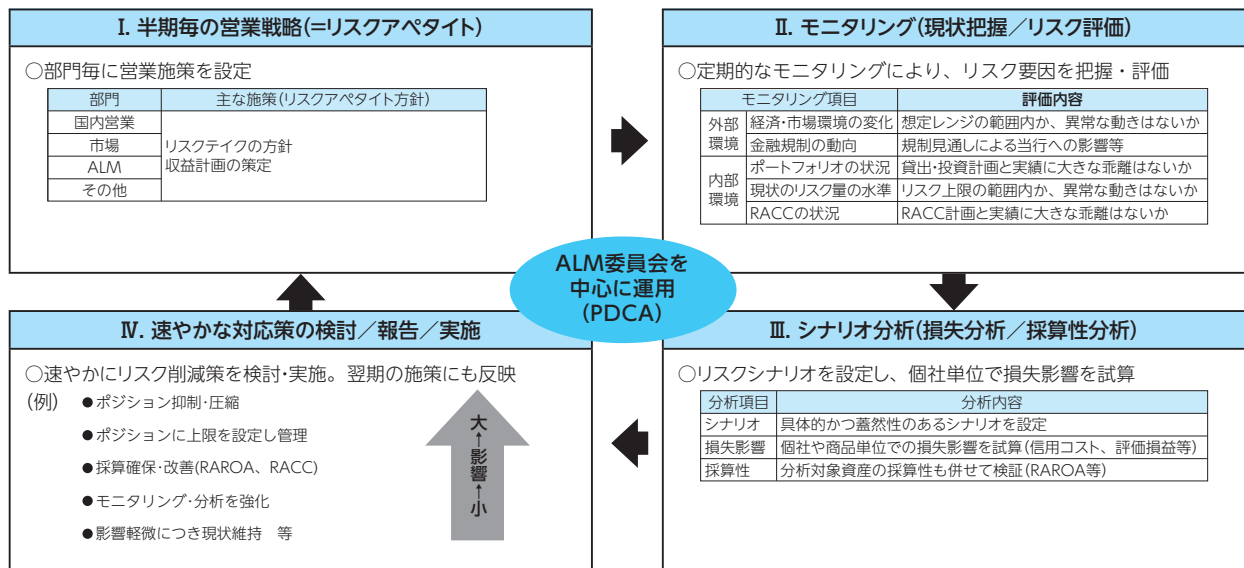
当行では、事業計画達成のために必要なリスクテイクの種類と総量を「リスクアペタイト」と定義しています。このリスクアペタイトに対して、リスク・リターンの適切性やストレス発生時の損失影響を検証する仕組みとして「リスクアペタイト・フレームワーク（RAF）」を活用しています。

RAFでは、実際に使用しているリスク量に対するリターンの管理として「資本コスト控除後純益（RACC：Return After Capital Cost）」のモニタリングを実施しています。

す。各部門が使用しているリスク量に見合った収益を計上できているか、あるいは景気変動による損失に耐えられるかを検証し、必要に応じて対策を講じています。また、アラームポイントを設定し、日次・月次で予兆管理を行っており、リミットに近接した場合は各委員会、経営会議、取締役会で対応策を検討、協議しています。

こうしたRAFや、「リスク・カテゴリー別の主要なリスクに係る管理及び開示状況」に記載していますリスク資本配賦制度の運用を通じて、経営陣とのリスクコミュニケーションを深めています。

リスクアペタイト・フレームワークの概要



※ RAROA (Risk Adjusted Return on Asset)：信用リスク控除後収益

● 業務担当者とリスク管理部署との間でリスクに係る課題を提起、共有するための手続等

上記「行動規範、リミットの管理方法や抵触した場合の手続」に記載しています。

リスク計測システムの対象範囲と主な特徴

	内部管理		規制資本	
	対象範囲	主な計測手法	対象範囲	計測手法
信用リスク	貸出金・有価証券・対顧客デリバティブ・インターバンク取引等	計算法：モンテカルロシミュレーション 保有期間：1年 信頼水準：片側99.9%	内部管理に同じ	基礎的内部格付手法
市場リスク	預貸金・有価証券・対顧客デリバティブ・インターバンク取引等	計算法：分散共分散法* 保有期間：1年（資金ディール・特金・トレーディングのみ10日） 信頼水準：片側99.9% 相関：金利とインデックスの相関を考慮 ※政策投資株式（上場）については、ヒストリカル・シミュレーション法にて計測（2026年4月1日より適用）	マーケット・リスク規制の適用対象となるトレーディング取引、為替取引、コモディティ取引	簡易的方式
オペレーショナル・リスク	事務・システム・サイバー・人的・有形資産・風評・AI等	規制資本における標準的計測手法によるオペレーショナル・リスク相当額	内部管理に同じ	標準的計測手法
流動性リスク	資金繰りリスク・市場流動性リスクに係るすべての取引	市場調達限度額、通貨別・期間別資金ギャップ額	内部管理に同じ	流動性カパレッジ比率 安定調達比率

取締役及び取締役会等へのリスク情報の報告手続

● エクスポージャーに関する報告の範囲と主な内容

リスク等	報告内容
自己資本の充実度	・自己資本充実度の検証結果 ・統合リスクのストレス・テストの実施結果
統合的リスク	・統合リスク量の算定結果 ・配賦リスク資本の遵守状況並びに使用状況 ・リスク・リターンの状況 ・リスクテイクの状況 ・オペレーショナル・リスクの発生状況 ・新商品等のリスク評価の状況
信用リスク	・グループ別与信上限等の遵守状況 ・信用リスクテイクの状況（配賦上限、想定との対比） ・与信ポートフォリオの状況（国別、業種別、格付別等）
市場リスク	・運用残高上限等の遵守状況 ・有価証券運用に関するリスクテイクの状況（配賦上限との対比） ・金利リスクの状況
オペレーショナル・リスク	・当行及び当行グループ会社（外部委託先含む）のリスクカテゴリー別オペレーショナル・リスク発生状況
流動性リスク	・市場調達限度額、資金ギャップ限度額等の遵守状況 ・流動性カバレッジ比率及び安定調達比率の状況

ストレス・テストに関する定性的情報

当行では、自己資本の充実度の評価を補完する手段として、統合リスクのストレス・テストを実施しています。ストレス・テストとは、景気後退期の企業環境悪化や土地価格の下落、経済状況の悪化や市場環境の悪化など、一定のストレスシナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証するもので、信用リスク、市場リスクのストレス・テスト結果をもとに、「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」が実施しています。

● ストレス・テストの対象となるポートフォリオ

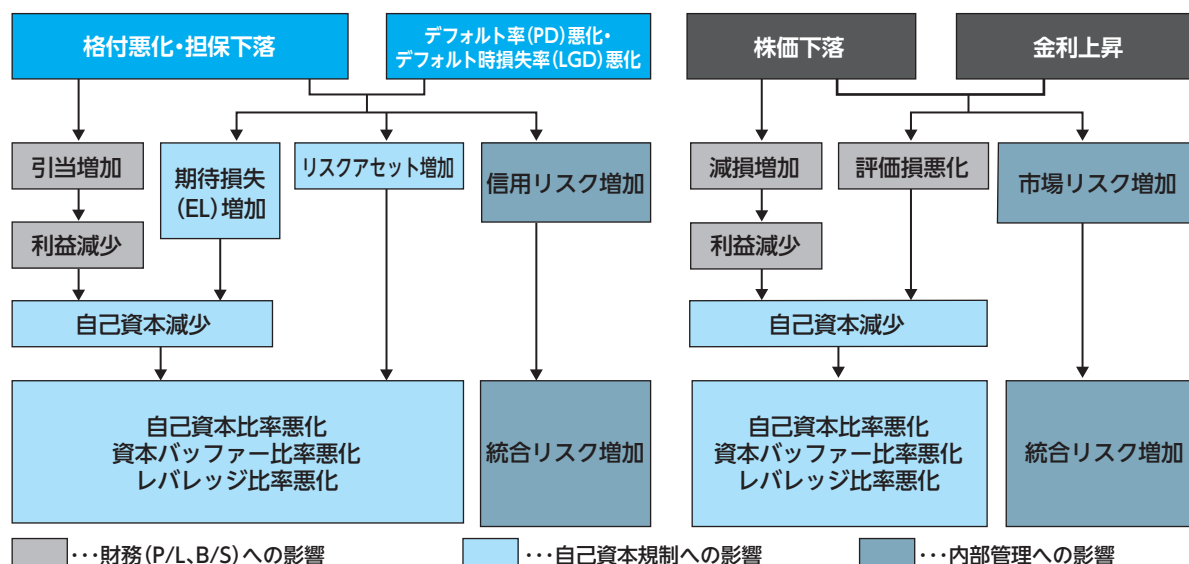
採用されるストレスシナリオに応じ、貸出金、有価証

券、特定業種など、ストレスをかけるポートフォリオを選定しています。

● 採用したシナリオと使用した手法

ストレスシナリオについては、原則として「ストレスシナリオ検討会議」での検討を踏まえて四半期に一度見直しをしています。「ストレスシナリオ検討会議」は、グループCRO、市場営業部、企業サポート部、営業統括部、経営企画部、コンプライアンス・リスク統括部が参加して行われ、世界の政治経済環境等から、今後のストレス事象となりうる事象を洗い出し、営業地域内の経済動向、マーケット動向、当行のお客さま、投資家の動向など参加各部からの意見を踏まえ、ストレスシナリオを決定しています。

ストレス事象から経営指標への伝播構造



【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定性的な開示事項

また、流動性リスクについては、当行自身の信用リスクの顕在化と、マーケットの混乱等が同時に発生する状況などを想定し、資金繰りや収益への影響を把握・検証するストレステストを四半期毎に実施しています。

なお、流動性リスクにかかるストレスシナリオについては、バーゼル銀行監督委員会「健全な流動性リスク管理及びその監督のための諸原則」などを参考に設定しています。

● リスク管理におけるストレステストの利用等

このような検証の結果、規制上の自己資本比率が最低水準を下回った場合等には、その程度や蓋然性を的確に把握したうえで、リスク量のモニタリングを強化するとともに、リスク削減策の実施などについて経営会議及び「ALM委員会」で協議することとしています。

銀行のビジネスモデルから生じるリスクを管理、ヘッジ、削減するための戦略と手順並びにヘッジと削減策の継続的な有効性をモニタリングするための手順

取締役会は、各リスク量を適正な水準に維持するため、各種限度額の設定等の管理方針を決定しています。また「コンプライアンス・リスク統括部」は当該管理方針に基づきモニタリングを実施し、必要に応じてヘッジ、削減策等を検討・実施しています。なお、各リスクの管理方針等は以下のとおりです。

【統合的リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、統合リスク量を経営体力であるTier1の範囲内に収めていくためにリスクカテゴリー別・部門別にリスク資本配賦を実施するとともに、「ALM委員会」における協議を通じて資産・負債のコントロールを実施しています。なお、新規商品等についても、内在するリスクに関する質的な評価を行い、統合的リスク管理を実践しています。

【信用リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、与信ポートフォリオの状況を国別、業種別、格付別等の様々な角度からモニタリングするとともに、VaR（想定最大損失額）等の統一的尺度で計量することによって、与信ポートフォリオに係る信用リスクを評価しています。また、「リスク管理委員会」における協議を通じて、信用リスクのコントロール及び削減を実施しています。なお、「企業サポート部」

等のリスク管理関連部署は、事前の審査及び事後の管理を通じて、個別信用リスクの管理を行っています。

【市場リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、市場リスクについて、評価損益、VaR等の統一的尺度で計測したリスク量や、商品別のリスク・リターン等のモニタリングを実施し、「ALM委員会」における協議を通じて、市場リスクのコントロール及び削減を実施しています。

なお、一部の取引については、スワップ取引等の活用により、金利上昇リスク等の軽減を実施しています。

【オペレーショナル・リスク】

取締役会は、適切なオペレーショナル・リスク管理体制の整備・確立を図るためオペレーショナル・リスク統括部署を設置し、オペレーショナル・リスク管理体制の構築・企画・運営に必要な権限を付与しています。

「コンプライアンス・リスク統括部」は、オペレーショナル・リスクの統括部署として、当行及び当行グループ各社のほか外部委託先におけるオペレーショナル・リスク損失事象の発生状況をモニタリングしています。また、顕在化したリスク及び潜在的なリスクに関する評価を行い、「リスク管理委員会」での協議を通じて、オペレーショナル・リスクのコントロール及び削減を実施しています。

なお、オペレーショナル・リスクに含まれる事務リスク・システムリスク等については、それぞれの管理部署である「事務企画部」「システム部」等が、「リスク管理委員会」での協議を通じて、各リスクのコントロール及び削減を実施しています。

【流動性リスク】

「コンプライアンス・リスク統括部」は、調達限度枠等の流動性リスク管理項目及び流動性カバレッジ比率や安定調達比率等のモニタリングを実施し、「ALM委員会」における協議を通じて流動性リスクのコントロール及び削減を実施しています。

資金繰り管理部署は、資金繰りに影響を与える諸要因を把握し、資金繰りが逼迫した場合には、あらかじめ区分した逼迫度に応じ、適切な資金繰りの運営・管理を行っています。また、危機時における業務フローを定めた上で、危機時に備えた調達手段の確保に努めています。

信用リスクに関する事項

リスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

● ビジネスモデルに基づいた信用リスクプロファイルの説明

当行は、人口・世帯数の増加が続く首都圏に位置するため、不動産賃貸業向け貸出及び住宅ローンがポートフォリオに占める割合が高く、また、地域金融機関であるため、千葉県を含む首都圏の産業構造や経済動向の影響を受けます。

こうしたリスク特性を踏まえたうえで、ビジネスモデルの中長期的な持続可能性の確保及びストレス事象発生時の損失影響を軽減するため、ストレス・テストに加え、内外環境の変化を踏まえた具体的かつ蓋然性の高いシナリオ分

析を実施し、リスクアペタイトへの影響の評価を通じて、必要な対応を行っています。

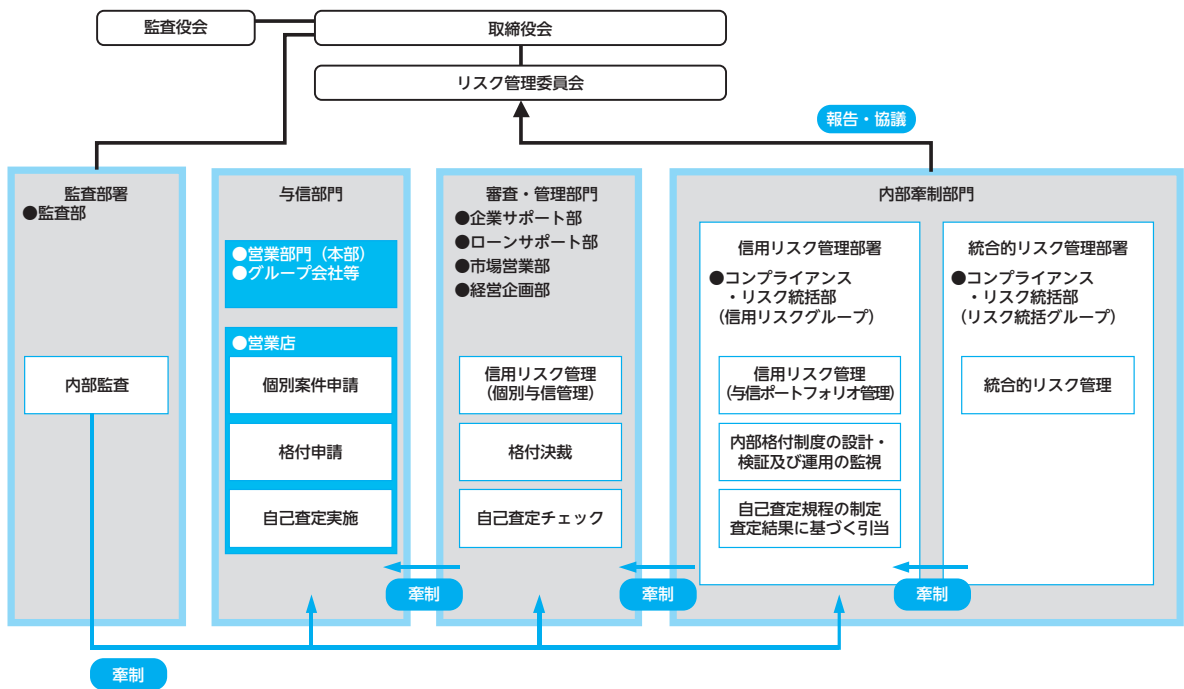
● 信用リスク管理方針を決定し、信用リスク限度額を設定する基準と方法

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいい、銀行業務におけるリスクの多くを占めています。

当行では、経営の健全性の維持を目的として、「内部格付制度」を中心に厳正な信用リスク管理体制を構築し、個別与信管理及び与信ポートフォリオ管理、資産の自己査定を行っています。

● 信用リスク管理・コントロールに関する体制と組織

信用リスク管理体制図



● 信用リスク管理部門、与信管理部門、コンプライアンス部門、内部監査部門の関係

信用リスクにかかる各部門・部署の役割

部門・部署	所管部	役割
与信部門	営業店 営業部門	個別案件・格付の申請 自己査定の実施
審査・管理部門	企業サポート部など	個別案件の信用リスクを管理
信用リスク管理部署	コンプライアンス・リスク統括部 信用リスクグループ	信用リスク管理全体の統括 与信ポートフォリオ管理
統合的リスク管理部署	コンプライアンス・リスク統括部 リスク統括グループ	信用リスクを含めたすべてのリスクを統合的に管理
監査部署	監査部	信用リスク管理に係る各部門・部署の業務を監査

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定性的な開示事項

● 信用リスクエクスポージャーと信用リスクの管理機能に係る報告の範囲と主な内容

【信用リスク管理体制】

当行では、信用リスクにかかる各部門・部署が独立性を確保しています。具体的な各部門・部署の役割は「信用リスクにかかる各部門・部署の役割」のとおりです。

また、「リスク管理委員会」を定期的開催し、信用リスク管理方針の検討、内部格付制度の運用状況及び与信ポートフォリオのモニタリングなどを行い、貸出資産の健全性確保に努めています。

【個別与信管理】

個別案件の審査は、与信の基本原則（安全性・収益性・流動性・成長性・公共性）のもと、「営業店」及び「企業サポート部」を中心に、審査基準に従って厳正に行っています。また、「企業サポート部」では経営改善が必要なお客さまの支援を行うほか、破綻先などの整理回収活動を行っています。こうした事前の審査及び事後の管理を通じて優良な貸出資産の積上げと損失の極小化を図っています。

【与信ポートフォリオ管理】

与信ポートフォリオ管理とは、個別与信が特定の国や業

種に集中することなどにより、一時に大きな損失を被るリスクを管理していくものです。「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、国別、業種別、格付別等のさまざまな角度からVaR等の統一的尺度での計量を行い、ストレス・テストやリスク調整後収益管理などにより信用リスクの状況を把握し、与信上限額の設定など必要な対策を講じて、信用リスクのコントロール及び削減を行っています。

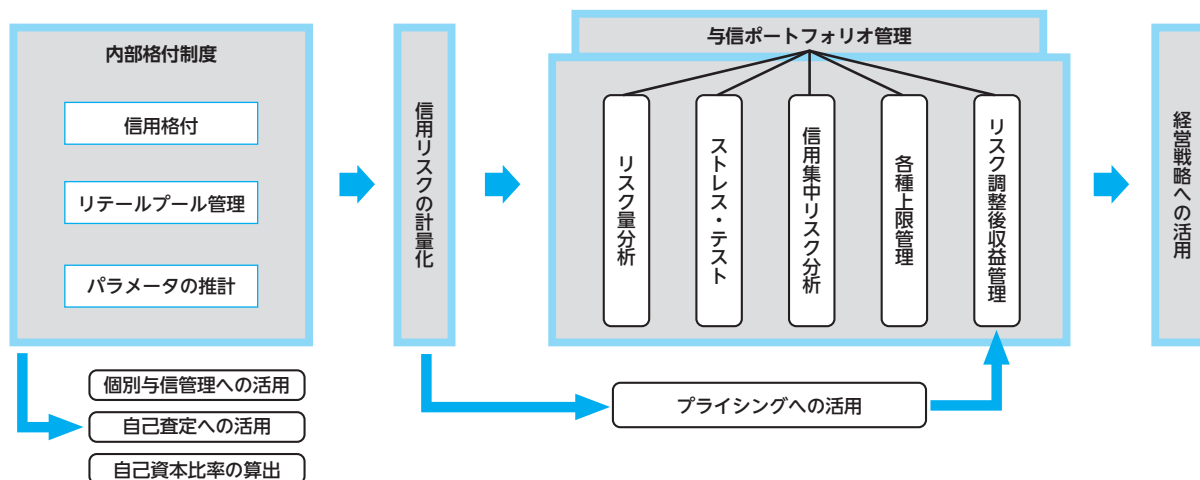
【資産の自己査定】

自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分する業務を指します。

当行では、「資産自己査定規程」に基づいて「与信部門」が資産の自己査定を実施し、その内容を「審査・管理部門」がチェックしたうえで、「監査部」が結果やプロセスの正確性を監査します。

また、自己査定の結果に基づき、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」が引当額を算定、「企業サポート部」が償却を実施し、その後「監査部」が監査を実施しています。このようなプロセスを通じて当行の資産の健全性を堅持しています。

与信ポートフォリオ管理の概要



会計上の引当及び償却に関する基準の概要

● 引当・償却の方針及び方法

当行の貸倒償却及び貸倒引当金は、「償却・引当実施規程」等に基づき計上しています。

【引当償却の額の算定方法】

「破綻先」及び「実質破綻先」に係る債権は、担保及び保証による回収見込額を控除し、その残額全てを貸倒償却として直接減額、あるいは貸倒引当金として計上しています。

「破綻懸念先」に係る債権は、債権額から担保及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額に過去の貸倒実績率等を乗じた額を貸倒引当金として計上しています。

ただし、「破綻懸念先」及び貸出条件緩和債権等を有する債務者で、与信額が一定額以上の債務者のうち、元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積もることができる債権については、DCF法*により計上しています。

上記以外の債権については、過去の貸倒実績率等に基づき計上しています。

※「DCF法」とは、元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを当初の約定利子率で割引いた金額と債権の帳簿価格との差額を貸倒引当金とする方法です。

【信用格付付与、債務者区分、債権区分、資産分類の概要】

信用格付、債務者区分、債権区分の定義及び区分方法等			
信用格付	債務者区分	金融再生法債権区分	定義及び区分方法等
S, A1～A2, B1～B3, C1 M1 ,N1 ,R1	正常先	正常債権	業況良好であり、財務内容にも特段問題ないと認められる債務者です。
C2～C5 M2 ,N2 ,R2	要注意先	正常債権	今後の管理に注意を要する債務者で、要管理先以外の債務者です。
C6	要管理先	要管理債権*	今後の管理に注意を要する債務者で、3カ月以上の延滞が発生している債務者及び貸出条件緩和債権を有する債務者です。
D	破綻懸念先	危険債権	現状、経営破綻の状況にはないが経営難の状態にあり、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者です。
E	実質破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている債務者です。
F	破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者です。

資産分類の概要	
資産分類区分	対象資産の範囲に関する説明等
I 分類（非分類）	下記Ⅱ分類・Ⅲ分類及びⅣ分類としない資産であり、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産です。
Ⅱ 分類	債権確保上の諸条件が満足に充たされないため、あるいは信用上疑義が存する等の理由により、その回収について通常の度合いを超える危険を含むと認められる債権等の資産です。
Ⅲ 分類	最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の発生の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産です。
Ⅳ 分類	回収不可能又は無価値と判定される資産です。

※一部、正常債権を含む。

● 債権を危険債権以下に区分しないことを許容する三月以上延滞債権の延滞日数の程度、及びその理由

3カ月以上6カ月未満の延滞となっている債権については、原則、危険債権（破綻懸念先債権）に区分することになっています。ただし、債務者の実態的な財務内容、資金繰り、収益力等のほか、貸出条件及びその履行状況を確認の上、業種等の特性を踏まえた事業の継続性や収益性の見通し、債務償還能力、経営改善計画等の妥当性、金融機関等の支援等を総合的に勘案し、延滞状況が改善方向にある債権や延滞解消が見込まれる債権については、危険債権とせず要管理債権としています。

● 貸出条件緩和実施債権の定義

【三月以上延滞債権及び危険債権以下に区分しない条件】

「経営再建又は支援を図ることを目的とした」条件変更を実施した債権のうち、3カ月以上延滞債権及び危険債権以下に該当しない債権について、貸出条件緩和債権*としています。

※同等な信用リスクを有する債務者に対する実行金利以上の債権等は除きます。

【貸出条件の緩和を実施したことに伴い引当金の額を増加させる条件】

貸出条件の緩和等を実施し、正常先や要注意先から要管理先（要管理債権を有する債務者）となった場合、引当金が増加します。

● 引当金及び自己資本比率それぞれの算定に利用する信用リスクのパラメーターの主要な差異

貸倒引当金の算定に使用する貸倒実績率は、ある期間の期首の債務者区分の残高を分母とし、その分母の額のうち期間内に毀損した額を分子として計算しています。分母となる残高は、自己査定における残高とし、毀損額には、貸倒償却額、債権放棄額、債権売却損失額、破綻懸念先以下に対する個別貸倒引当額等としています。

それに対し、自己資本比率の算定に使用する主なパラメータである「デフォルト率（以下、PD：Probability of Default）」^{※1}の推計におけるデフォルトにおいては、要管理先への遷移を含み、「デフォルト時損失率（以下、LGD：Loss Given Default）」^{※2}は、要管理先に対する一般貸倒引当金のほか、回収のための重要な直接的及び間接的な費用を含めて推計しています。

また「デフォルト時与信残高（以下、EAD：Exposure At Default）」^{※3}は、与信枠が設定されている場合の、枠空きに対して追加引出が行われる可能性も考慮しています。

※1 「デフォルト率（PD：Probability of Default）」とは、信用供与先などが1年間にデフォルトする確率です。また、「デフォルト」とは、信用供与先などの債務者格付が要管理先以下に下方遷移することです。

※2 「デフォルト時損失率（LGD：Loss Given Default）」とは、デフォルトが発生した場合に想定される当該債権が被る損失の比率です。

※3 「デフォルト時与信残高（EAD：Exposure At Default）」とは、デフォルトが発生した場合に想定される与信残高です。

標準的手法採用行にあっては、エクスポージャーの種類ごとのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関等の名称

標準的手法を適用する一部の資産・連結子会社においては、リスク・ウェイトの判定にあたり、次の4社の格付機関が付与した格付を使用しています。

- ・株式会社格付投資情報センター（R&I）
- ・株式会社日本格付研究所（JCR）
- ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's）
- ・S&Pグローバル・レーティング（S&P）

内部格付手法に関する事項

● 信用リスク・アセットの額を算出する手法の種類ごとの資産区分別のEADがEADの総額に占める割合

(単位：%)

	2025年3月末	2026年3月末
基礎的内部格付手法が適用されるポートフォリオ	99.6	99.6
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けを含む）	39.4	43.3
ソブリン向けエクスポージャー	31.4	25.4
金融機関等向けエクスポージャー	2.3	1.9
特定貸付債権	2.0	2.4
居住用不動産向けエクスポージャー	19.4	21.1
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	1.0	1.1
その他リテール向け（消費性）エクスポージャー	0.8	0.9
その他リテール向け（事業性）エクスポージャー	1.5	1.5
購入債権	0.1	0.1
PD/LGD方式が適用される株式等エクスポージャー	0.6	0.7
その他資産	1.0	1.1
標準的手法が適用されるポートフォリオ	0.4	0.4
合計	100.0	100.0

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

● 内部格付手法の適用範囲の決定に係る経緯

当行は自己資本比率算出上の信用リスクの算出にあたり、2007年3月31日に基礎的内部格付手法を適用しました。適用範囲の決定は、金融庁告示に定める定量基準と定性基準に基づき決定しており、貸出関連及び有価証券に係るものを除く仮払金や敷金・保証金など一部の資産や、ち

ばざん保証株式会社・ちばざんリース株式会社を除く連結子会社については、標準的手法を適用しています。なお、株式等エクスポージャー及び信用リスク・アセットのみなし計算を適用するエクスポージャーについては、連結子会社においても、2007年3月末から基礎的内部格付手法を適用しています。

内部格付手法の適用状況

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末
連結グループ				
当行				基礎的内部格付手法
クレジットカード業務に係る資産			標準的手法	基礎的内部格付手法
一部の資産			標準的手法	
ちばざん保証株式会社	標準的手法		基礎的内部格付手法	
ちばざんリース株式会社		標準的手法		基礎的内部格付手法
その他の連結子会社			標準的手法	

● 内部格付制度の概要

当行の内部格付制度は、「信用格付」、「リテールプール管理」及び「パラメータ推計」から成り立っています。

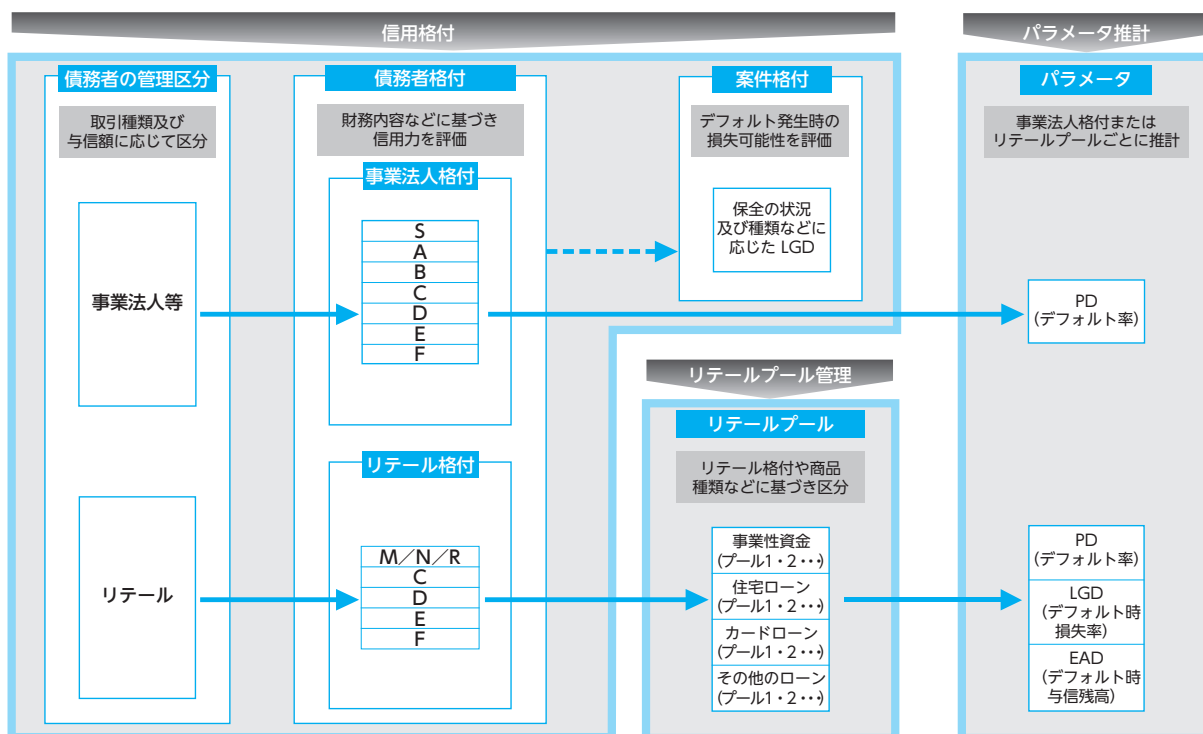
「信用格付」は、信用供与先に係る信用力を評価する「債務者格付」と、与信取引に係るデフォルト発生時の損失可能性を評価する「案件格付」から成り立っています。「債務者格付」は、当行の与信に係るすべての取引先を対象とし、取引の種類及び与信額に応じて「事業法人等」または「リテール」のいずれかに区分し、それぞれについて「事業法人格付」または「リテール格付」を付与しており、自己査定における債務者区分と整合するものとなっています。

「案件格付」は、消費者ローンを除く貸出金を対象とし、保全の状況及び種類などに応じて与信取引単位でLGDを算出しています。

「リテールプール管理」は、「リテール」に区分される先の全債権及び「事業法人等」に区分される先の消費者ローンについて、リスク特性が均質な塊である「リテールプール」ごとに管理することです。「リテールプール」は、債権の種類により、事業性資金、住宅ローン、カードローン、その他のローンの4つに大きく分かります。

「パラメータ推計」は、PD、LGD、及びEADの推計を行うことです。

内部格付制度の概要



※案件格付は、リテールに区分される事業性の貸出金も対象となります。
※事業法人等におけるLGD・EADは、当局設定値に基づき算出しています。

【資産区分ごとの格付付与手続】

◆ 各ポートフォリオにおいて用いられる主なモデルの数、同一のポートフォリオに含まれるモデル間の主な差異に関する説明

当行では、個々の与信と与信先や取引の属性に応じて、以下のポートフォリオに区分したうえで「債務者格付（事業法人格付・リテール格付）」の付与、及び「リテールプール」への割当てを行っています。

■ 事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャーを含む）

当該債務者に対しては、担当部店が格付判定基準に基づき起案し、所管部署の決裁により「事業法人格付」を付与しています。格付の判定では、法人については財務スコアと定性スコアからなるスコアリング評価、個人事業主については債務償還年数による評価に加え、格付区分別の判定事象（実態面や延滞などの事象）、外部格付情報を総合的に勘案しています。外部格付の勘案においては、「事業法

人格付」の区分毎のPDと、格付機関が公表する格付区分毎のPDの整合性や格付機関毎の対応関係について、基準を設定しています。

なお、財務スコア算出に用いる財務スコアリングモデルは、業種別に6つのモデルを用いており、それぞれ異なる財務指標値を使用しています。

■ ソブリン向けエクスポージャー

格付の判定では、スコアリング評価の代わりに財務指標による評価を勘案しています。

■ 金融機関等向けエクスポージャー

格付の判定では、スコアリング評価の代わりに財務状況による評価を勘案しています。

■ PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー

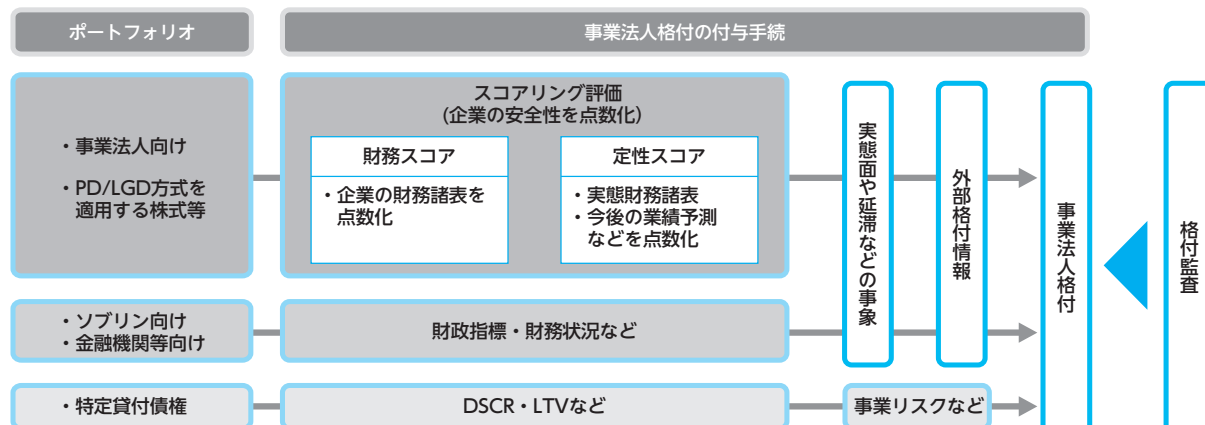
格付付与手続は、事業法人向けエクスポージャーと同様です。

ポートフォリオの区分と内部格付制度の対応関係

ポートフォリオ	与信先・取引の属性	内部格付制度
ア. 事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャーを含む）	与信残高が50百万円以上の事業者（個人事業主を含む）に対する貸出金や債券など	事業法人格付制度
イ. ソブリン向けエクスポージャー	中央政府、中央銀行、地方公共団体などに対する貸出金や債券など	
ウ. 金融機関等向けエクスポージャー	金融機関などに対する貸出金、コールローン、預け金、債券など	
エ. PD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャー	帳簿価額が50百万円以上の株式	
オ. 特定貸付債権	非遡及形態の与信（償還財源が一定の責任財産に限定される与信のうち、PFIや不動産私募ファンドなどで利用されるSPC（特別目的会社）に対する貸出金など	
カ. 居住用不動産向けエクスポージャー	住宅ローンなど	リテールプール管理制度
キ. 適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	一定金額未満の無担保カードローンなど	
ク. その他リテール向けエクスポージャー（消費性）	上記のカ及びキを除く消費者ローンなど	
ケ. その他リテール向けエクスポージャー（事業性）	与信残高が50百万円未満の事業者に対する貸出金など	

※内部格付制度のうち、「案件格付制度（与信取引単位でのLGDの算定）」については、消費者ローンを除く貸出金を対象として、システムにより日次で自動的に算定しています。

事業法人格付の付与手続の概要



【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定性的な開示事項

■ 特定貸付債権

格付の判定では、延滞・条件変更の状況やコベナンツ^{※1}の抵触の有無、「DSCR (Debt Service Coverage Ratio)」^{※2}、「LTV (Loan to Value)」^{※3}、事業リスクやファイナンススキームの評価などを勘案しています。

※1 コベナンツとは、契約期間中、借入人が遵守すると確約した条項です。

※2 「DSCR (Debt Service Coverage Ratio)」とは、年間キャッシュ・フローが年間元利支払額の何倍かを示す指標です。

※3 「LTV (Loan to Value)」とは、対象資産の価格に対する借入残高の割合を示す指標です。

■ 居住用不動産向けエクスポージャー

当該債務者に対しては、システムの自動判定により「リテール格付」を付与した後、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」が「リテールプール」への割当てを行います。「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、延滞の有無、借入日からの経過年数、LTVなどを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

■ 適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー

「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、延滞の有無、使用率（極度額に対する貸出残高割合を示す指標）、商品種類などを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

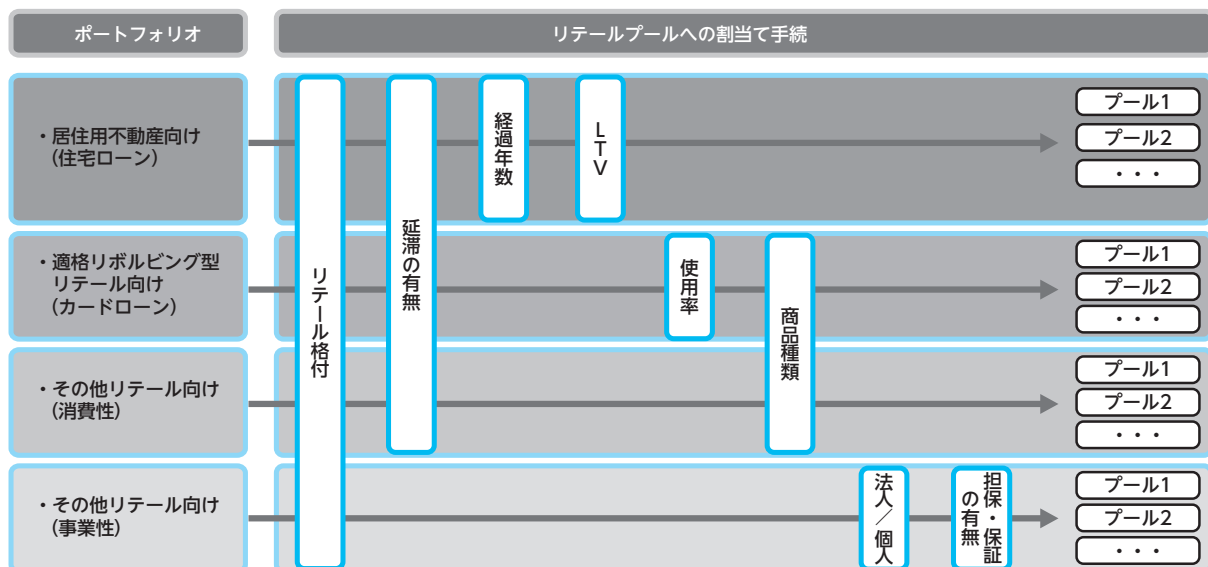
■ その他リテール向けエクスポージャー（消費性）

「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、延滞の有無、商品種類などを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

■ その他リテール向けエクスポージャー（事業性）

「リテールプール」への割当てでは、「リテール格付」のほか、法人・個人の別、担保・保証の有無などを勘案しています。なお、プール割当てに用いるモデルは1つです。

リテールプールへの割当て手続の概要



【パラメータ推計及びその検証体制】

当行では、パラメータ推計値を使用して自己資本比率算出上の信用リスクを算出しているほか、リスク資本配賦制度における内部管理上の信用リスクを算出しています。

また、内部データに基づくバックテスト（推計値と実績値との乖離度合い）などの検証を1年に1回以上行っています。

パラメータ 1 : PD	
推計と検証のための定義及び方法	「事業法人格付」を付与するポートフォリオのうち、事業法人向けエクスポージャー、ソブリン向けエクスポージャー、金融機関等向けエクスポージャー及びPD/LGD方式を適用する株式等エクスポージャーについては、「事業法人格付」の区分毎にPD推計を行っています。また、「リテールプール」への割当てを行うポートフォリオについては、「リテールプール」の区分毎にPD推計を行っています。 PD推計に際しては、過去の内部デフォルト・データに基づく事業年度毎のPDの実績値をもとに過去平均PDを算出し、さらに保守性を勘案した数値を上乗せして推計値を算出しています。
データに係る説明	
デフォルトの可能性が低いポートフォリオ（LDP：Low Default Portfolio）のPDの推計方法	LDPには「事業法人格付」のうち「格付S・A1・A2」が該当し、外部格付機関が公表する長期平均デフォルト実績を基に推計値を算出しています。
規制上のフロアの適用状況	LDPについて、算出したPD推計値が0.05%を下回ることから、規制上のフロアを適用し、ソブリンを除く同格付の推計値を0.05%としています。
過去3期分のPDの推計値と実績デフォルト率の間の差異の主な要因等	直近3事業年度の実績デフォルト率は、各格付区分・プール区分とも概ね推計値を下回る水準で推移しています。 これは、過去平均PDに比べて直近3事業年度の実績デフォルト率が低位に抑えられていること、また推計値を保守的に算出していることが主な要因です。
パラメータ 2 : LGD	
景気後退期LGDの推計方法	「リテールプール」への割当てを行うポートフォリオについては、「リテールプール」の区分毎にLGDの推計を行っています。 LGDの推計に際しては、過去の内部デフォルト・回収データに基づき、回収期間に応じた割引率やコストを勘案のうえ平均LGDを算出し、さらに景気後退期の影響を考慮して推計値を算出しています。 担保種類毎に「担保価値と回収率との関係性の分析」等を行い、過去の景気後退期と平常時のLGDの関係を分析のうえ、実績LGDに対する景気後退期におけるストレスを推計し、景気後退期LGDとしています。
LDPのLGDの推計方法	LDPに該当するプール区分がないため、LDPのLGD推計は行っていません。
デフォルト時からエクスポージャーの清算（終結）までに要する期間に係る説明等	過去の内部デフォルト・回収データにおける回収期間は、デフォルトから損失確定、または非デフォルト格付へのランクアップまでの期間、未終結の場合は計測基準年度末までの期間としています。推計値の算出では、回収期間に応じた割引率やコストを勘案します。
パラメータ 3 : EAD	
EAD推計に当たって用いられた前提や仮定等	「リテールプール」への割当てを行うポートフォリオについては、「リテールプール」の区分毎にEADの推計を行っています。 EADの推計に際しては、当座貸越・コミットメントなど与信枠が設定される場合には、過去の内部デフォルト・データに基づく「与信枠使用率（CCF：Credit Conversion Factor）」^{*1}の過去平均に保守性を勘案した数値を上乗せしたCCF推計値を算出し、基準日時点の貸出残高に与信枠とCCF推計値を掛けた値を加えて推計値としています。それ以外の場合には、基準日時点の貸出残高を推計値としています。 ^{*1}「与信枠使用率（CCF：Credit Conversion Factor）」とは、デフォルトが発生した場合に想定される、与信枠に対して追加引出しが行われる割合です。

【内部格付制度並びに使用するモデルの開発及び管理等に係る運営体制】

◆ 使用するモデルの開発、承認、変更手続きを行う部門の役割

「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、与信部門が行う「債務者格付」の実施及び運用状況を毎月監視し、「リテールプール管理」については、各対象先を該当する「リテールプール」へ割当てを行っています。運用監視結果は半期毎、リテールプール割当て結果は四半期毎に「リスク管理委員会」に報告しています。「パラメータ推計」については、「リスク管理委員会」での協議を経て、1年毎に推計値の見直しを行っています。また、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスク

グループ」は、「信用格付」、「リテールプール管理」及び「パラメータ推計」で使用するモデルの開発、管理、及び継続的な変更を所管し、モデルの妥当性・判別力等の検証を1年に1回以上行っています。

◆ リスク管理部門と内部監査部門との関係、モデルの検証機能がモデル開発から独立していることを確保する手続

上記検証結果は監査部が監査を行うことで、モデルの検証機能がモデル開発から独立していることを確保しています。

◆ モデルに係る報告の範囲と主な内容

モデルの開発や変更等は、リスク管理委員会で協議のうえ、頭取の承認により行う体制としています。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

債務者格付と債務者区分、デフォルトの対応関係

債務者格付（事業法人格付）			債務者区分 （自己査定）	デフォルト 区分
格付区分	信用度	定義		
S	1（高）	債務履行の確実性が最も高く、安定している先	正常先	非デフォルト
A1	2	債務履行の確実性が極めて高く、安定している先		
A2	3	債務履行の確実性が高く、安定している先		
B1	4	債務履行の確実性は十分だが、大きな環境変化により低下する可能性を含んでいる先		
B2	5	債務履行の確実性は十分だが、大きな環境変化により低下する可能性がある先		
B3	6	債務履行の確実性は十分だが、環境変化により低下する可能性が高い先		
C1	7	債務履行の確実性は現状問題ないが、近い将来低下する懸念がある先	要注意先	非デフォルト
C2	8	延滞がない、もしくは延滞1ヵ月未満の実質債務超過でない先		
C3	9	延滞がない、もしくは延滞1ヵ月未満の実質債務超過先		
C4	10	次のいずれかに該当し、かつ実質債務超過でない先 ・1ヵ月以上3ヵ月未満の延滞が発生している先 ・経営再建または支援目的の条件変更を行っているが、当該条件変更 債権が「貸出条件緩和債権」に該当しない先		
C5	11	次のいずれかに該当し、かつ実質債務超過先 ・1ヵ月以上3ヵ月未満の延滞が発生している先 ・経営再建または支援目的の条件変更を行っているが、当該条件変更 債権が「貸出条件緩和債権」に該当しない先	要管理先	デフォルト
C6	12	次のいずれかに該当する先 ・3ヵ月以上の延滞が発生している先 ・「貸出条件緩和債権」に該当する条件変更を行っている先		
D	13	現状、経営破綻の状況にはないが経営難の状態にあり、経営改善計画等の進捗状況が芳しくなく、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる先	破綻懸念先	
E	14	法的・形式的な経営破綻の事実は発生していないものの、深刻な経営難の状態にあり再建の見通しが無い状況にあると認められるなど、実質的に経営破綻に陥っている先	実質破綻先	
F	15（低）	法的・形式的な経営破綻の事実が発生している先	破綻先	

※債務者格付のうちリテール格付については、与信額や法人・個人の別などにより、「[M]」、「[N]」、「[R]」を付与しています。

● 標準的手法が適用されるエクスポージャーについて、内部格付手法のポートフォリオに分類する場合の基準

以下の基準に基づき分類しています。

内部格付手法のポートフォリオ	標準的手法が適用されるエクスポージャー
(i) ソブリン向けエクスポージャー	中央政府及び中央銀行向けエクスポージャー 我が国の地方公共団体向けエクスポージャー
(ii) 金融機関等向けエクスポージャー	金融機関向けエクスポージャー
(iii) 株式等エクスポージャー	該当なし
(iv) 購入債権	法人等向けエクスポージャー 延滞エクスポージャー
(v) 事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く）	法人等向けエクスポージャー 延滞エクスポージャー
(vi) 中堅中小企業向けエクスポージャー	適格中堅中小企業等向けエクスポージャー及び個人向け エクスポージャー 延滞エクスポージャー
(vii) 居住用不動産向けエクスポージャー	該当なし
(viii) 適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	該当なし
(ix) その他リテール向けエクスポージャー	法人等向けエクスポージャー 適格中堅中小企業等向けエクスポージャー及び個人向け エクスポージャー 延滞エクスポージャー
(x) 特定貸付債権	該当なし
(xi) 事業用不動産向け貸付け及びボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け	該当なし

● 使用する内部格付手法の種類及び適用範囲

「内部格付手法の適用範囲の決定に係る経緯」に記載しています。

信用リスク削減手法に関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

ネットティングを利用する方針及びプロセスの基本的な特徴並びにネットティングの利用状況に係る説明

信用リスク削減手法とは、当行が抱える信用リスクを軽減するための措置で、担保や保証などをいいます。当行では物的担保を担保、人的担保を保証とし、万一の場合における債権の安全確保を図りつつも、必要以上に担保・保証に依存しないように留意したうえで、貸出を行っています。なお、自己資本比率算出上の信用リスクの算出に際しては、これらの信用リスク削減手法を適正に勘案しています。

貸出の預金相殺が可能な契約下にある自行預金については、債権保全（回収）の一手段としています。信用リスクの算出に際しては、対象となる預金を定期預金、積立定期預金、外貨定期預金としたうえで、事業法人向けエクスポージャー、居住用不動産向けエクスポージャーなどについて信用リスクの削減手法の効果を勘案しています。

担保評価・担保管理の方針・プロセスの基本的な特徴

担保取得に際しては、担保物件に応じ登記、確定日付の付与を受けるなどの手続を行ったうえで、行内で定められた時期・方法により実査あるいは点検を実施し、債権保全

に支障のないよう管理しています。また、担保の評価は画一的にならないように、担保物件の種類・状態、貸出先の信用状況などに応じて慎重かつ適切に行っています。

主要な担保は、現金・自行預金、上場株式等、商業手形、不動産です。これらの担保は、信用リスクの算出においても、適格金融資産担保（現金・自行預金・上場株式等）、適格資産担保（商業手形、不動産）として、信用リスクの削減手法の効果を勘案しています。なお、自己資本比率告示で定める適格資産担保のうち、適格その他資産担保（船舶、航空機、ゴルフ会員権担保など）については、信用リスクの削減手法の効果を勘案していません。

使用する信用リスク削減手法におけるマーケット・リスク又は信用リスクの集中状況に関する説明

● 特定区分のエクスポージャーの集中状況

当行において信用リスクの削減手法の効果が大きいのは、保証と適格資産担保によるものです。このうち、適格資産担保においては、不動産による担保が大半を占めています。このため、地価下落等による担保価値変動リスクをストレス・テストのシナリオに織り込み、自己資本の充実度の状況を検証しています。

派生商品取引及びレポ形式の取引等の相手方に対する信用リスク（カウンターパーティ信用リスク）に関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

カウンターパーティ及び中央清算機関に対するエクスポージャーに関するリスク資本及び与信限度枠の割当方法に関する方針

カウンターパーティの信用力と商品ニーズなどを勘案のうえ、取引先毎に与信限度額を設定しています。また、特定の取引先に与信が集中して一時に多額の損失を被るリスクを抑制するために「グループ別与信上限管理制度」に基づき、貸出金など他の与信取引と合算して総与信額を把握し、格付別の与信上限額に収まるように管理しています。

中央清算機関に対するエクスポージャーについては、信用リスク量をリスク資本配賦制度の対象とすることで管理しています。

担保、保証、ネットティングその他の信用リスク削減手法に関する評価並びに担保等の管理の方針及び処分手続の概要

レポ形式の取引については、適格金融資産担保（現金、上場株式等）について、信用リスクの削減手法の効果を勘案しています。

また、対金融機関向けの派生商品取引については、円金利スワップの清算集中を行っているほか、清算集中以外の取引についても、CSA契約（クレジット・サポート・アネックス契約）を締結し、相手金融機関の信用リスクの削

減に努めています。

さらに、対顧客向け派生商品取引では、貸出金と同様に取引先の状況などを個別に勘案のうえ、必要に応じて担保、保証により保全を図る体制となっています。

なお、派生商品取引の信用リスクの算出については、2018年3月にSA-CCR[※]を適用し、証拠金の信用リスクの削減効果を与信額に反映しています。

※SA-CCRとは、国内では2018年3月より導入開始となったデリバティブの与信額算出方法の国際統一基準です。

誤方向リスクの特定、モニタリング及び管理のための方針

取引先の信用力悪化と当該取引先に対する与信額に高い相関がある場合に発生する、いわゆる「誤方向リスク」については、与信上限額の設定及び、CSA証拠金等の担保による与信額の削減に努めており、影響は限定的です。

自行の信用力悪化により担保を追加的に提供することが必要となる場合の影響度に関する説明

当行の信用力が悪化した場合に、CSA契約により、当行が担保を追加する義務が発生しますが、影響度は限定的です。

証券化取引に係るリスクに関する事項

リスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

当行は、再証券化取引及び特定取引勘定での証券化取引を行っておらず、本項目では、銀行勘定における証券化取引に関する事項を記載しています。

【オリジネーター（自行債権の証券化）】

当行では、証券化取引に係る目的と効果を明確にしたうえで、自行債権の証券化を実施しています。住宅ローン債権の証券化では、金利リスクをコントロールしつつ、お客さまの長期固定金利による住宅ローン借入に対するニーズに対応していくことを目的としています。

自行債権の証券化を計画する部署は、関連部署と事前に協議を行い、対象となるリスクを特定・認識し、リスク移転の程度などを検討したうえで、取締役会に付議し、証券化を実施しています。

住宅ローン債権の証券化では、当行は以下の役割を担っています。

- ・証券化対象となる貸出債権の組成・譲渡を行うオリジネーター
- ・原債務者から元利金の回収及び譲渡先である信託銀行への引き渡しを行うサービス
- ・流動性の提供者

また、住宅ローン債権の証券化に係る劣後受益権を保有した場合、「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、同証券化取引に係る信用リスクの算出・管理を行っています。

なお、当行は、住宅ローン債権の証券化以外に、中小企業向け貸出債権の証券化（千葉県版CLO）を過去に実施しています。

【投資家（証券化エクスポージャー等への投資）】

当行では、証券化エクスポージャーを含む証券化商品への投資にあたり、その対象を原則として投資適格以上に限定し、裏付資産及び商品のストラクチャーに関するリスクのほか、価格変動リスク、流動性リスクなどを勘案のうえで、リスク・リターン観点から合理性があると判断した場合に投資を行うこととしています。

主な投資対象となる証券化エクスポージャーは、他の金融機関等が組成した住宅ローン債権を原資産とする証券化商品であり、信用リスクのほか、価格下落リスク、市場流動性リスクなどが内在しています。当行では、当該取引のリスクを踏まえ、証券化エクスポージャーを含む証券化商品への投資に係る限度額を設定しているほか、ストレス・テストを含めたモニタリング体制を整備するなど、リスクの抑制に努めています。

また、「コンプライアンス・リスク統括部市場リスクグループ」は、同商品に係る市場リスクの状況を「ALM委員会」に報告しています。

証券化取引に関する体制の整備及びその運用状況の概要

当行では自己資本比率告示第8章第2節第2款に規定する証券化エクスポージャーの信用リスク・アセットの計測手法を適用するにあたり、自己資本比率告示第248条第1項第1号から第4号までに規定される要件に基づき、ストレス・テスト及び裏付資産などの状況に係るモニタリング報告を実施する体制を整備しています。

ストレス・テストについては、新規取組時及び取組時以降、原則として年1回実施しています。また、モニタリング報告については、新規取組時以降、原則として3ヶ月に1回実施しています。

証券化目的導管体を用いて第三者の資産に係る証券化取引を行った場合に関する事項

該当事項はありません。

契約外の信用補完等を提供している証券化目的導管体の名称及び当該証券化目的導管体ごとの当該契約外の信用補完等による自己資本への影響

該当事項はありません。

証券化取引に関する会計方針

● 会計上の認識方針

金融資産の契約上の権利に関する支配が他に移転したことにより金融資産の消滅を認識する売却処理を採用しています。

● 資産売却の認識時点

証券化取引は、信託受益権の売却時に資産の売却として処理しています。

● 留保分評価の前提等

留保分の評価は、対象資産の簿価を譲渡部分及び残存部分それぞれの時価により按分し、残存部分に配分された金額を帳簿価額としています。

● 証券化取引を目的として保有している資産の評価方法及び銀行勘定または特定取引勘定のいずれに計上しているかの別

証券化取引を目的として保有している資産はありません。

● 証券化エクスポージャーに提供している流動性補完、信用補完、その他の事前の資金の払込みを行わない信用供与について、貸借対照表において負債として認識するための方針

該当する流動性補完等はありません。

証券化エクスポージャーの種類ごとのリスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

外部格付に基づくリスク・ウェイトの判定には、次の4社の格付機関が付与した格付を使用しています。

- ・株式会社格付投資情報センター（R&I）
- ・株式会社日本格付研究所（JCR）
- ・ムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's）
- ・S&Pグローバル・レーティング（S&P）

CVAリスクに関する事項

CVAリスク相当額の算出に使用する手法の名称及び各手法により算出される対象取引の概要

当行では、CVAリスク相当額の算出に使用する手法について、「限定的なBA-CVA」を採用しています。算出対象となる取引は、自己資本比率告示第270条の2第2項各号に掲げる中央清算機関等以外の者を取引相手方とする派生商品取引です。

CVAリスクの特性及びCVAに関するリスク管理体制の概要

CVA(信用評価調整)とは、取引相手方の信用力をデリバティブ取引の評価額に反映させる価格調整を指します。CVAリスクは、取引相手方の信用力の低下等に伴うCVAの変動によって当行が損失を被るリスクになります。当行では、自己資本比率規制上のCVAリスク相当額を加味してリスク資本配賦を実施し、その遵守状況をモニタリングする体制としています。

マーケット・リスクに関する事項

リスク管理の方針、手続及び体制の概要

● リスクの特定、評価、管理及び削減に係る方法並びにヘッジの有効性に係る監視の方法

マーケット・リスクとは、金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスク（以下、「市場リスク」）のうち、マーケット・リスク規制の適用対象となるトレーディング取引や為替取引及びコモディティ取引（以下、「トレーディング取引等」）に係るものをいいます。当行では、マーケット・リスクの計測について「簡易的方式」を採用し、「コンプライアンス・リスク統括部」が算定しています。

また、取引執行所管部署（フロントオフィス：「市場営業部」、海外店）と事務管理所管部署（バックオフィス：「市場業務部」）を分離したうえで、リスク管理部署（ミドルオフィス：「コンプライアンス・リスク統括部市場リスクグループ」）を設置することで、相互牽制が可能な体制をとっています。

リスク削減に係る方法、ヘッジの有効性に係る監視の方法については、金利リスクに関する事項に記載しています。

● トレーディング勘定に分類する商品の範囲を定めるための方針及び手続（低流動性ポジションの特定、管理及び監視に係る方法を含む。）

マーケット・リスク相当額に係る額の算入にあたっては、簡易的方式を採用し、すべての商品をバンキング勘定に分類しています。

● トレーディング勘定とバンキング勘定との間の商品の振替を行った場合には、次に掲げる事項

[当該振替を行った商品の市場価値及びグロスの公正価値]

[当該振替の理由]

トレーディング勘定とバンキング勘定との間の商品の振替は行っておりません。

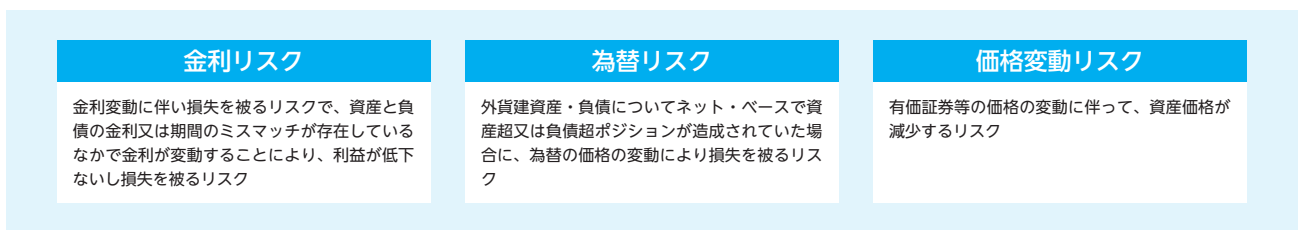
● 内部取引担当デスクのリスク移転の状況

内部取引担当デスクは設置しておりません。

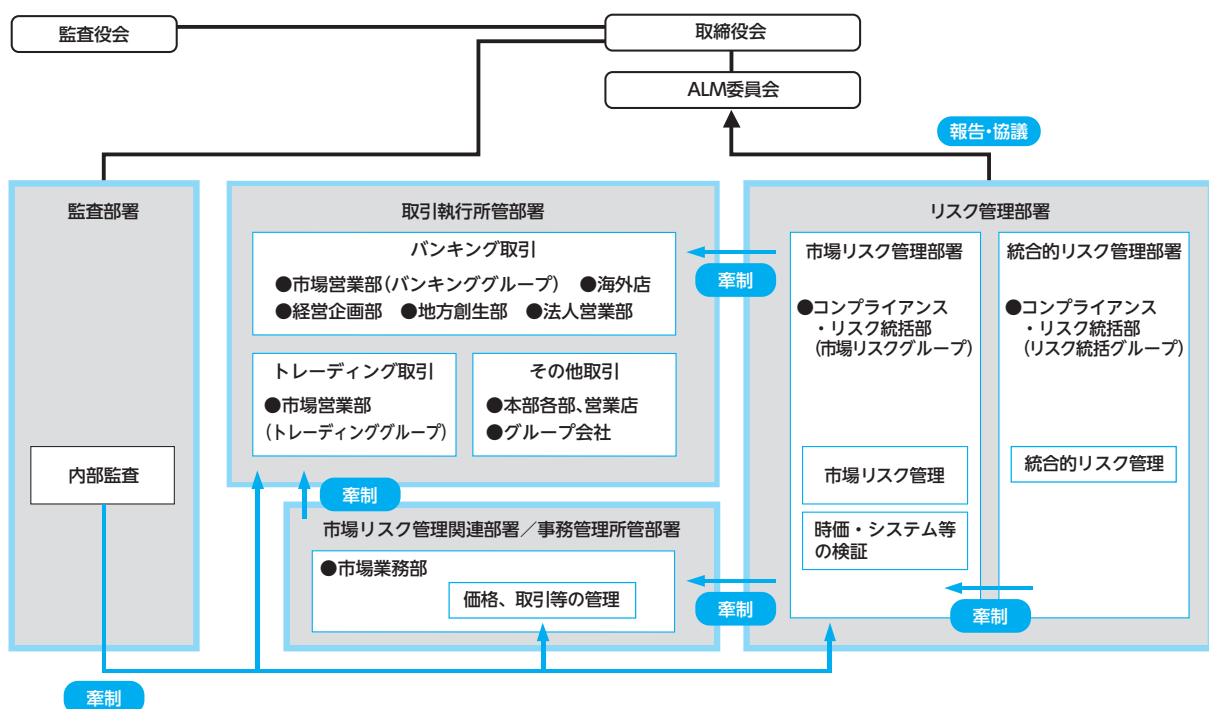
報告及び計測に係るシステムの範囲並びにその内容

「コンプライアンス・リスク統括部」は、マーケット・リスクの計測対象となるトレーディング取引等にかかる評価損益やVaRなどのリスク量のモニタリングを行い、リスク量の状況等を日次で経営に報告しています。

管理の対象となる市場リスク



市場リスク管理体制図



オペレーショナル・リスクに関する事項

リスク管理の方針及び手順の概要

● リスクを確実に認識し、評価・計測し、報告するための体制

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生するリスクのことをいいます。当行は、経営の健全性の維持に資することを目的として、オペレーショナル・リスクに関する厳正な管理体制を構築しています。

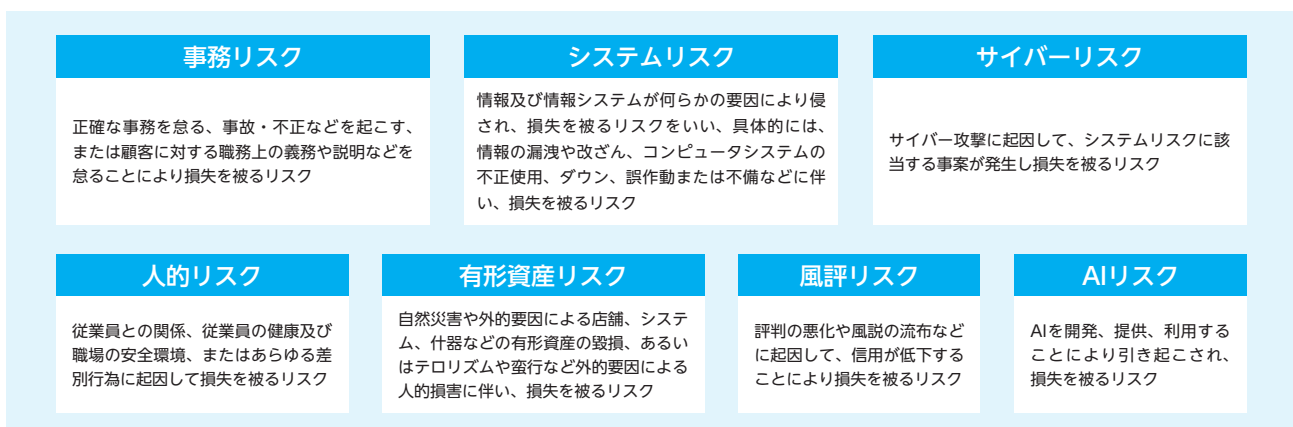
当行では、オペレーショナル・リスクを、事務リスク、システムリスク、サイバーリスク、人的リスク、有形資産リスク、風評リスク、AIリスクに分類のうえ、各リスク所管部署（事務リスク：「事務企画部」、システムリスク・サイバーリスク：「システム部」、人的リスク：「人材育成部」、有形資産リスク：「経営管理部」、AIリスク：「デジタル戦略部」）を定めるとともに、リスク統括部署である「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」の統括管理のもとに連携してリスク管理を行っています。

なお、風評リスクについては、「コンプライアンス・リスク統括部リスク統括グループ」が直接管理し、また、各

リスクに含まれる法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては、各リスク所管部署と「コンプライアンス・リスク統括部コンプライアンス統括グループ」が連携して管理します。

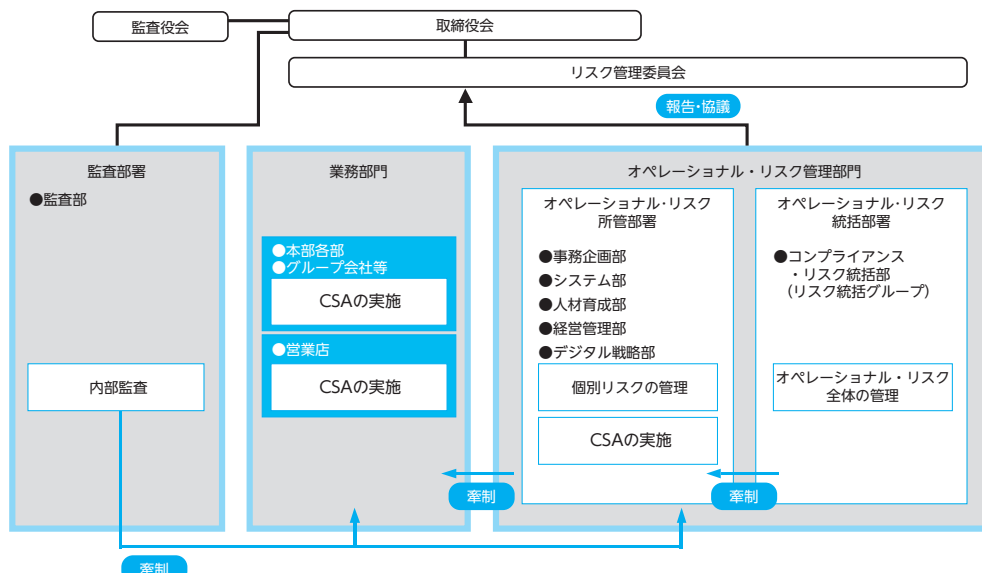
また、「リスク管理委員会」を設置し、経営の直接関与のもと、オペレーショナル・リスク損失事象などに関する報告を受け管理方針を策定し（Plan）、管理規程類に則った実施（Do）、また評価・改善（Check&Action）していくという、「PDCAサイクル」により、問題点の改善、是正を行う管理体制を構築しています。この一連の「PDCAサイクル」による管理の実効性確保のため、当行では、リスクの内容を特定・評価・把握・管理し、かつ削減するための方策を策定して実施するというCSA（Control Self Assessment）を導入しています。CSAによる管理とは、当行で生じたオペレーショナル・リスク損失事象に対応するとともに、他行や他業態で発生した損失事象を踏まえて、当行の管理体制で十分かどうかを評価し、必要に応じて対策を打つことで、未然にリスク顕在化を防止するというものです。

管理の対象となるオペレーショナル・リスク



※法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては各リスクにそれぞれ含まれ、各リスク所管部署と「コンプライアンス・リスク統括部コンプライアンス統括グループ」が連携して管理します。

オペレーショナル・リスク管理体制図



【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

BIの算出方法

当行は、金利要素、役務要素および金融商品要素の合計額であらわされる事業規模指標をBIとしています。

オペレーショナル・リスク相当額の算出に当たって、BIの算出から除外した連結子法人等又は事業部門の有無該当事項はありません。

ILMの算出方法

当行は、内部損失データのうち特殊損失を除く2百万円を超える全てのネット損失を用いて算出したオペレーショナル・リスク損失の年間平均額に15を乗じて得た額を用いて、ILMを算出しています。

オペレーショナル・リスク相当額の算出に当たって、ILMの算出から除外した特殊損失の有無該当事項はありません。

出資等又は株式等エクスポージャーに関するリスクの特性並びにリスク管理の方針、手続及び体制の概要

当行では、銀行勘定における株式等エクスポージャーについて、他の市場性取引と合算して管理しており、信用リスク及び市場リスクの管理の対象としています。また、投資目的に応じて、政策投資と純投資に区分し、審査・管理体制を構築しています。

リスクを確実に認識し、評価・計測し、報告するための体制

株式等への投資の際には、政策投資と純投資の区分毎に、所管部署が審査を行っています。全ての株式等について自己査定を行うとともに、帳簿価格50百万円以上の株式については、貸出金と同様に「事業法人格付」を付与しています。また、特定の取引先に与信が集中して一時に多額の損失を被るリスクを抑制するために、「グループ別与信上限管理制度」に基づき、貸出金など他の与信取引と合算して総与信額を把握し、格付別の与信上限額に収まるよう管理しています。

「コンプライアンス・リスク統括部信用リスクグループ」は、信用リスクの統括管理を行うとともに、株式等を含めた信用リスクの状況を四半期毎に「リスク管理委員会」に報告しています。また、「コンプライアンス・リスク統括部市場リスクグループ」は、VaR^{*}（想定最大損失額：保有期間1年、観測期間1年、信頼水準99.9%）に基づくリスク量の算出やモニタリングを通じて市場リスクの統括管理を行うとともに、株式等を含めた市場リスクの状況を月次で「ALM委員会」に報告しています。

株式や不動産投資法人への出資の信用リスク・アセットの額の算出には、自己資本比率告示附則第11条第2項に定める経過措置を適用しております。経過措置適用期間中は、標準的手法によるリスク・ウェイトと旧自己資本比率告示第166条第1項各号に掲げる方式（PD/LGD方式又はマーケット・ベース方式）によるリスク・ウェイトのうち、いずれか大きい方を用いて算定しております。

※政策投資株式（上場）のVaRについては、2026年4月1日より保有期間1年、観測期間11年、信頼水準99.9%にて計測しております。

その他有価証券、子会社株式及び関連会社株式の区分ごとのリスク管理の方針

取得原価にて貸借対照表価額とする子会社株式及び関連会社株式については、時価を把握することが極めて困難なその他有価証券と同様に信用リスクの管理の対象としています。なお、自己査定に際しては、子会社の実質価額が下落している場合、当行の再建意思などを総合的に勘案して分類することとしています。

株式等エクスポージャーの評価等重要な会計方針

有価証券の評価は、子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券については時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし市場価格のない株式等については移動平均法による原価法により行っています。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しています。

金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、決算日の市場価格等に基づく時価法により行っています。

金利リスクに関する事項

リスク管理の方針及び手続の概要

● リスク管理及び計測の対象とする金利リスクの考え方及び範囲に関する説明

当行では、トレーディング取引等を含む金利リスクについて、市場リスクの一つとして管理しています。また、金利リスクのうち、銀行勘定の金利リスク（以下、IRRBB：Interest Rate Risk in the Banking Book[※]）については、個別の管理指標の設定やモニタリング体制の整備などにより、厳正な管理に努めています。

また、金利リスクについては、原則として連結で管理・計測していますが、IRRBBについては、重要性の観点より、連結のIRRBBと銀行単体のIRRBBを等しいものと見なしています。

※IRRBBとは、市場リスクのうち、バンキング勘定に分類したすべての金利感応資産・負債、オフバランス取引に係る金利リスクをいいます。

● リスク管理及びリスク削減の方針に関する説明

当行では、ALM管理体制のもと、自己資本に対するIRRBBの比率にアラームポイントを設定し管理することで、健全性の確保に努めています。

● 金利リスク計測の頻度

毎月末を基準日として、月次でIRRBBを計測しています。

● ヘッジ等金利リスクの削減手法（ヘッジ手段の会計上の取扱いを含む）に関する説明

当行では、金利上昇リスクの軽減に主眼を置いた、スワップ取引等による「ALMヘッジ」と、金利上昇・価格下落、為替変動等のリスクの軽減に主眼を置いた、先物・オプション・スワップ取引等による「個別・包括ヘッジ」を主なヘッジ手段としています。

当行の金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジの会計上の取扱いは、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別委員会実務指針第24号 2022年3月17日）に規定する繰延ヘッジによる方法となります。また、当行では、上記以外のヘッジ会計上の取扱いとして、一部の資産・負債については、繰延ヘッジあるいは金利スワップの特例処理を行っています。

ヘッジ有効性評価は、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる預金・貸出金等とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間ごとにグルーピングのうえ特定し評価しています。

金利リスクの算定手法の概要

△EVE^(注1) 及び △NII^(注2) 並びに銀行がこれらに追加して自ら開示を行う金利リスクに関する事項

(注1) IRRBBのうち、金利ショックに対する経済的価値の減少額として計測されるものであって、開示告示に定められた金利ショックにより計算されるものをいいます。

(注2) IRRBBのうち、金利ショックに対する算出基準日から12ヶ月を経過する日までの間の金利収益の減少額として計測されるものであって、開示告示に定められた金利ショックにより計算されるものをいいます。

・流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期

流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期は1.25年です。

・流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期

流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期は5年です。

・流動性預金への満期の割当て方法（コア預金モデル等）及びその前提

流動性預金への満期の割当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

・固定金利貸出の期限前償還や定期預金の早期解約に関する前提

固定金利貸出の期限前償還及び定期預金の早期解約については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

・複数の通貨の集計方法及びその前提

当行ではIRRBBの算出にあたり、通貨別に算出した金利リスクの正値を合算しています。なお、金利リスクの合算において、通貨間の相関等は考慮していません。

また、重要性の観点より、一部の通貨については金利改定満期に基づくキャッシュ・フローを他の通貨に集約して、金利リスクを算出しています。

・スプレッドに関する前提（計算にあたって割引金利やキャッシュ・フローに含めるか否か等）

当行ではIRRBBの算出にあたり、割引金利にスプレッドを含めず、キャッシュ・フローにスプレッドを含めて算出しています。

・内部モデルの使用等、△EVEと△NIIに重大な影響を及ぼすその他の前提

内部モデルは、使用していません。

・前連結会計年度末の開示からの変動に関する説明

2026年3月末の△EVEは、金融庁告示の「IRRBBに係る金利ショックの水準再調整」に係る改正による影響を主に、前期末比65億円増加し534億円となりました。

・計測値の解釈や重要性に関するその他の説明

当期の重要性テスト結果は、監督上の基準値である15%に対し、問題のない水準となっています。

なお、当行では重要性の観点より、ストレス時に大きな影響を与えられとされる資産・負債をIRRBBの計測対象としており、その選別にあたっては定量的な基準（銀行の資産・負債の5%程度）に加えて、定性的な影響等を考慮しています。

銀行が、 Δ EVE及び Δ NII以外の金利リスクを計測している場合における、当該金利リスクに関する事項

・金利ショックに関する説明

Δ EVE及び Δ NII以外の金利リスクを計測する場合の金利ショックについては、過去の事例や、景気シナリオに基づく金利変動としています。

・金利リスク計測の前提及びその意味（特に、開示告示に基づく定量的開示の対象となる Δ EVE及び Δ NIIと大きく異なる点）

当行では、リスク資本配賦制度の一環として、金利リスクをVaRなどにより管理しており、預貸金や債券のVaRに基づくリスク量に上限ガイドラインを設定しています。

具体的には、部門毎に配賦されたリスク資本の範囲内

で、有価証券投資などの市場取引や預貸金といった商品毎のVaR^{*}（保有期間1年、観測期間1年、信頼水準99.9%）に基づく市場リスク量に対し、リスク限度額を設定し管理することで健全性の確保に努めています。また、市場取引については、VaRに基づく市場リスク量の管理に加え、残高による運用上限枠や評価損益アラームポイントなども設定しており、四半期毎に運用方針を見直すことでリスクのコントロールを行っています。

また、当行では、自己資本の充実度の評価やストレス・テストの実施にあたり、過去の事例や、景気シナリオに基づく金利変動による影響等を定期的に検証しています。

さらに、収益管理や経営上の判断その他の目的では、市場環境等を踏まえた金利の見通しなど実現性の高い金利変動等を想定し、金利リスクを計測しています。

※政策投資株式（上場）のVaRについては、2026年4月1日より保有期間1年、観測期間11年、信頼水準99.9%にて計測しております。

連結貸借対照表の科目が別紙様式第五号に記載する項目のいずれに相当するかについての説明

2025年3月末

(単位：百万円)

CC2：連結貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表連結 貸借対照表	別紙様式第五号 を参照する番号 又は記号	付表 参照番号
資産の部			
現金預け金	4,245,781		
コールローン及び買入手形	448,130		
債券貸借取引支払保証金	1,379		
買入金銭債権	23,156		
特定取引資産	16,496		
金銭の信託	6,900		
有価証券	3,178,969		6-a
貸出金	13,183,185		6-b
外国為替	5,571		
その他資産	338,967		6-c
有形固定資産	125,295		
無形固定資産	23,927	(6)	2
退職給付に係る資産	37,407	(8)	3
繰延税金資産	2,946		4-a
支払承諾見返	24,854		
貸倒引当金	△ 31,675		
資産の部合計	21,631,292		
負債の部			
預金	16,251,921		
譲渡性預金	463,414		
コールマネー及び売渡手形	1,415,022		
売現先勘定	50,565		
債券貸借取引受入担保金	214,190		
特定取引負債	9,435		
借入金	1,637,445		
外国為替	845		
社債	44,831		7
信託勘定借	16,892		
その他負債	314,202		
退職給付に係る負債	605		
役員退職慰労引当金	232		
睡眠預金払戻損失引当金	421		
ポイント引当金	693		
特別法上の引当金	23		
繰延税金負債	29,815		4-b
再評価に係る繰延税金負債	10,688		4-c
支払承諾	24,854		
負債の部合計	20,486,102		
純資産の部			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,134	(2)	1-b
利益剰余金	837,898	(3)	1-c
自己株式	△ 75,104	(4)	1-d
株主資本合計	1,029,997		
その他有価証券評価差額金	80,195		
繰延ヘッジ損益	17,650	(7)	5
土地再評価差額金	9,594		
退職給付に係る調整累計額	7,752		
その他の包括利益累計額合計	115,193	(5)	
純資産の部合計	1,145,190		
負債及び純資産の部合計	21,631,292		

※会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、口欄（「規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表」）は記載を省略しています。

2026年3月末

(単位：百万円)

CC2：連結貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表連結 貸借対照表	別紙様式第五号 を参照する番号 又は記号	付表 参照番号
資産の部			
現金預け金	2,680,390		
コールローン及び買入手形	306,014		
債券貸借取引支払保証金	3,782		
買入金銭債権	21,019		
特定取引資産	22,998		
金銭の信託	5,900		
有価証券	3,491,819		6-a
貸出金	14,082,336		6-b
外国為替	6,781		
その他資産	396,141		6-c
有形固定資産	127,123		
無形固定資産	28,001	(6)	2
退職給付に係る資産	49,139	(8)	3
繰延税金資産	2,470		4-a
支払承諾見返	23,361		
貸倒引当金	△ 35,498		
資産の部合計	21,211,781		
負債の部			
預金	16,830,424		
譲渡性預金	180,766		
コールマネー及び売渡手形	415,244		
売現先勘定	63,045		
債券貸借取引受入担保金	192,214		
特定取引負債	19,347		
借入金	1,694,463		
外国為替	882		
社債	47,955		7
信託勘定借	17,970		
その他負債	397,378		
退職給付に係る負債	577		
役員退職慰労引当金	206		
睡眠預金払戻損失引当金	213		
ポイント引当金	708		
特別法上の引当金	23		
繰延税金負債	59,277		4-b
再評価に係る繰延税金負債	10,420		4-c
支払承諾	23,361		
負債の部合計	19,954,480		
純資産の部			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,134	(2)	1-b
利益剰余金	874,340	(3)	1-c
自己株式	△ 64,921	(4)	1-d
株主資本合計	1,076,621		
その他有価証券評価差額金	102,209		
繰延ヘッジ損益	55,087	(7)	5
土地再評価差額金	9,683		
退職給付に係る調整累計額	13,698		
その他の包括利益累計額合計	180,678	(5)	
純資産の部合計	1,257,300		
負債及び純資産の部合計	21,211,781		

※会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、口欄（「規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表」）は記載を省略しています。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

《付表》 連結

株主資本

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
資本金	145,069	145,069		1-a
資本剰余金	122,134	122,134		1-b
利益剰余金	837,898	874,340		1-c
自己株式	△ 75,104	△ 64,921		1-d
株主資本合計	1,029,997	1,076,621		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
普通株式等Tier1資本に係る額	1,029,997	1,076,621	普通株式に係る株主資本の額 (社外流出予定額調整前)	
うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203	267,203		1a
うち、利益剰余金の額	837,898	874,340		2
うち、自己株式の額 (△)	75,104	64,921		1c
うち、上記以外に該当するものの額	-	-		

無形固定資産

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
無形固定資産	23,927	28,001		2
うち、のれん	8,261	7,839		
うち、モーゲージ・サービシング・ライツ	-	-		
うち、その他の無形固定資産	15,666	20,162	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等)	
上記に係る税効果	4,923	6,331	全額費用認識した場合の繰延税金資産相当額	

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
無形固定資産 のれんに係るもの (のれん相当差額を含む。) の額	8,261	7,839		8
無形固定資産 その他の無形固定資産に係るものの額	10,742	13,830	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等) 税効果控除後	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツに係るものの額	-	-		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		24
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。) に係る調整項目不算入額	-	-		74

退職給付に係る資産

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
退職給付に係る資産	37,407	49,139		3
上記に係る繰延税金負債	10,508	14,359		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
退職給付に係る資産の額	26,898	34,779	繰延税金負債控除後	15

繰延税金資産

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
繰延税金資産	2,946	2,470		4-a
繰延税金負債	29,815	59,277		4-b
再評価に係る繰延税金負債	10,688	10,420		4-c
その他の無形固定資産の税効果勘案分	4,923	6,331	全額費用認識した場合の繰延税金 資産相当額	
退職給付に係る資産の繰延税金負債	10,508	14,359		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、連結貸借 対照表計上額とは一致せず	10
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、連結貸借 対照表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。） に係る調整項目不算入額	-	-		75

繰延ヘッジ損益

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
繰延ヘッジ損益	17,650	55,087		5

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延ヘッジ損益の額	△ 8,729	△ 9,622	ヘッジ対象に係る時価評価差額が 「その他の包括利益累計額」として 計上されているものを除いたもの	11

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定性的な開示事項

金融機関向け出資等の対象科目

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)				
連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
有価証券	3,178,969	3,491,819	うち、金融機関向け出資等 2025年3月末 138,593百万円 2026年3月末 172,883百万円	6-a
貸出金	13,183,185	14,082,336	劣後ローン等を含む うち、金融機関向け出資等 2025年3月末 5,161百万円 2026年3月末 161百万円	6-b
その他資産	338,967	396,141	出資金を含む うち、金融機関向け出資等 2025年3月末 2百万円 2026年3月末 2百万円	6-c

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
自己保有資本調達手段の額	30	59		
自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを 除く。）の額	30	59		16
自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-		37
自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本等調達手段の額	-	-		
意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-		17
意図的に保有している他の金融機関等のその他 Tier1資本調達手段の額	-	-		38
意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本 調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		53
少数出資金融機関等の資本等調達手段の額	103,198	122,787		
少数出資金融機関等の普通株式の額	-	5,370		18
少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		39
少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその 他外部TLAC関連調達手段の額	-	7		54
少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調 整項目不算入額	103,198	117,410		72
その他金融機関等の資本等調達手段の額	40,526	50,198		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		23
その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		40
その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他 外部TLAC関連調達手段の額	-	-		55
その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち 普通株式に係る調整項目不算入額	40,526	50,198		73

その他資本調達

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

連結貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
社債	44,831	47,955		7

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-		32
Tier2資本調達手段に係る負債の額	-	-		46

自己資本調達手段に関する契約内容

バーゼルⅢによる自己資本比率規制に係る開示事項のうち「自己資本調達手段に関する契約内容の概要および詳細」につきましては、当行ウェブサイト「バーゼル規制関係資料」に掲載しています。

自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異及びその要因に関する説明

定量的な開示事項 第二号第二面 LI1で複数のリスク区分にまたがる勘定科目やリスク区分との紐づけが困難な勘定科目についての定性的な説明

- ・「カウンターパーティ信用リスク」には、デリバティブ資産・負債、デリバティブに関する証拠金及び、レポ形式の取引における差入担保・調達金額等を計上しています。
- ・「マーケット・リスク」には、有価証券（投資信託等）にかかる為替ポジション及び外国為替の勘定残高を計上しています。

自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異について、定量的な開示事項 第二号第三面 LI2で示される主要な差異項目の説明

- ・「オフ・バランスシートの額」には、コミットメント・ラインにおける空枠などを計上しています。
- ・「引当て及び償却を勘案することによる差異」には、基礎的内部格付手法適用資産における適格引当金を計上しています。
- ・「デリバティブ取引による差異」には、PFE*など、SA-CCR方式のデリバティブ与信額とオン・バランス資産・負債との差額を計上しています。

※PFEとはデリバティブの時価が将来的に変動する可能性を考慮したエクスポージャーです。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

定量的な開示事項

その他金融機関等であって銀行の子法人等であるもののうち、自己資本比率規制上の所要自己資本を下回った会社の名称と所要自己資本を下回った額の総額

該当事項はありません。

信用リスクに関する事項

エクスポージャーの区分ごとの期末残高及びそれらの主な種類別の内訳

期末残高及びエクスポージャーの主な種類別の内訳

(単位：百万円、%)

	2025年3月末					2025年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	13,623,087	2,148,083	5,372,886	21,144,057	99.32	323,803
連結子会社のエクスポージャー	93,822	-	51,663	145,485	0.68	2,884
合 計	13,716,909	2,148,083	5,424,549	21,289,542	100.00	326,687

(単位：百万円、%)

	2026年3月末					2026年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	14,539,423	2,377,719	3,753,282	20,670,425	99.28	308,030
連結子会社のエクスポージャー	96,061	-	52,823	148,885	0.72	4,212
合 計	14,635,485	2,377,719	3,806,106	20,819,310	100.00	312,243

※1.エクスポージャーには、調整項目の額に算入される部分は含まれていません。

※2.「貸出金等」とは、貸出金及びオフ・バランスのエクスポージャーのうちコミットメントと保証取引（支払承諾）です。なお、連結子会社におけるリース資産及び買入金銭債権を含んでいます。

期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの額及びそれらのエクスポージャーの主な種類別の内訳

● 地域別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末					2025年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	13,623,087	2,148,083	5,372,886	21,144,057	99.32	323,803
国内	13,129,373	1,744,885	5,327,737	20,201,997	94.89	304,203
海外	493,713	403,197	45,148	942,059	4.42	19,599
連結子会社のエクスポージャー	93,822	-	51,663	145,485	0.68	2,884
合 計	13,716,909	2,148,083	5,424,549	21,289,542	100.00	326,687

(単位：百万円、%)

	2026年3月末					2026年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	14,539,423	2,377,719	3,753,282	20,670,425	99.28	308,030
国内	13,983,100	1,949,887	3,698,752	19,631,740	94.30	279,519
海外	556,323	427,832	54,530	1,038,685	4.99	28,511
連結子会社のエクスポージャー	96,061	-	52,823	148,885	0.72	4,212
合 計	14,635,485	2,377,719	3,806,106	20,819,310	100.00	312,243

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末					2025年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	13,623,087	2,148,083	5,372,886	21,144,057	99.32	323,803
製造業	886,614	168,186	72,327	1,127,128	5.29	882
農業、林業	18,767	144	-	18,911	0.09	69
漁業	1,279	-	-	1,279	0.01	1
鉱業、採石業、砂利採取業	19,295	1,993	4,050	25,339	0.12	-
建設業	536,393	15,306	9,457	561,156	2.64	167
電気・ガス・熱供給・水道業	280,584	6,998	509	288,092	1.35	11,972
情報通信業	111,664	39,128	540	151,333	0.71	58
運輸業、郵便業	313,102	34,295	13,578	360,975	1.70	214
卸売業、小売業	949,326	35,423	57,311	1,042,061	4.89	1,719
金融業、保険業	760,927	220,572	4,827,658	5,809,158	27.29	295,846
不動産業、物品賃貸業	4,097,160	12,948	91,604	4,201,713	19.74	1,099
医療、福祉その他サービス業	936,279	33,737	13,972	983,989	4.62	554
国・地方公共団体	371,446	1,167,694	4,641	1,543,782	7.25	-
個人	4,269,896	-	-	4,269,896	20.06	11,217
その他	70,349	411,654	277,235	759,239	3.57	-
連結子会社のエクスポージャー	93,822	-	51,663	145,485	0.68	2,884
合 計	13,716,909	2,148,083	5,424,549	21,289,542	100.00	326,687

(単位：百万円、%)

	2026年3月末					2026年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	14,539,423	2,377,719	3,753,282	20,670,425	99.28	308,030
製造業	961,847	151,528	91,725	1,205,101	5.79	484
農業、林業	19,257	59	74	19,392	0.09	16
漁業	1,120	-	-	1,120	0.01	0
鉱業、採石業、砂利採取業	26,239	1,960	6,282	34,482	0.17	-
建設業	570,885	12,242	8,746	591,873	2.84	52
電気・ガス・熱供給・水道業	287,026	13,418	560	301,006	1.45	4,961
情報通信業	138,069	37,506	530	176,106	0.85	15
運輸業、郵便業	358,280	34,798	11,196	404,274	1.94	59
卸売業、小売業	963,677	29,432	62,919	1,056,029	5.07	507
金融業、保険業	881,510	284,022	3,150,337	4,315,869	20.73	285,532
不動産業、物品賃貸業	4,380,821	11,197	103,612	4,495,631	21.59	357
医療、福祉その他サービス業	977,016	31,245	13,779	1,022,041	4.91	271
国・地方公共団体	374,735	1,409,279	4,076	1,788,091	8.59	-
個人	4,530,129	-	-	4,530,129	21.76	15,770
その他	68,805	361,027	299,440	729,273	3.50	-
連結子会社のエクスポージャー	96,061	-	52,823	148,885	0.72	4,212
合 計	14,635,485	2,377,719	3,806,106	20,819,310	100.00	312,243

● 残存期間別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末					2025年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	13,623,087	2,148,083	5,372,886	21,144,057	99.32	323,803
1年以下	2,342,560	147,919	4,633,097	7,123,578	33.46	246,058
1年超3年以下	1,127,569	381,081	7,874	1,516,525	7.12	34,177
3年超5年以下	1,365,292	554,615	38,459	1,958,367	9.20	12,137
5年超7年以下	833,846	143,848	404	978,099	4.59	3,207
7年超10年以下	725,172	36,242	1,426	762,842	3.58	5,850
10年超	7,162,458	884,375	436	8,047,270	37.80	22,371
期間の定めなし	66,187	-	691,185	757,373	3.56	-
連結子会社のエクスポージャー	93,822	-	51,663	145,485	0.68	2,884
合 計	13,716,909	2,148,083	5,424,549	21,289,542	100.00	326,687

(単位：百万円、%)

	2026年3月末					2026年3月末
	期末残高				構成比	カウンター パーティ 信用リスク合計
	貸出金等	債券	その他	計		
当行のエクスポージャー	14,539,423	2,377,719	3,753,282	20,670,425	99.28	308,030
1年以下	2,431,175	229,517	2,913,124	5,573,818	26.77	247,992
1年超3年以下	1,402,437	798,896	901	2,202,235	10.58	24,738
3年超5年以下	1,613,062	315,593	37,800	1,966,456	9.45	6,782
5年超7年以下	698,747	58,437	442	757,627	3.64	3,931
7年超10年以下	790,436	155,792	1,702	947,931	4.55	5,218
10年超	7,541,123	819,481	-	8,360,605	40.16	19,365
期間の定めなし	62,439	-	799,311	861,751	4.14	-
連結子会社のエクスポージャー	96,061	-	52,823	148,885	0.72	4,212
合 計	14,635,485	2,377,719	3,806,106	20,819,310	100.00	312,243

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則（平成十年金融再生委員会規則第二号）第四条第二項、第三項又は第四項に規定する債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高、当該期末残高に対応して計上されている引当金の額及び当該エクスポージャーに係る償却額並びにこれらの次に掲げる区分ごとの内訳

金融再生法開示債権に係る債務者のエクスポージャー

期末残高

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	19,929	43,637	74,932	138,499	98.23
連結子会社のエクスポージャー	1,901	377	213	2,492	1.76
合 計	21,830	44,014	75,146	140,991	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	17,045	43,675	78,876	139,597	98.36
連結子会社のエクスポージャー	1,700	316	305	2,323	1.63
合 計	18,746	43,992	79,182	141,921	100.00

期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの内訳

● 地域別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	19,929	43,637	74,932	138,499	98.23
国内	19,929	43,637	74,932	138,499	98.23
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,901	377	213	2,492	1.76
合 計	21,830	44,014	75,146	140,991	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	17,045	43,675	78,876	139,597	98.36
国内	17,045	43,675	78,876	139,597	98.36
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,700	316	305	2,323	1.63
合 計	18,746	43,992	79,182	141,921	100.00

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	19,929	43,637	74,932	138,499	98.23
製造業	540	5,750	9,113	15,403	10.92
農業、林業	143	142	333	618	0.43
漁業	-	3	-	3	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	751	3,112	5,893	9,756	6.91
電気・ガス・熱供給・水道業	11	-	4,667	4,678	3.31
情報通信業	2	591	295	889	0.63
運輸業、郵便業	170	1,158	13,352	14,682	10.41
卸売業、小売業	1,530	6,914	14,585	23,030	16.33
金融業、保険業	-	1	-	1	0.00
不動産業、物品賃貸業	2,385	8,685	10,443	21,513	15.25
医療、福祉その他サービス業	1,304	7,155	13,197	21,657	15.36
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	13,090	10,121	3,052	26,263	18.62
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,901	377	213	2,492	1.76
合 計	21,830	44,014	75,146	140,991	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	17,045	43,675	78,876	139,597	98.36
製造業	309	8,929	9,194	18,433	12.98
農業、林業	192	40	326	559	0.39
漁業	-	3	20	23	0.01
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	176	3,878	5,401	9,456	6.66
電気・ガス・熱供給・水道業	10	-	4,322	4,332	3.05
情報通信業	10	339	614	964	0.67
運輸業、郵便業	0	1,057	15,589	16,646	11.72
卸売業、小売業	999	9,635	16,315	26,950	18.98
金融業、保険業	-	0	270	271	0.19
不動産業、物品賃貸業	1,792	6,993	9,402	18,188	12.81
医療、福祉その他サービス業	1,145	5,332	14,246	20,723	14.60
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	12,409	7,463	3,173	23,046	16.23
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,700	316	305	2,323	1.63
合 計	18,746	43,992	79,182	141,921	100.00

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

金融再生法開示債権に係る債務者のエクスポージャーに係る貸倒引当金

期末残高

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	構成比
当行のエクスポージャー	841	4,625	10,213	15,680	81.15
連結子会社のエクスポージャー	3,173	448	20	3,642	18.84
合 計	4,014	5,073	10,234	19,322	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	構成比
当行のエクスポージャー	506	7,113	9,229	16,849	84.51
連結子会社のエクスポージャー	2,784	273	29	3,087	15.48
合 計	3,291	7,386	9,259	19,937	100.00

期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの内訳

● 地域別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	構成比
当行のエクスポージャー	841	4,625	10,213	15,680	81.15
国内	841	4,625	10,213	15,680	81.15
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	3,173	448	20	3,642	18.84
合 計	4,014	5,073	10,234	19,322	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	構成比
当行のエクスポージャー	506	7,113	9,229	16,849	84.51
国内	506	7,113	9,229	16,849	84.51
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	2,784	273	29	3,087	15.48
合 計	3,291	7,386	9,259	19,937	100.00

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	841	4,625	10,213	15,680	81.15
製造業	32	1,559	1,196	2,788	14.43
農業、林業	1	18	12	31	0.16
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	36	240	966	1,243	6.43
電気・ガス・熱供給・水道業	0	-	1,522	1,523	7.88
情報通信業	-	57	11	68	0.35
運輸業、郵便業	16	48	3,469	3,534	18.29
卸売業、小売業	287	871	1,349	2,509	12.98
金融業、保険業	-	0	-	0	0.00
不動産業、物品賃貸業	324	691	491	1,507	7.80
医療、福祉その他サービス業	133	1,015	1,077	2,226	11.52
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	9	120	115	246	1.27
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	3,173	448	20	3,642	18.84
合 計	4,014	5,073	10,234	19,322	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	506	7,113	9,229	16,849	84.51
製造業	23	2,500	921	3,445	17.28
農業、林業	-	4	7	12	0.06
漁業	-	-	0	0	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	8	641	565	1,215	6.09
電気・ガス・熱供給・水道業	0	-	1,464	1,464	7.34
情報通信業	1	13	14	29	0.14
運輸業、郵便業	0	38	3,742	3,780	18.96
卸売業、小売業	157	2,496	1,006	3,661	18.36
金融業、保険業	-	0	6	6	0.03
不動産業、物品賃貸業	158	607	416	1,181	5.92
医療、福祉その他サービス業	152	694	1,007	1,853	9.29
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	3	117	75	197	0.99
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	2,784	273	29	3,087	15.48
合 計	3,291	7,386	9,259	19,937	100.00

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

金融再生法開示債権に係る債務者のエクスポージャーに係る償却額

期末残高

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	10,168	-	-	10,168	91.15
連結子会社のエクスポージャー	987	-	-	987	8.84
合 計	11,155	-	-	11,155	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	7,499	-	-	7,499	87.84
連結子会社のエクスポージャー	1,037	-	-	1,037	12.15
合 計	8,537	-	-	8,537	100.00

期末残高のうち、次に掲げる区分ごとの内訳

● 地域別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	10,168	-	-	10,168	91.15
国内	10,168	-	-	10,168	91.15
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	987	-	-	987	8.84
合 計	11,155	-	-	11,155	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	7,499	-	-	7,499	87.84
国内	7,499	-	-	7,499	87.84
海外	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,037	-	-	1,037	12.15
合 計	8,537	-	-	8,537	100.00

※「国内」とは、当行の国内店です。「海外」とは、当行の海外店です。

● 業種別

(単位：百万円、%)

	2025年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	10,168	-	-	10,168	91.15
製造業	3,355	-	-	3,355	30.08
農業、林業	3	-	-	3	0.03
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	470	-	-	470	4.21
電気・ガス・熱供給・水道業	8	-	-	8	0.07
情報通信業	27	-	-	27	0.24
運輸業、郵便業	1,107	-	-	1,107	9.92
卸売業、小売業	2,641	-	-	2,641	23.67
金融業、保険業	37	-	-	37	0.33
不動産業、物品賃貸業	805	-	-	805	7.21
医療、福祉その他サービス業	1,700	-	-	1,700	15.24
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	12	-	-	12	0.10
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	987	-	-	987	8.84
合 計	11,155	-	-	11,155	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末				
	破産更生債権及び これらに準ずる債権	危険債権	要管理先債権	計	
					構成比
当行のエクスポージャー	7,499	-	-	7,499	87.84
製造業	306	-	-	306	3.59
農業、林業	59	-	-	59	0.69
漁業	-	-	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-	-
建設業	1,110	-	-	1,110	13.00
電気・ガス・熱供給・水道業	338	-	-	338	3.96
情報通信業	57	-	-	57	0.66
運輸業、郵便業	886	-	-	886	10.38
卸売業、小売業	3,229	-	-	3,229	37.82
金融業、保険業	1	-	-	1	0.01
不動産業、物品賃貸業	727	-	-	727	8.52
医療、福祉その他サービス業	782	-	-	782	9.16
国・地方公共団体	-	-	-	-	-
個人	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
連結子会社のエクスポージャー	1,037	-	-	1,037	12.15
合 計	8,537	-	-	8,537	100.00

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

延滞期間別のエクスポージャーの期末残高

(単位：百万円、%)

	2025年3月末									
	1ヵ月未満		1ヵ月以上2ヵ月未満		2ヵ月以上3ヵ月未満		3ヵ月以上		計	
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比
当行のエクスポージャー	38,479	86.47	3,479	7.81	1,907	4.28	418	0.94	44,285	99.51
連結子会社のエクスポージャー	72	0.16	12	0.02	4	0.00	126	0.28	215	0.48
合 計	38,551	86.63	3,491	7.84	1,911	4.29	544	1.22	44,500	100.00

(単位：百万円、%)

	2026年3月末									
	1ヵ月未満		1ヵ月以上2ヵ月未満		2ヵ月以上3ヵ月未満		3ヵ月以上		計	
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比	期末残高	構成比
当行のエクスポージャー	24,773	78.44	3,799	12.03	1,686	5.34	1,176	3.72	31,436	99.54
連結子会社のエクスポージャー	64	0.20	6	0.01	4	0.01	70	0.22	145	0.45
合 計	24,838	78.64	3,805	12.04	1,691	5.35	1,246	3.94	31,581	100.00

※危険債権以下に該当するものを除く。

経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権に係る債務者のエクスポージャーの期末残高のうち、貸出条件の緩和を実施したことに伴い、当該エクスポージャーに係る引当金の額を増加させたものの額及びそれ以外のものの額

(単位：百万円、%)

	2025年3月末	
	期末残高	構成比
経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権	215,489	100.00
引当金の額を増加させたもの	73,823	34.25
それ以外のもの	141,665	65.74

(単位：百万円、%)

	2026年3月末	
	期末残高	構成比
経営再建又は支援を図ることを目的として貸出条件の緩和を実施した債権	214,584	100.00
引当金の額を増加させたもの	76,927	35.84
それ以外のもの	137,656	64.15

※破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権又は三月以上延滞債権に該当するものを除く。

リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算が適用されるエクスポージャーの額

(単位：百万円)

	2025年3月末	2026年3月末
ルック・スルー方式	609,296	599,042
マンドート方式	4,184	5,093
蓋然性方式（リスク・ウェイト=250%）	-	-
蓋然性方式（リスク・ウェイト=400%）	-	-
フォールバック方式（リスク・ウェイト=1250%）	95	69
合 計	613,576	604,205

※1.「ルック・スルー方式」とは、自己資本比率告示第167条第2項に掲げる方式で、当該エクスポージャーの裏付けとなる個々の資産の信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

※2.「マンドート方式」とは、自己資本比率告示第167条第7項に掲げる方式で、当該エクスポージャーの運用基準（マンドート）に基づき、当該エクスポージャーの資産構成を保守的に仮定し、個々の資産の信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

※3.「蓋然性方式（リスク・ウェイト=250%）」とは、自己資本比率告示第167条第10項第1号に掲げる方式、「蓋然性方式（リスク・ウェイト=400%）」とは自己資本比率告示第167条第10項第2号に掲げる方式で、上記2つの方式が適用できない場合、当該エクスポージャーのリスク・ウェイトについて250%または400%である蓋然性が高いことを疎明したとき、各リスク・ウェイトを用いて信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

※4.「フォールバック方式（リスク・ウェイト=1250%）」とは、自己資本比率告示第167条第11項に掲げる方式で、上記3つの方式がいずれも適用できない場合、当該エクスポージャーに1250%のリスク・ウェイトを用いて信用リスク・アセットを算出し足し上げるものです。

開示告示別紙様式第二号に基づく開示事項

第一面 OV1：リスク・アセットの概要

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要

国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		2026年3月末	2025年3月末	2026年3月末	2025年3月末
1	信用リスク	5,722,725	5,307,404	457,818	424,592
2	うち、標準的手法適用分	448,856	322,748	35,908	25,819
3	うち、基礎的内部格付手法適用分	4,772,558	4,540,886	381,804	363,270
4	うち、スロットティング・クライテリア適用分	367,713	313,415	29,417	25,073
5	うち、先進的内部格付手法適用分	-	-	-	-
	うち、重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	12,433	11,089	994	887
	その他	121,163	119,263	9,693	9,541
6	カウンターパーティ信用リスク	25,633	27,211	2,050	2,176
7	うち、SA-CCR適用分	18,982	21,052	1,518	1,684
8	うち、期待エクスポージャー方式適用分	-	-	-	-
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	2,047	1,898	163	151
9	その他	4,603	4,260	368	340
10	CVAリスク	73,550	68,338	5,884	5,467
	うち、SA-CVA適用分	-	-	-	-
	うち、完全なBA-CVA適用分	-	-	-	-
	うち、限定的なBA-CVA適用分	73,550	68,338	5,884	5,467
11	経過措置により適用されるマーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	328,196	281,503	26,255	22,520
12	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（レック・スルー方式）	1,081,736	988,585	86,538	79,086
13	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マンドート方式）	63,672	52,306	5,093	4,184
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	-	-	-	-
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	-	-	-	-
14	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	865	1,199	69	95
15	未決済取引	-	-	-	-
16	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	-	-	-	-
17	うち、内部格付手法準拠方式適用分	-	-	-	-
18	うち、外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分	-	-	-	-
19	うち、標準的手法準拠方式適用分	-	-	-	-
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	-	-	-	-
20	マーケット・リスク	87,260	78,667	6,980	6,293
21	うち、標準的方式適用分	-	-	-	-
22	うち、内部モデル方式適用分	-	-	-	-
	うち、簡易的方式適用分	87,260	78,667	6,980	6,293
23	勘定間の振替分	-	-	-	-
24	オペレーショナル・リスク	271,673	242,729	21,733	19,418
25	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	125,497	101,317	10,039	8,105
26	フロア調整	-	-	-	-
27	合計	7,780,812	7,149,263	622,464	571,941

第二面 LI1：会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

2025年3月末

(単位：百万円)

LI1:会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

	イ及びロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	連結貸借対照表計上額及び自己資本比率規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表計上額	各項目に対応する帳簿価額				
		信用リスク (ニ欄及びホ欄に該当する額を除く。)	カウンターパーティー信用リスク	証券化エクスポージャー (ヘ欄に該当する額を除く。)	マーケット・リスク	所要自己資本算定対象外の項目又は規制資本からの調整項目
資産						
現金預け金	4,245,781	4,245,781	-	-	-	-
コールローン及び買入手形	448,130	448,130	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	1,379	-	1,379	-	-	-
買入金銭債権	23,156	23,156	-	-	-	-
特定取引資産	16,496	5,669	10,826	-	-	-
金銭の信託	6,900	6,900	-	-	-	-
有価証券	3,178,969	3,178,938	272,561	-	59,786	30
貸出金	13,183,185	13,158,874	2,583	-	-	21,726
外国為替	5,571	5,571	-	-	5,571	-
その他資産	338,967	160,870	176,299	-	-	3,796
有形固定資産	125,295	125,295	-	-	-	-
無形固定資産	23,927	-	-	-	-	23,927
退職給付に係る資産	37,407	-	-	-	-	37,407
繰延税金資産	2,946	-	-	-	-	2,946
支払承諾見返	24,854	24,854	-	-	-	-
貸倒引当金	△31,675	△31,675	-	-	-	-
資産合計	21,631,292	21,352,368	463,650	-	65,358	89,835
負債						
預金	16,251,921	80,059	-	-	-	16,171,862
譲渡性預金	463,414	-	-	-	-	463,414
コールマネー及び売渡手形	1,415,022	-	-	-	-	1,415,022
売現先勘定	50,565	-	-	-	-	50,565
債券貸借取引受入担保金	214,190	-	-	-	-	214,190
特定取引負債	9,435	-	8,055	-	-	1,380
借入金	1,637,445	-	-	-	-	1,637,445
外国為替	845	-	-	-	845	-
社債	44,831	-	-	-	-	44,831
信託勘定借	16,892	-	-	-	-	16,892
その他負債	314,202	-	171,411	-	-	142,790
退職給付に係る負債	605	-	-	-	-	605
役員退職慰労引当金	232	-	-	-	-	232
睡眠預金払戻損失引当金	421	-	-	-	-	421
ポイント引当金	693	-	-	-	-	693
特別法上の引当金	23	-	-	-	-	23
繰延税金負債	29,815	-	-	-	-	29,815
再評価に係る繰延税金負債	10,688	-	-	-	-	10,688
支払承諾	24,854	-	-	-	-	24,854
負債合計	20,486,102	80,059	179,467	-	845	20,225,730

※1.会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、イ欄とロ欄を統合しています。

※2.複数のリスク・カテゴリーにおいて、資本賦課の対象となる項目については、ハ～トの合計とイが一致しない場合があります。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円)

II1:会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲との間の差異及び連結貸借対照表の区分と自己資本比率規制上のリスク・カテゴリーとの対応関係

	イ及びロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	連結貸借対照表計上額及び自己資本比率規制上の連結範囲に基づく連結貸借対照表計上額	各項目に対応する帳簿価額				
		信用リスク (二欄及びホ欄に該当する額を除く。)	カウンターパーティ信用リスク	証券化エクスポージャー (ヘ欄に該当する額を除く。)	マーケット・リスク	所要自己資本算定対象外の項目又は規制資本からの調整項目
資産						
現金預け金	2,680,390	2,680,390	-	-	-	-
コールローン及び買入手形	306,014	306,014	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	3,782	-	3,782	-	-	-
買入金銭債権	21,019	21,019	-	-	-	-
特定取引資産	22,998	5,007	17,990	-	-	-
金銭の信託	5,900	5,900	-	-	-	-
有価証券	3,491,819	3,486,389	251,585	-	71,768	5,429
貸出金	14,082,336	14,056,312	3,006	-	-	23,017
外国為替	6,781	6,781	-	-	6,781	-
その他資産	396,141	180,421	215,531	-	-	2,188
有形固定資産	127,123	127,123	-	-	-	-
無形固定資産	28,001	-	-	-	-	28,001
退職給付に係る資産	49,139	-	-	-	-	49,139
繰延税金資産	2,470	-	-	-	-	2,470
支払承諾見返	23,361	23,361	-	-	-	-
貸倒引当金	△35,498	△35,498	-	-	-	-
資産合計	21,211,781	20,863,223	491,896	-	78,549	110,246
負債						
預金	16,830,424	83,013	-	-	-	16,747,410
譲渡性預金	180,766	-	-	-	-	180,766
コールマネー及び売渡手形	415,244	-	-	-	-	415,244
売現先勘定	63,045	-	-	-	-	63,045
債券貸借取引受入担保金	192,214	-	-	-	-	192,214
特定取引負債	19,347	-	15,598	-	-	3,748
借入金	1,694,463	-	-	-	-	1,694,463
外国為替	882	-	-	-	882	-
社債	47,955	-	-	-	-	47,955
信託勘定借	17,970	-	-	-	-	17,970
その他負債	397,378	-	233,826	-	-	163,552
退職給付に係る負債	577	-	-	-	-	577
役員退職慰労引当金	206	-	-	-	-	206
睡眠預金払戻損失引当金	213	-	-	-	-	213
ポイント引当金	708	-	-	-	-	708
特別法上の引当金	23	-	-	-	-	23
繰延税金負債	59,277	-	-	-	-	59,277
再評価に係る繰延税金負債	10,420	-	-	-	-	10,420
支払承諾	23,361	-	-	-	-	23,361
負債合計	19,954,480	83,013	249,425	-	882	19,621,159

※1.会計上の連結範囲と自己資本比率規制上の連結範囲が同一であるため、イ欄とロ欄を統合しています。

※2.複数のリスク・カテゴリーにおいて、資本賦課の対象となる項目については、ハ～トの合計とイが一致しない場合があります。

第三面 LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因

2025年3月末

(単位：百万円)

LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		合計	対応する項目			
			信用リスク (ハ欄及び ニ欄に該当 する額を除 く。)	カウンター パーティ信 用リスク	証券化エクス ポージャー (ホ欄に該 当する額を 除く。)	マ ー ケ ッ ト・リスク
1	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産の額	21,541,457	21,352,368	463,650	-	65,358
2	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく負債の額	260,372	80,059	179,467	-	845
3	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産及び負債の純額	21,281,084	21,272,308	9,621	-	64,513
4	オフ・バランスシートの額	495,104	481,281	13,822	-	-
5	引当て及び償却を勘案することによる差異	62,634	62,634	-	-	-
6	デリバティブ取引による差異	178,511	-	178,511	-	-
7	複数のリスク・カテゴリーに計上されることによる差異	-	-	-	-	-
8	その他	△1,350	27	△1,377	-	-
9	自己資本比率規制上のエクスポージャーの額	22,015,984	21,816,251	200,578	-	64,513

2026年3月末

(単位：百万円)

LI2：自己資本比率規制上のエクスポージャーの額と連結貸借対照表計上額との差異の主な要因

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		合計	対応する項目			
			信用リスク (ハ欄及び ニ欄に該当 する額を除 く。)	カウンター パーティ信 用リスク	証券化エクス ポージャー (ホ欄に該 当する額を 除く。)	マ ー ケ ッ ト・リスク
1	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産の額	21,101,534	20,863,223	491,896	-	78,549
2	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく負債の額	333,321	83,013	249,425	-	882
3	自己資本比率規制上の連結範囲に基づく資産及び負債の純額	20,768,212	20,780,209	△ 11,114	-	77,666
4	オフ・バランスシートの額	494,766	487,282	7,484	-	-
5	引当て及び償却を勘案することによる差異	65,712	65,712	-	-	-
6	デリバティブ取引による差異	216,430	-	216,430	-	-
7	複数のリスク・カテゴリーに計上されることによる差異	-	-	-	-	-
8	その他	△3,584	154	△ 3,738	-	-
9	自己資本比率規制上のエクスポージャーの額	21,541,538	21,333,358	209,062	-	77,666

※複数のリスク・カテゴリーに計上される項目について、ロ～ホの合計とイが一致しない場合があります。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第四面 CR1：資産の信用の質

2025年3月末

(単位：百万円)

CR1：資産の信用の質

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
	オン・バランスシートの資産				
1	貸出金	170,188	13,117,566	30,959	13,256,794
2	有価証券（うち負債性のもの）	57	2,148,025	-	2,148,083
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	210	4,625,385	91	4,625,503
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	170,456	19,890,977	31,051	20,030,382
	オフ・バランスシートの資産				
5	支払承諾等	274	44,679	56	44,897
6	コミットメント等	880	523,412	-	524,293
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	1,155	568,091	56	569,190
	合計				
8	合計（4+7）	171,612	20,459,068	31,108	20,599,573

2026年3月末

(単位：百万円)

CR1：資産の信用の質

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		帳簿価額の総額		引当金	ネット金額 (イ+ロ-ハ)
		デフォルトした エクスポージャー	非デフォルト エクスポージャー		
	オン・バランスシートの資産				
1	貸出金	170,533	14,018,136	34,366	14,154,303
2	有価証券（うち負債性のもの）	19	2,377,700	-	2,377,719
3	その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）	356	2,907,619	161	2,907,814
4	オン・バランスシートの資産の合計（1+2+3）	170,908	19,303,457	34,528	19,439,837
	オフ・バランスシートの資産				
5	支払承諾等	247	41,348	41	41,554
6	コミットメント等	1,290	561,775	-	563,065
7	オフ・バランスシートの資産の合計（5+6）	1,537	603,123	41	604,620
	合計				
8	合計（4+7）	172,446	19,906,581	34,569	20,044,458

※1.当行におけるデフォルト事由の判定は、信用供与先などの債務者格付が要管理先以下に下方遷移することです。

※2.「その他オン・バランスシートの資産（うち負債性のもの）」には、預け金、コールローン、外国為替等が含まれます。

第五面 CR2：デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

2025年3月末

(単位：百万円)

CR2:デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

項番		額
1	前期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高	162,582
2	貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の当期中の要因別の変動額	デフォルトした額
3		57,559
4		非デフォルト状態へ復帰した額
5		15,840
4	償却された額	11,723
5		その他の変動額
6	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）	△ 22,122
6	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）	170,456

2026年3月末

(単位：百万円)

CR2:デフォルトした貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高の変動

項番		額
1	前期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高	170,456
2	貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の当期中の要因別の変動額	デフォルトした額
3		53,045
4		非デフォルト状態へ復帰した額
5		17,553
4	償却された額	8,584
5		その他の変動額
6	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）	△ 26,457
6	当期末時点においてデフォルト状態にある貸出金・有価証券等（うち負債性のもの）の残高（1+2-3-4+5）	170,908

※「その他の変動額」の主な発生要因は、回収による残高減少及び売却による残高減少です。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第六面 CR3：信用リスク削減手法

2025年3月末

(単位：百万円)

CR3:信用リスク削減手法

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		非保全 エクスポ ージャー	保全された エクスポ ージャー	担保で保全 された エクスポ ージャー	保証で保全 された エクスポ ージャー	クレジット・ デリバティブで 保全された エクスポ ージャー
1	貸出金	11,035,976	2,220,818	1,860,908	359,910	-
2	有価証券（負債性のもの）	2,129,274	18,809	-	18,809	-
3	その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）	4,625,490	13	13	-	-
4	合計（1+2+3）	17,790,741	2,239,641	1,860,921	378,719	-
5	うちデフォルトしたもの	111,965	39,316	17,229	22,086	-

2026年3月末

(単位：百万円)

CR3:信用リスク削減手法

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		非保全 エクスポ ージャー	保全された エクスポ ージャー	担保で保全 された エクスポ ージャー	保証で保全 された エクスポ ージャー	クレジット・ デリバティブで 保全された エクスポ ージャー
1	貸出金	11,815,643	2,338,659	1,995,694	342,965	-
2	有価証券（負債性のもの）	2,343,577	34,141	-	34,141	-
3	その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）	2,907,801	13	13	-	-
4	合計（1+2+3）	17,067,022	2,372,815	1,995,707	377,107	-
5	うちデフォルトしたもの	111,617	39,391	17,154	22,237	-

※「その他オン・バランスシートの資産（負債性のもの）」には、預け金、コールローン、外国為替等が含まれます。

第七面 CR4：標準的手法-信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

2025年3月末

(単位：百万円、%)

CR4:標準的手法—信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法適用前のエクスポージャー		CCF・信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー		信用リスク・アセットの額	リスク・ウェイトの加重平均値 (RWA density)
	資産クラス	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額	オン・バランスシートの額	オフ・バランスシートの額		
1a	日本国政府及び日本銀行向け	3,739	-	3,739	-	-	0.00
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-
1c	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-
2a	我が国の地方公共団体向け	945	4	945	0	-	0.00
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-
2c	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-
2d	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-
2e	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-
3	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	5,424	788	5,424	78	1,318	23.96
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	-	-	-	-	-	-
5	カバード・ボンド向け	-	-	-	-	-	-
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	72,735	33,171	72,735	3,413	76,111	99.95
	うち、特定貸付債権向け	-	-	-	-	-	-
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	-	-	-	-	-	-
7b	株式等	185,674	-	185,674	-	241,376	130.00
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	4,703	-	4,703	-	3,527	75.00
	うち、トランザクター向け	-	-	-	-	-	-
9	不動産関連向け	-	-	-	-	-	-
	うち、自己居住用不動産等向け	-	-	-	-	-	-
	うち、賃貸用不動産向け	-	-	-	-	-	-
	うち、事業用不動産関連	-	-	-	-	-	-
	うち、その他不動産関連	-	-	-	-	-	-
	うち、ADC向け	-	-	-	-	-	-
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	266	351	266	35	414	137.72
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	-	-	-	-	-	-
11a	現金	0	-	0	-	-	0.00
11b	取立未済手形	-	-	-	-	-	-
	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-
12	合計	273,489	34,316	273,489	3,527	322,748	116.50

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円、%)

CR4:標準的手法—信用リスク・エクスポージャーと信用リスク削減手法の効果

項番	資産クラス	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		CCF・信用リスク削減手法 適用前のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法 適用後のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法 適用後のエクスポージャー	CCF・信用リスク削減手法 適用後のエクスポージャー	信用リスク・ アセットの額	リスク・ ウェイトの 加重平均値 (RWA density)
1a	日本国政府及び日本銀行向け	4,709	-	4,709	-	-	0.00
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-
1c	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-
2a	我が国の地方公共団体向け	896	4	896	0	-	0.00
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-
2c	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-
2d	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-
2e	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-
3	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	7,116	836	7,116	83	1,670	23.19
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	-	-	-	-	-	-
5	カバード・ボンド向け	-	-	-	-	-	-
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	72,332	32,093	72,332	3,350	75,645	99.95
	うち、特定貸付債権向け	-	-	-	-	-	-
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	-	-	-	-	-	-
7b	株式等	231,263	-	231,263	-	370,021	160.00
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	1,623	-	1,623	-	1,217	75.00
	うち、トランザクター向け	-	-	-	-	-	-
9	不動産関連向け	-	-	-	-	-	-
	うち、自己居住用不動産等向け	-	-	-	-	-	-
	うち、賃貸用不動産向け	-	-	-	-	-	-
	うち、事業用不動産関連	-	-	-	-	-	-
	うち、その他不動産関連	-	-	-	-	-	-
	うち、ADC向け	-	-	-	-	-	-
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	194	322	194	32	301	132.93
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	-	-	-	-	-	-
11a	現金	0	-	0	-	-	0.00
11b	取立未済手形	-	-	-	-	-	-
	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-
12	合計	318,136	33,255	318,136	3,466	448,856	139.56

第八面 CR5a：標準的手法 -資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

2025年3月末

(単位：百万円)

CR5a:標準的手法—資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

項番	リスク・ウェイト 資産クラス	信用リスク・エクスポージャーの額（CCF・信用リスク削減手法適用後）									
		0%	20%	50%	100%	150%	その他	合計			
1a	日本国政府及び日本銀行向け	3,739	-	-	-	-	-	3,739			
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-	-			
1c	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-	-			
		0%	10%	20%	50%	100%	150%	その他	合計		
2a	我が国の地方公共団体向け	945	-	-	-	-	-	-	945		
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
2c	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
2d	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
2e	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
		0%	20%	30%	50%	100%	150%	その他	合計		
3	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
		20%	30%	40%	50%	75%	100%	150%	その他	合計	
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	4,988	375	-	-	-	-	139	-	5,503	
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		10%	15%	20%	25%	35%	50%	100%	その他	合計	
5	カバード・ボンド向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	-	75	-	-	-	76,073	-	-	-	76,149
	うち、特定貸付債権向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100%	150%	130%	400%	その他	合計				
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7b	株式等	-	-	185,674	-	-	-	-	-	185,674	
		45%	75%	100%	その他	合計					
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	-	4,703	-	-	-	-	-	-	4,703	
		20%	25%	30%	40%	50%	70%	75%	その他	合計	
9a	不動産関連向け うち、自己居住用不動産等向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	31.25%	37.5%	50%	62.5%			その他	合計	
		-	-	-	-	-			-	-	
		30%	35%	45%	60%	75%	105%	150%	その他	合計	
9b	不動産関連向け うち、賃貸用不動産向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	43.75%	56.25%	75%	93.75%			その他	合計	
		-	-	-	-	-			-	-	
		70%	90%	110%	150%	その他	合計				
9c	不動産関連向け うち、事業用不動産関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	112.5%					その他	合計	-	
		-	-	-				-	-	-	
		60%	その他	合計							
9d	不動産関連向け うち、その他不動産関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	60%	その他	合計						
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		100%	150%	その他	合計						
9e	不動産関連向け うち、ADC向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50%	100%	150%	その他	合計					
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	0	73	227	-	-	-	-	301		
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	-	-	-	-	-	-	-	-		
		0%	10%	20%	その他	合計					
11a	現金	0	-	-	-	-	-	-	0		
11b	取立未済手形	-	-	-	-	-	-	-	-		
	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-		
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-		

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円)

CR5a:標準的手法－資産クラス及びリスク・ウェイト別の信用リスク・エクスポージャー

		信用リスク・エクスポージャーの額（CCF・信用リスク削減手法適用後）									
項番	リスク・ウェイト	0%	20%	50%	100%	150%	その他	合計			
	資産クラス										
1a	日本国政府及び日本銀行向け	4,709	-	-	-	-	-	4,709			
1b	外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-	-			
1c	国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-	-			
		0%	10%	20%	50%	100%	150%	その他	合計		
2a	我が国の地方公共団体向け	896	-	-	-	-	-	-	896		
2b	外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
2c	地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
2d	我が国の政府関係機関向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
2e	地方三公社向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
		0%	20%	30%	50%	100%	150%	その他	合計		
3	国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-	-	-		
		20%	30%	40%	50%	75%	100%	150%	その他	合計	
4	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	6,950	79	-	-	-	-	170	-	7,200	
	うち、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		10%	15%	20%	25%	35%	50%	100%	その他	合計	
5	カバード・ボンド向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		20%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
6	法人等向け（特定貸付債権向けを含む。）	-	74	-	-	-	75,608	-	-	-	75,682
	うち、特定貸付債権向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		100%	150%	160%	400%	その他	合計				
7a	劣後債権及びその他資本性証券等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7b	株式等	-	-	-	231,263	-	-	-	-	231,263	
		45%	75%	100%	その他	合計					
8	中堅中小企業等向け及び個人向け	-	1,623	-	-	-	-	-	-	1,623	
		20%	25%	30%	40%	50%	70%	75%	その他	合計	
9a	不動産関連向け うち、自己居住用不動産等向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	31.25%	37.5%	50%	62.5%			その他	合計	
		-	-	-	-	-			-	-	
		30%	35%	45%	60%	75%	105%	150%	その他	合計	
9b	不動産関連向け うち、賃貸用不動産向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	43.75%	56.25%	75%	93.75%			その他	合計	
		-	-	-	-	-			-	-	
		70%	90%	110%	150%	その他	合計				
9c	不動産関連向け うち、事業用不動産関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	112.5%					その他	合計	-	
		-	-					-	-	-	
		60%	その他	合計							
9d	不動産関連向け うち、その他不動産関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	うち、抵当権が第二順位以下で適格要件をみたすもの	-	60%	その他	-	-	-	合計			
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		100%	150%	その他	合計						
9e	不動産関連向け うち、ADC向け	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		50%	100%	150%	その他	合計					
10a	延滞等（自己居住用不動産等向けエクスポージャーを除く。）	0	77	149	-	-	-	-	226	-	
10b	自己居住用不動産等向けエクスポージャーに係る延滞	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		0%	10%	20%	その他	合計					
11a	現金	0	-	-	-	-	-	-	0	-	
11b	取立未済手形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	信用保証協会等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第八面の二 CR5b：標準的手法 -リスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとCCF
2025年3月末

(単位：百万円)

CR5b:標準的手法—リスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとCCF

項番	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ
		オン・バランスシート のエクスポージャー の額	オフ・バランスシート のエクスポージャー の額	CCFの加重平均値	信用リスク・エク スポージャーの額 (CCF・信用リスク削 減手法適用後)
1	40%未満	10,049	4	10	10,049
2	40%-70%	76	0	10	76
3	75%	4,703	-	-	4,703
	80%	-	-	-	-
4	85%	-	-	-	-
5	90%-100%	72,733	33,175	10	76,146
6	105%-130%	-	-	-	-
7	150%	252	1,135	10	366
8	130%	185,674	-	-	185,674
9	400%	-	-	-	-
10	1250%	-	-	-	-
11	合計	273,489	34,316	10	277,016

2026年3月末

(単位：百万円)

CR5b:標準的手法—リスク・ウェイト区分別の信用リスク・エクスポージャーとCCF

項番	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ
		オン・バランスシート のエクスポージャー の額	オフ・バランスシート のエクスポージャー の額	CCFの加重平均値	信用リスク・エク スポージャーの額 (CCF・信用リスク削 減手法適用後)
1	40%未満	12,635	4	10	12,635
2	40%-70%	74	0	9	74
3	75%	1,623	-	-	1,623
	80%	-	-	-	-
4	85%	-	-	-	-
5	90%-100%	72,335	32,093	10	75,685
6	105%-130%	-	-	-	-
7	150%	204	1,156	9	320
8	160%	231,263	-	-	231,263
9	400%	-	-	-	-
10	1250%	-	-	-	-
11	合計	318,136	33,255	10	321,603

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第九面 CR6：内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー

2025年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法-ポートフォリオ及びデフォルト率（PD）区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ オン・バランス シート・ グロスエク スポージャー の額	ロ CCF・信用 リスク削減 手法適用前 のオフ・バ ランス・エ クスポー ジャーの 額	ハ 平均CCF	ニ CCF・信用 リスク削減 手法適用後 EAD	ホ 平均PD	ヘ 債務者 の数	ト 平均 LGD	チ 平均残存 期間	リ 信用リスク・ アセットの額	ヌ リスク・ウェ イトの加重 平均値 (RWA density)	ル EL	ラ 適格引当金
ソブリン向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	6,176,291	267,421	21.40	6,554,619	0.00	0.1	44.98	1.3	184,878	2.82	73	
2	0.15以上0.25未満	3,978	-	-	3,978	0.20	0.0	45.00	2.0	1,563	39.28	3	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	101	4,643	100.00	4,643	0.94	0.0	45.00	5.0	5,659	121.86	19	
6	2.50以上10.00未満	12	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	6,180,384	272,065	22.74	6,563,241	0.00	0.1	44.98	1.3	192,101	2.92	96	2,033
金融機関等向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	447,481	16,700	93.07	463,051	0.05	0.0	45.09	1.0	72,581	15.67	111	
2	0.15以上0.25未満	26,354	-	-	26,354	0.20	0.0	45.00	2.2	14,515	55.07	23	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	30	600	10.00	90	0.60	0.0	45.00	1.0	51	57.45	0	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	237	-	-	224	7.97	0.0	64.81	3.8	642	286.08	11	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	474,103	17,300	90.19	489,720	0.06	0.1	45.10	1.0	87,790	17.92	146	50
事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）													
1	0.00以上0.15未満	3,313,126	393,042	29.64	3,420,358	0.06	2.2	40.85	2.5	750,864	21.95	917	
2	0.15以上0.25未満	523,072	38,795	41.18	519,563	0.20	1.1	36.91	2.8	198,086	38.12	383	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	428,564	128,564	39.25	465,369	0.60	1.0	38.36	2.9	322,595	69.32	1,071	
5	0.75以上2.50未満	194,561	17,536	31.78	181,649	0.94	0.7	35.22	3.0	136,014	74.87	601	
6	2.50以上10.00未満	84,465	2,555	29.43	75,811	3.48	0.3	36.53	2.6	81,776	107.86	961	
7	10.00以上100.00未満	3,479	300	10.00	2,859	12.21	0.0	40.35	1.2	5,098	178.28	140	
8	100.00（デフォルト）	27,288	121	81.40	26,590	100.00	0.0	38.29	1.4	-	-	10,182	
9	小計	4,574,559	580,915	32.60	4,692,202	0.79	5.6	39.86	2.6	1,494,436	31.84	14,259	14,435
中堅中小企業向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	756,236	72,070	21.39	725,251	0.11	3.7	33.37	3.5	172,605	23.79	266	
2	0.15以上0.25未満	1,298,035	35,713	32.92	1,241,673	0.20	8.6	30.00	4.3	401,069	32.30	745	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	557,155	38,644	66.10	544,982	0.60	2.8	32.11	4.0	295,818	54.28	1,049	
5	0.75以上2.50未満	475,121	10,096	37.41	455,042	0.94	2.7	29.66	4.5	276,417	60.74	1,268	
6	2.50以上10.00未満	536,539	6,942	17.59	463,155	3.62	4.2	29.84	4.1	369,534	79.78	5,074	
7	10.00以上100.00未満	50,160	81	24.18	24,400	12.21	0.4	35.25	2.1	31,284	128.21	1,050	
8	100.00（デフォルト）	95,458	690	21.78	72,655	100.00	0.5	35.33	2.0	-	-	25,670	
9	小計	3,768,707	164,240	35.25	3,527,160	2.92	23.2	31.10	4.1	1,546,730	43.85	35,125	27,578
株式等エクスポージャー（PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。）													
1	0.00以上0.15未満	126,026	-	-	126,026	0.05	0.0	90.00	5.0	248,022	196.80	3	
2	0.15以上0.25未満	848	-	-	848	0.20	0.0	90.00	5.0	1,299	153.12	1	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	1,101	-	-	1,101	0.60	0.0	90.00	5.0	4,271	387.82	5	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	473	-	-	473	2.85	0.0	90.00	5.0	1,644	347.29	12	
7	10.00以上100.00未満	20	-	-	20	12.21	0.0	90.00	5.0	121	608.75	2	
8	100.00（デフォルト）	29	-	-	29	100.00	0.0	90.00	5.0	334	1,125.00	26	
9	小計	128,500	-	-	128,500	0.09	0.0	90.00	5.0	255,695	198.98	52	
購入債権（事業法人等向け）（デフォルト・リスク相当部分）													
1	0.00以上0.15未満	5,075	9,499	90.46	13,272	0.08	0.0	40.00	1.7	2,376	17.90	4	
2	0.15以上0.25未満	1,571	1,106	63.59	2,228	0.20	0.0	40.00	1.4	681	30.57	1	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	735	2,331	100.00	2,965	0.60	0.0	40.00	1.4	1,668	56.26	7	
5	0.75以上2.50未満	206	-	-	202	0.94	0.0	40.00	4.2	202	100.00	0	
6	2.50以上10.00未満	10	248	100.00	253	4.49	0.0	40.00	1.0	285	112.55	4	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00（デフォルト）	66	-	-	64	100.00	0.0	40.00	1.0	-	-	25	
9	小計	7,665	13,185	90.07	18,988	0.57	0.0	40.00	1.6	5,214	27.46	44	71

2025年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法ーポートフォリオ及びデフォルト率 (PD) 区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ オン・バランス シート・ グロスエク スポージャー の額	ロ CCF・信用 リスク削減 手法適用前の オフ・バランス シート・エク スポージャー の額	ハ 平均CCF	ニ CCF・信用 リスク削減 手法適用後 EAD	ホ 平均PD	ヘ 債務者 の数	ト 平均 LGD	チ 平均残存 期間	リ 信用リスク・ アセットの額	ヌ リスク・ウェイト の加重平均値 (RWA density)	ル EL	ヲ 適格引当金
購入債権（事業法人等向け）（希薄化リスク相当部分）													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	19,542	0.07	0.0	100.00	1.0	6,741	34.49	15	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	-	-	-	19,542	0.07	0.0	100.00	1.0	6,741	34.49	15	-
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	0.15以上0.25未満	1	148,797	37.91	53,507	0.15	157.7	72.25	-	3,256	6.08	58	
3	0.25以上0.50未満	12,357	350,866	14.71	63,971	0.32	655.2	67.63	-	6,746	10.54	138	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	7,901	7,413	24.46	9,501	1.14	29.8	71.94	-	2,897	30.49	78	
6	2.50以上10.00未満	64,533	25,706	58.71	79,231	4.20	163.6	73.50	-	62,585	78.99	2,445	
7	10.00以上100.00未満	1,183	411	40.33	1,347	27.22	4.2	73.91	-	2,687	199.34	271	
8	100.00（デフォルト）	1,032	3,539	25.59	1,936	100.00	17.8	72.73	-	343	17.75	1,381	
9	小計	87,010	536,734	23.47	209,495	2.87	1,028.7	71.31	-	78,516	37.47	4,373	1,049
居住用不動産向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	781,438	432	100.00	770,657	0.12	55.0	27.72	-	62,004	8.04	277	
2	0.15以上0.25未満	601,309	2,853	100.00	604,161	0.16	18.8	34.96	-	71,739	11.87	338	
3	0.25以上0.50未満	1,574,470	-	-	1,574,466	0.43	73.2	27.09	-	299,441	19.01	1,841	
4	0.50以上0.75未満	1,029,735	-	-	1,029,698	0.61	91.4	26.43	-	243,795	23.67	1,660	
5	0.75以上2.50未満	6,040	21	100.00	6,062	0.92	0.4	21.03	-	1,514	24.98	11	
6	2.50以上10.00未満	26,333	-	-	26,254	4.06	1.7	27.66	-	21,421	81.59	294	
7	10.00以上100.00未満	11,050	-	-	11,044	24.58	0.8	27.51	-	17,139	155.19	749	
8	100.00（デフォルト）	27,855	0	100.00	27,852	100.00	2.4	33.46	-	11,067	39.73	8,434	
9	小計	4,058,232	3,307	100.00	4,050,197	1.15	244.0	28.26	-	728,124	17.97	13,608	10,802
その他リテール向けエクスポージャー（消費性）													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	0.15以上0.25未満	87	2,367	100.00	2,455	0.17	1.8	79.65	-	711	28.95	3	
3	0.25以上0.50未満	145,981	24,428	10.03	147,296	0.44	88.8	52.29	-	52,039	35.32	346	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	14,407	-	-	14,406	1.47	11.6	58.90	-	9,485	65.84	131	
6	2.50以上10.00未満	1,342	154	10.00	1,345	4.64	0.2	36.87	-	727	54.06	23	
7	10.00以上100.00未満	953	18	10.00	954	18.24	0.7	42.65	-	857	89.78	73	
8	100.00（デフォルト）	1,930	411	12.12	1,978	100.00	0.8	50.92	-	398	20.14	975	
9	小計	164,703	27,380	17.84	168,437	1.83	104.2	53.06	-	64,219	38.12	1,554	581
その他リテール向けエクスポージャー（事業性）													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	83,971	2,207	13.89	83,415	0.73	6.5	27.35	-	20,060	24.04	166	
5	0.75以上2.50未満	193,836	7,626	9.49	188,285	1.41	18.4	24.11	-	51,170	27.17	638	
6	2.50以上10.00未満	21,215	246	8.41	20,959	7.09	1.7	17.11	-	5,470	26.10	239	
7	10.00以上100.00未満	17	-	-	17	23.30	0.0	45.42	-	19	107.38	1	
8	100.00（デフォルト）	10,882	84	8.84	10,846	100.00	0.8	24.35	-	4,592	42.34	2,274	
9	小計	309,923	10,164	10.41	303,524	5.14	27.6	24.52	-	81,314	26.79	3,321	3,238
合計（全てのポートフォリオ）		19,753,790	1,625,294	29.03	20,152,022	1.05	1,433.8	38.37	-	4,540,886	22.53	72,598	59,841

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法－ポートフォリオ及びデフォルト率 (PD) 区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ オン・バランス シート・ グロスエク スポージャー の額	ロ CCF・信用 リスク削減 手法適用前 のオフ・バ ランス・エ クスポー ジャーの 額	ハ 平均CCF	ニ CCF・信用 リスク削減 手法適用後 EAD	ホ 平均PD	ヘ 債務者 の数	ト 平均 LGD	チ 平均残存 期間	リ 信用リスク・ アセットの額	ヌ リスク・ウェ イトの加重 平均値 (RWA density)	ル EL	ラ 適格引当金
ソブリン向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	4,794,243	270,916	20.92	5,147,887	0.00	0.1	44.73	1.7	168,626	3.27	66	
2	0.15以上0.25未満	6,230	-	-	6,230	0.20	0.0	45.00	2.8	2,910	46.71	5	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	266	4,884	100.00	4,884	0.92	0.0	45.00	5.0	5,915	121.09	20	
6	2.50以上10.00未満	5	-	-	-	-	0.0	-	-	-	-	-	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	4,800,746	275,800	22.32	5,159,002	0.00	0.1	44.73	1.7	177,452	3.43	92	2,227
金融機関等向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	355,472	3,306	58.66	360,631	0.05	0.0	45.00	1.4	68,371	18.95	86	
2	0.15以上0.25未満	35,440	-	-	35,440	0.20	0.0	45.00	2.3	20,152	56.86	31	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	600	10.00	60	0.58	0.0	45.00	1.0	33	56.45	0	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	200	-	-	184	7.91	0.0	67.93	4.3	563	304.86	9	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	391,113	3,906	51.19	396,316	0.07	0.1	45.01	1.5	89,121	22.48	128	73
事業法人向けエクスポージャー (中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。)													
1	0.00以上0.15未満	3,597,316	392,408	30.30	3,706,965	0.06	2.3	40.84	2.5	802,760	21.65	973	
2	0.15以上0.25未満	575,050	42,896	36.79	574,124	0.20	1.3	36.72	2.8	213,327	37.15	421	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	526,202	147,264	39.50	570,276	0.58	1.1	37.99	2.9	383,789	67.29	1,256	
5	0.75以上2.50未満	234,004	23,065	28.98	214,726	0.92	0.7	35.51	3.2	165,451	77.05	701	
6	2.50以上10.00未満	86,495	1,552	28.35	79,393	3.70	0.4	36.09	2.9	88,772	111.81	1,074	
7	10.00以上100.00未満	7,082	2	50.00	6,368	12.64	0.0	38.50	1.4	10,862	170.56	309	
8	100.00 (デフォルト)	29,660	133	74.69	29,072	100.00	0.0	38.21	1.5	-	-	11,109	
9	小計	5,055,812	607,324	32.95	5,180,927	0.80	6.1	39.76	2.6	1,664,964	32.13	15,847	15,592
中堅中小企業向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	792,168	74,785	19.79	759,780	0.10	3.8	33.21	3.6	180,759	23.79	277	
2	0.15以上0.25未満	1,341,685	40,213	33.62	1,290,610	0.20	8.5	29.86	4.3	414,073	32.08	771	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	578,658	33,057	66.45	562,007	0.58	2.9	31.85	4.1	297,150	52.87	1,038	
5	0.75以上2.50未満	460,748	12,237	36.14	444,334	0.92	2.6	29.46	4.5	265,049	59.65	1,204	
6	2.50以上10.00未満	526,461	7,453	17.79	463,290	3.44	4.1	29.17	4.2	357,597	77.18	4,724	
7	10.00以上100.00未満	47,921	146	51.80	25,608	12.64	0.3	37.78	2.2	36,935	144.23	1,223	
8	100.00 (デフォルト)	96,033	858	21.44	73,049	100.00	0.5	35.24	1.8	-	-	25,742	
9	小計	3,843,677	168,753	33.36	3,618,680	2.84	23.1	30.90	4.1	1,551,565	42.87	34,982	29,013
株式等エクスポージャー (PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。)													
1	0.00以上0.15未満	135,902	-	-	135,902	0.05	0.0	90.00	5.0	271,804	200.00	-	
2	0.15以上0.25未満	174	-	-	174	0.20	0.0	90.00	5.0	360	206.70	0	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	3,459	-	-	3,459	0.58	0.0	90.00	5.0	11,481	331.92	18	
5	0.75以上2.50未満	199	-	-	199	0.92	0.0	90.00	5.0	849	425.67	2	
6	2.50以上10.00未満	357	-	-	357	2.76	0.0	90.00	5.0	1,231	344.41	8	
7	10.00以上100.00未満	20	-	-	20	12.64	0.0	90.00	5.0	122	614.74	2	
8	100.00 (デフォルト)	29	-	-	29	100.00	0.0	90.00	5.0	334	1,125.00	26	
9	小計	140,142	-	-	140,142	0.09	0.0	90.00	5.0	286,185	204.20	58	
購入債権 (事業法人等向け) (デフォルト・リスク相当部分)													
1	0.00以上0.15未満	9,312	11,436	97.05	19,833	0.09	0.0	40.00	1.5	3,649	18.39	7	
2	0.15以上0.25未満	2,307	90	40.00	2,295	0.20	0.0	40.00	1.0	624	27.19	1	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	901	1,619	100.00	2,442	0.58	0.0	40.00	1.5	1,382	56.60	5	
5	0.75以上2.50未満	16	-	-	16	0.92	0.0	40.00	4.8	16	106.07	0	
6	2.50以上10.00未満	23	465	100.00	478	4.39	0.0	40.00	1.0	536	112.04	8	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00 (デフォルト)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	12,561	13,611	97.12	25,066	0.23	0.0	40.00	1.4	6,209	24.77	23	3

2026年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CR6:内部格付手法—ポートフォリオ及びデフォルト率 (PD) 区分別の信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
		オン・バランス シート・ グロスエク スポージャー の額	CCF・信用 リスク削減 手法適用前の オフ・バランス シート・エク スポージャー の額	平均CCF	CCF・信用 リスク削減 手法適用後 EAD	平均PD	債務者 の数	平均 LGD	平均残存 期間	信用リスク・ アセットの額	リスク・ウェイト の加重平均値 (RWA density)	EL	適格引当金
購入債権（事業法人等向け）（希薄化リスク相当部分）													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	25,780	0.07	0.0	100.00	1.0	8,683	33.68	19	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	小計	-	-	-	25,780	0.07	0.0	100.00	1.0	8,683	33.68	19	-
適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	1	152,371	37.99	55,167	0.14	160.7	72.32	-	3,175	5.75	55	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	0.25以上0.50未満	13,279	358,240	15.00	67,046	0.31	635.5	68.43	-	7,165	10.68	147	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	9,430	8,508	29.55	11,748	1.15	33.1	75.33	-	3,794	32.30	103	
6	2.50以上10.00未満	67,053	25,261	58.62	81,459	4.38	168.9	73.08	-	65,672	80.61	2,611	
7	10.00以上100.00未満	1,218	448	38.31	1,389	30.66	4.3	74.22	-	2,833	203.94	317	
8	100.00（デフォルト）	1,035	940	28.98	1,305	100.00	12.3	79.95	-	270	20.72	1,022	
9	小計	92,019	545,771	23.71	218,116	2.62	1,015.0	71.63	-	82,911	38.01	4,257	1,104
居住用不動産向けエクスポージャー													
1	0.00以上0.15未満	790,468	670	100.00	780,687	0.12	54.3	27.43	-	62,155	7.96	278	
2	0.15以上0.25未満	723,470	3,622	100.00	727,092	0.16	21.0	35.25	-	87,040	11.97	410	
3	0.25以上0.50未満	1,590,237	-	-	1,590,235	0.42	70.1	26.67	-	293,642	18.46	1,795	
4	0.50以上0.75未満	1,121,480	-	-	1,121,445	0.59	98.2	25.68	-	252,146	22.48	1,699	
5	0.75以上2.50未満	8,926	17	100.00	8,944	0.99	0.5	21.35	-	2,379	26.60	18	
6	2.50以上10.00未満	28,184	-	-	28,122	3.97	1.8	26.78	-	21,942	78.02	299	
7	10.00以上100.00未満	11,510	-	-	11,505	23.70	0.8	26.60	-	17,203	149.52	725	
8	100.00（デフォルト）	24,838	0	100.00	24,834	100.00	2.1	33.61	-	10,174	40.97	7,534	
9	小計	4,299,118	4,311	100.00	4,292,865	1.03	249.1	28.03	-	746,685	17.39	12,761	10,564
その他リテール向けエクスポージャー（消費性）													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	0.15以上0.25未満	67	2,707	100.00	2,775	0.17	2.0	80.47	-	810	29.19	3	
3	0.25以上0.50未満	158,931	26,465	10.02	160,486	0.44	93.9	55.47	-	59,947	37.35	398	
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	0.75以上2.50未満	15,524	-	-	15,522	1.44	11.8	60.60	-	10,439	67.25	142	
6	2.50以上10.00未満	1,122	144	10.00	1,125	4.54	0.2	39.87	-	655	58.23	20	
7	10.00以上100.00未満	941	18	10.00	942	17.43	0.6	45.56	-	888	94.32	74	
8	100.00（デフォルト）	1,773	429	11.84	1,822	100.00	0.7	54.49	-	404	22.20	960	
9	小計	178,361	29,765	18.23	182,674	1.63	109.4	56.13	-	73,146	40.04	1,600	608
その他リテール向けエクスポージャー（事業性）													
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	0.50以上0.75未満	82,610	2,136	12.96	82,150	0.72	6.4	27.84	-	19,972	24.31	164	
5	0.75以上2.50未満	200,066	8,117	9.97	194,375	1.38	19.2	25.37	-	55,178	28.38	675	
6	2.50以上10.00未満	20,105	244	11.07	19,887	7.34	1.7	16.61	-	5,079	25.54	229	
7	10.00以上100.00未満	12	-	-	12	25.88	0.0	44.14	-	13	108.17	1	
8	100.00（デフォルト）	12,096	61	9.26	12,038	100.00	0.8	24.41	-	5,387	44.74	2,508	
9	小計	314,891	10,560	10.60	308,463	5.44	28.3	25.43	-	85,631	27.76	3,580	3,697
合計（全てのポートフォリオ）		19,128,445	1,659,803	28.52	19,522,972	1.10	1,431.6	37.68	-	4,772,558	24.44	73,352	62,884

※1.平均残存期間はリスク・アセットの計算において、マチュリティ（期間）が用いられるエクスポージャー区分のみ記載しています。

※2.ヘ欄について、PD推計に債権の数を用いている適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー、居住用不動産向けエクスポージャー、その他リテール向けエクスポージャー（消費性）は債権数を記載しており、それ以外のエクスポージャー区分は債務者数を記載しています。

※3.リース取引は債務者に対応するエクスポージャー区分に含めています。

※4.購入債権（事業法人等向け）（希薄化リスク相当部分）のポートフォリオについては、行の名称を下記の通り読み替えるものとします。

「PD 区分」⇒「EL dilution 区分」

二欄「CCF・信用リスク削減手法適用後EAD」⇒「CCF・信用リスク削減手法適用後のEAD dilution」

ホ欄「平均PD」⇒「平均EL dilution」

リ欄「信用リスク・アセットの額」⇒「希薄化リスク相当部分の信用リスク・アセットの額」

※5.特定貸付債権については、すべて「スロットティング・クライテリア方式」を適用しているため、記載していません。また、購入債権（リテール向け）は該当ありません。

第十面 CR7：内部格付手法-信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

2025年3月末

(単位：百万円)

CR7:内部格付手法－信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

項番	ポートフォリオ	イ	ロ
		クレジット・デリバティブ勘案前の信用リスク・アセットの額	実際の信用リスク・アセットの額
1	ソブリン向けエクスポージャー-FIRB	-	192,101
2	ソブリン向けエクスポージャー-AIRB	-	-
3	金融機関等向けエクスポージャー-FIRB	-	87,790
4	金融機関等向けエクスポージャー-AIRB	-	-
5	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-FIRB	-	3,041,167
6	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-AIRB	-	-
7	特定貸付債権-FIRB	-	313,415
8	特定貸付債権-AIRB	-	-
9	リテール-適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	-	78,516
10	リテール-居住用不動産向けエクスポージャー	-	728,124
11	リテール-その他リテール向けエクスポージャー	-	145,534
12	購入債権-FIRB	-	11,956
13	購入債権-AIRB	-	-
14	合計	-	4,598,606

2026年3月末

(単位：百万円)

CR7:内部格付手法－信用リスク削減手法として用いられるクレジット・デリバティブが信用リスク・アセットの額に与える影響

項番	ポートフォリオ	イ	ロ
		クレジット・デリバティブ勘案前の信用リスク・アセットの額	実際の信用リスク・アセットの額
1	ソブリン向けエクスポージャー-FIRB	-	177,452
2	ソブリン向けエクスポージャー-AIRB	-	-
3	金融機関等向けエクスポージャー-FIRB	-	89,121
4	金融機関等向けエクスポージャー-AIRB	-	-
5	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-FIRB	-	3,216,530
6	事業法人向けエクスポージャー（特定貸付債権を除く。）-AIRB	-	-
7	特定貸付債権-FIRB	-	367,713
8	特定貸付債権-AIRB	-	-
9	リテール-適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	-	82,911
10	リテール-居住用不動産向けエクスポージャー	-	746,685
11	リテール-その他リテール向けエクスポージャー	-	158,778
12	購入債権-FIRB	-	14,893
13	購入債権-AIRB	-	-
14	合計	-	4,854,086

※信用リスク削減手法として、クレジット・デリバティブは用いていません。

第十一面 CR8：内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

2025年3月末

(単位：百万円)

CR8:内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

項番		信用リスク・アセットの額
1	前期末時点における信用リスク・アセットの額	4,985,286
2	当期中の要因別の変動額	資産の規模
3		△121,795
4		ポートフォリオの質
5		△4,455
6		モデルの更新
7		-
8		手法及び方針
9		-
10		買収又は売却
11		-
12		為替の変動
13		△4,733
14		その他
15		-
16	当期末時点における信用リスク・アセットの額	4,854,301

2026年3月末

(単位：百万円)

CR8:内部格付手法を適用した信用リスク・エクスポージャーのリスク・アセット変動表

項番		信用リスク・アセットの額
1	前期末時点における信用リスク・アセットの額	4,854,301
2	当期中の要因別の変動額	資産の規模
3		257,611
4		ポートフォリオの質
5		△ 4,536
6		モデルの更新
7		-
8		手法及び方針
9		-
10		買収又は売却
11		-
12		為替の変動
13		32,895
14		その他
15		-
16	当期末時点における信用リスク・アセットの額	5,140,272

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第十二面 CR9：内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト
2025年3月末

(単位：％、件)

CR9:内部格付手法-ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
ポートフォリオ	PD区分	相当する外部格付					加重 平均PD (EAD 加重)	相加 平均PD	債務者の数		期中にデ フォルト した債務 者の数	うち、期中 にデフォルト した新た な債務者 の数	過去の 年平均デ フォルト率 (5年間)
		S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR			前期末	当期末			
ソブリン・ 金融機関等向け	0.00以上0.15未満	AAA ～BB+	Aaa ～Ba1		AAA ～BBB	AAA ～BBB+	0.00	0.03	243	259	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ～BB	Ba2 ～Ba2		BBB- ～BBB-	BBB ～BBB-	0.20	0.20	18	20	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.60	0.60	4	3	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB-～	Ba3～		BB+～	BB+～	0.94	0.94	2	2	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	7.97	5.41	3	2	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.00（デフォルト）	-	-		-	-	100.00	100.00	-	-			
事業法人向け (特定貸付債 権を除く。)	0.00以上0.15未満	AAA ～BB+	Aaa ～Ba1		AAA ～BBB	AAA ～BBB+	0.07	0.10	5,689	6,060	5	-	0.08
	0.15以上0.25未満	BB ～BB	Ba2 ～Ba2		BBB- ～BBB-	BBB ～BBB-	0.20	0.20	9,579	9,790	7	-	0.07
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.60	0.60	3,949	3,841	5	-	0.17
	0.75以上2.50未満	BB-～	Ba3～		BB+～	BB+～	0.94	0.94	3,419	3,454	10	-	0.25
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.60	3.67	4,822	4,638	86	-	1.63
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.21	12.21	566	467	94	-	12.46
	100.00（デフォルト）	-	-		-	-	100.00	100.00	595	614			
株式等エクス ポージャー (PD/LGD方式) ・購入債権 (事業法人等 向け)	0.00以上0.15未満	AAA ～BB+	Aaa ～Ba1		AAA ～BBB	AAA ～BBB+	0.05	0.06	214	57	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ～BB	Ba2 ～Ba2		BBB- ～BBB-	BBB ～BBB-	0.20	0.20	15	12	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.60	0.60	10	13	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB-～	Ba3～		BB+～	BB+～	0.94	-	2	-	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.42	3.46	12	8	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.21	12.21	2	3	-	-	-
	100.00（デフォルト）	-	-		-	-	100.00	100.00	2	2			
特定貸付債権	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
購入債権 (リテール向け)	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-

2025年3月末

(単位：％、件)

CR9:内部格付手法－ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
ポートフォリオ	PD区分	相当する外部格付					加重 平均PD (EAD 加重)	相加 平均PD	債務者の数		期中にデ フォルト した債務 者の数	うち、期中 にデフォルト した新たな 債務者の 数	過去の 年平均デ フォルト率 (5年間)
		S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR			前期末	当期末			
居住用 不動産向け	0.00以上0.15未満						0.12	0.12	56,775	55,046	38	2	0.06
	0.15以上0.25未満						0.16	0.16	19,809	18,897	34	2	0.16
	0.25以上0.50未満						0.43	0.41	74,857	73,271	124	-	0.18
	0.50以上0.75未満						0.61	0.61	85,861	91,469	185	-	0.37
	0.75以上2.50未満						0.92	0.94	160	415	3	-	1.24
	2.50以上10.00未満						4.06	4.06	1,770	1,735	35	-	1.51
	10.00以上100.00未満						24.58	25.23	832	816	114	-	16.39
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	2,425	2,410			
適格 リボルビング型 リテール向け	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	0.17
	0.15以上0.25未満						0.15	0.15	252,379	157,795	235	26	0.20
	0.25以上0.50未満						0.32	0.36	554,839	655,298	1,122	7	0.21
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.75以上2.50未満						1.14	1.11	32,301	29,829	166	2	0.90
	2.50以上10.00未満						4.20	4.17	153,410	163,626	3,021	340	3.13
	10.00以上100.00未満						27.22	27.42	4,061	4,282	755	-	29.61
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	18,237	19,089			
その他 リテール向け (消費性)	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	0.52
	0.15以上0.25未満						0.17	0.17	1,852	1,898	-	-	-
	0.25以上0.50未満						0.44	0.44	85,001	88,853	230	6	0.28
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	0.33
	0.75以上2.50未満						1.47	1.83	11,496	11,635	171	12	1.05
	2.50以上10.00未満						4.64	4.94	320	290	6	-	2.21
	10.00以上100.00未満						18.24	17.58	610	732	91	-	12.14
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	850	816			
その他 リテール向け (事業性)	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.25以上0.50未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満						0.73	0.73	-	6,583	30	-	0.46
	0.75以上2.50未満						1.41	1.19	23,633	18,428	173	4	0.60
	2.50以上10.00未満						7.09	6.63	1,601	1,796	210	1	6.01
	10.00以上100.00未満						23.30	23.30	-	12	8	-	28.71
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	679	827			

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：％、件)

CR9:内部格付手法－ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テスト

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
ポートフォリオ	PD区分	相当する外部格付					加重 平均PD (EAD 加重)	相加 平均PD	債務者の数		期中にデ フォルト した債務 者の数	うち、期中 にデフォルト した新たな 債務者の 数	過去の 年平均デ フォルト率 (5年間)
		S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR			前期末	当期末			
ソブリン・ 金融機関等向け	0.00以上0.15未満	AAA ～BB+	Aaa ～Ba1		AAA ～BBB	AAA ～BBB+	0.00	0.03	259	247	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ～BB	Ba2 ～Ba2		BBB- ～BBB-	BBB ～BBB-	0.20	0.20	20	23	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.58	0.58	3	2	-	-	-
	0.75以上2.50未満	BB- ～	Ba3- ～		BB+ ～	BB+ ～	0.92	0.92	2	2	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	7.91	5.33	2	2	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.00（デフォルト）	-	-		-	-	100.00	100.00	-	-	-	-	-
事業法人向け (特定貸付債 権を除く。)	0.00以上0.15未満	AAA ～BB+	Aaa ～Ba1		AAA ～BBB	AAA ～BBB+	0.07	0.10	6,060	6,167	2	-	0.06
	0.15以上0.25未満	BB ～BB	Ba2 ～Ba2		BBB- ～BBB-	BBB ～BBB-	0.20	0.20	9,790	9,920	13	-	0.09
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.58	0.58	3,841	4,129	12	-	0.16
	0.75以上2.50未満	BB- ～	Ba3- ～		BB+ ～	BB+ ～	0.92	0.92	3,454	3,428	6	-	0.25
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.48	3.57	4,638	4,560	90	1	1.80
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.64	12.64	467	419	74	-	14.86
	100.00（デフォルト）	-	-		-	-	100.00	100.00	614	640	-	-	-
株式等エク ス・ポージャー (PD/LGD方式) ・ 購入債権 (事業法人等 向け)	0.00以上0.15未満	AAA ～BB+	Aaa ～Ba1		AAA ～BBB	AAA ～BBB+	0.05	0.06	57	46	-	-	-
	0.15以上0.25未満	BB ～BB	Ba2 ～Ba2		BBB- ～BBB-	BBB ～BBB-	0.20	0.20	12	3	-	-	-
	0.25以上0.50未満	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満	-	-		-	-	0.58	0.58	13	15	1	-	1.05
	0.75以上2.50未満	BB- ～	Ba3- ～		BB+ ～	BB+ ～	0.92	0.92	-	2	-	-	-
	2.50以上10.00未満	-	-		-	-	3.70	3.98	8	7	-	-	-
	10.00以上100.00未満	-	-		-	-	12.64	12.64	3	3	-	-	-
	100.00（デフォルト）	-	-		-	-	100.00	100.00	2	2	-	-	-
特定貸付債権	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-
購入債権 (リアル向け)	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-

2026年3月末

(単位：％、件)

CR9:内部格付手法－ポートフォリオ別のデフォルト率（PD）のバック・テストニング

イ	ロ	ハ					ニ	ホ	ヘ		ト	チ	リ
ポートフォリオ	PD区分	相当する外部格付					加重平均PD (EAD加重)	相加重平均PD	債務者の数		期中にデフォルトした債務者の数	うち、期中にデフォルトした新たな債務者の数	過去の年平均デフォルト率(5年間)
		S&P	Moody's	Fitch	R&I	JCR			前期末	当期末			
居住用不動産向け	0.00以上0.15未満						0.12	0.12	55,046	54,349	48	1	0.07
	0.15以上0.25未満						0.16	0.16	18,897	21,041	26	2	0.15
	0.25以上0.50未満						0.42	0.40	73,271	70,126	140	-	0.18
	0.50以上0.75未満						0.59	0.59	91,469	98,205	161	-	0.12
	0.75以上2.50未満						0.99	1.00	415	579	-	-	0.37
	2.50以上10.00未満						3.97	3.97	1,735	1,884	27	-	1.57
	10.00以上100.00未満						23.70	24.60	816	856	106	-	15.52
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	2,410	2,129			
適格リボルビング型 リテール向け	0.00以上0.15未満						0.14	0.14	-	160,740	271	30	0.17
	0.15以上0.25未満						-	-	157,795	-	-	-	0.22
	0.25以上0.50未満						0.31	0.36	655,298	635,525	1,205	5	0.21
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.75以上2.50未満						1.15	1.11	29,829	33,148	161	-	0.94
	2.50以上10.00未満						4.38	4.35	163,626	168,907	3,018	268	3.32
	10.00以上100.00未満						30.66	30.86	4,282	4,346	761	-	30.41
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	19,089	13,570			
その他 リテール向け (消費性)	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	0.79
	0.15以上0.25未満						0.17	0.17	1,898	2,015	-	-	-
	0.25以上0.50未満						0.44	0.44	88,853	93,905	239	8	0.28
	0.50以上0.75未満						-	-	-	-	-	-	0.31
	0.75以上2.50未満						1.44	1.79	11,635	11,854	152	18	1.23
	2.50以上10.00未満						4.54	4.81	290	281	8	-	2.49
	10.00以上100.00未満						17.43	17.06	732	637	91	-	12.41
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	816	799			
その他 リテール向け (事業性)	0.00以上0.15未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.25以上0.50未満						-	-	-	-	-	-	-
	0.50以上0.75未満						0.72	0.72	6,583	6,435	30	-	0.47
	0.75以上2.50未満						1.38	1.17	18,428	19,280	169	1	0.72
	2.50以上10.00未満						7.34	6.85	1,796	1,700	260	-	8.18
	10.00以上100.00未満						25.88	25.88	12	11	1	-	25.77
	100.00（デフォルト）						100.00	100.00	827	899			

※1.ソブリン向けエクスポージャーと金融機関等向けエクスポージャー、株式等エクスポージャー（PD/LGD方式が適用されるエクスポージャーに限る。）と購入債権（事業法人等向け）については、対象先が少ないため、ポートフォリオを統合して開示しています。

※2.「PD区分」は、様式間における開示情報把握の容易性を重視したため、CR6と同一のPD区分を設定しています。

※3.ヘーチ欄について、PD推計に債権の数を用いている居住用不動産向けエクスポージャー、適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー、その他リテール向けエクスポージャー（消費性）は債権数を記載しており、それ以外のエクスポージャー区分は債務者数を記載しています。

※4.内部モデルの適用範囲がどのように決定されたかは、「定性的な開示事項 信用リスクに関する事項 内部格付手法に関する事項」に開示しています。

※5.ポートフォリオ別に各内部モデルが対象とする信用リスク・アセットの額の割合は次のとおりです。

2025年3月末

ソブリン・金融機関等向け	6%
事業法人向け（特定貸付債権を除く。）	67%
株式等エクスポージャー（PD/LGD方式）・購入債権（事業法人等向け）	6%
居住用不動産向け	16%
適格リボルビング型リテール向け	2%
その他リテール向け（消費性）	1%
その他リテール向け（事業性）	2%

2026年3月末

ソブリン・金融機関等向け	6%
事業法人向け（特定貸付債権を除く。）	67%
株式等エクスポージャー（PD/LGD方式）・購入債権（事業法人等向け）	6%
居住用不動産向け	16%
適格リボルビング型リテール向け	2%
その他リテール向け（消費性）	2%
その他リテール向け（事業性）	2%

第十三面 CR10：内部格付手法-特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

2025年3月末

（単位：百万円、％）

CR10：内部格付手法－特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）以外

規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポージャーの額（EAD）					信用リスク・ アセットの額	期待損失
					PF	OF	CF	IPRE	合計		
優（Strong）	2.5年未満	33,795	25,992	50%	23,240	-	-	20,952	44,192	22,096	-
	2.5年以上	295,634	12,789	70%	143,553	2,083	-	146,392	292,030	204,421	1,168
良（Good）	2.5年未満	8,706	5,938	70%	5,943	-	-	5,138	11,081	7,757	44
	2.5年以上	61,214	5,833	90%	26,914	1,301	-	35,332	63,548	57,193	508
可（Satisfactory）		6,500	-	115%	-	2,178	-	3,321	5,499	6,324	153
弱い（Weak）		9,129	-	250%	5,913	-	-	-	5,913	14,782	473
デフォルト（Default）		4,667	880	-	5,019	-	-	-	5,019	-	2,509
合計		419,648	51,434	-	210,584	5,563	-	211,137	427,285	312,575	4,857

ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）

規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト		エクスポ ージャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
優（Strong）	2.5年未満	-	-	70%		-	-	-
	2.5年以上	-	-	95%		-	-	-
良（Good）	2.5年未満	-	-	95%		-	-	-
	2.5年以上	-	-	120%		-	-	-
可（Satisfactory）		-	1,500	140%		600	840	16
弱い（Weak）		-	-	250%		-	-	-
デフォルト（Default）		-	-	-		-	-	-
合計		-	1,500	-		600	840	16

2026年3月末

(単位：百万円、%)

CR10：内部格付手法－特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）

ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）以外

規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト	エクスポージャーの額（EAD）					信用リスク・ アセットの額	期待損失
					PF	OF	CF	IPRE	合計		
優（Strong）	2.5年未満	67,077	21,186	50%	12,877	1,787	-	60,887	75,551	37,775	-
	2.5年以上	300,344	12,230	70%	147,013	1,537	-	149,198	297,749	208,424	1,190
良（Good）	2.5年未満	8,786	8,367	70%	1,600	840	-	9,621	12,061	8,442	48
	2.5年以上	73,718	14,890	90%	42,363	461	-	36,848	79,674	71,706	637
可（Satisfactory）		12,654	2,346	115%	3,089	5,346	-	4,231	12,667	14,567	354
弱い（Weak）		12,692	-	250%	5,219	-	-	5,011	10,231	25,577	818
デフォルト（Default）		4,322	1,225	-	4,812	-	-	-	4,812	-	2,406
合計		479,596	60,246	-	216,975	9,973	-	265,798	492,748	366,495	5,456

ボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け（HVCRE）

規制上の区分	残存期間	オン・バランス シートの額	オフ・バランス シートの額	リスク・ ウェイト		エクスポ ージャーの額 （EAD）	信用リスク・ アセットの額	期待損失
優（Strong）	2.5年未満	-	-	70%		-	-	-
	2.5年以上	-	-	95%		-	-	-
良（Good）	2.5年未満	-	-	95%		-	-	-
	2.5年以上	-	-	120%		-	-	-
可（Satisfactory）		449	1,051	140%		869	1,217	24
弱い（Weak）		-	-	250%		-	-	-
デフォルト（Default）		-	-	-		-	-	-
合計		449	1,051	-		869	1,217	24

※1.「スロットティング・クライテリア」とは特定貸付債権について自己資本比率告示第153条第4項及び第6項に基づき優・良・可・弱い・デフォルトの5段階に区分されたリスク・ウェイトの基準です。

※2.「PF」は「プロジェクト・ファイナンス」、「OF」は「オブジェクト・ファイナンス」、「CF」は「コモディティ・ファイナンス」、「IPRE」は「事業用不動産向け貸付け」です。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第十四面 CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

2025年3月末

(単位：百万円)

CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		RC	PFE	実効EPE	規制上のエクスポージャーの算定に使用される α	信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額
1	SA-CCR	16,550	19,689		1.4	50,366	21,052
2	期待エクスポージャー方式			-	-	-	-
3	信用リスク削減手法における簡便手法					-	-
4	信用リスク削減手法における包括的手法					13,936	4,260
5	エクスポージャー変動推計モデル					-	-
6	合計						25,312

2026年3月末

(単位：百万円)

CCR1：手法別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー額

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		RC	PFE	実効EPE	規制上のエクスポージャーの算定に使用される α	信用リスク削減手法適用後のエクスポージャー	リスク・アセットの額
1	SA-CCR	19,517	18,561		1.4	53,126	18,982
2	期待エクスポージャー方式			-	-	-	-
3	信用リスク削減手法における簡便手法					-	-
4	信用リスク削減手法における包括的手法					8,439	4,603
5	エクスポージャー変動推計モデル					-	-
6	合計						23,586

第十五面 CVA1：限定的なBA-CVA

2025年3月末

(単位：百万円)

CVA1：限定的なBA-CVA

項番		イ	ロ
		構成要素の額	BA-CVAによるCVAリスク相当額
1	CVAリスクのうち取引先共通の要素	16,401	
2	CVAリスクのうち取引先固有の要素	2,157	
3	合計		5,467

2026年3月末

(単位：百万円)

CVA1：限定的なBA-CVA

項番		イ	ロ
		構成要素の額	BA-CVAによるCVAリスク相当額
1	CVAリスクのうち取引先共通の要素	17,494	
2	CVAリスクのうち取引先固有の要素	2,690	
3	合計		5,884

第十六面 CCR3：業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー
2025年3月末

(単位：百万円)

CCR3:業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	業種	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ
			与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）													
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
1	日本国政府及び日本銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	外国の中央政府及び中央銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	国際決済銀行等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	我が国の地方公共団体向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	国際開発銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	地方公共団体金融機構向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	我が国の政府関係機関向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	地方三公社向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	法人等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,884	-	-	-	2,884
12	中小企業等向け及び個人向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	上記以外		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,884	-	-	-	2,884

2026年3月末

(単位：百万円)

CCR3:業種別及びリスク・ウェイト別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	業種	リスク・ウェイト	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ
			与信相当額（信用リスク削減効果勘案後）													
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	75%	80%	85%	100%	130%	150%	その他	合計
1	日本国政府及び日本銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	外国の中央政府及び中央銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	国際決済銀行等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	我が国の地方公共団体向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	外国の中央政府等以外の公共部門向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	国際開発銀行向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	地方公共団体金融機構向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	我が国の政府関係機関向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	地方三公社向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	金融機関、第一種金融商品取引業者及び保険会社向け		-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
11	法人等向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,212	-	-	-	4,212
12	中小企業等向け及び個人向け		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	上記以外		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	合計		-	-	0	-	-	-	-	-	-	4,212	-	-	-	4,212

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第十七面 CCR4：内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー
2025年3月末 (単位：百万円、%、千件、年)

CCR4:内部格付手法-ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
	PD区分	EAD（信用 リスク削減 効果勘案後）	平均PD	取引相手方 の数	平均LGD	平均残存 期間	信用リスク ・アセット	リスク・ ウェイトの 加重平均値 (RWA density)
ソブリン向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	-	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	33,453	0.05	0.0	45.00	0.8	4,893	14.62
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	33,453	0.05	0.0	45.00	0.8	4,893	14.62
事業法人向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	1,995	0.08	0.0	40.00	0.9	298	14.97
2	0.15以上0.25未満	194	0.20	0.0	40.00	1.0	51	26.68
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	127	0.60	0.0	40.14	1.0	66	51.77
5	0.75以上2.50未満	11,687	0.94	0.0	40.00	1.0	7,408	63.38
6	2.50以上10.00未満	280	7.47	0.0	40.00	1.0	385	137.57
7	10.00以上100.00未満	0	12.21	0.0	40.00	1.0	0	169.23
8	100.00（デフォルト）	1	100.00	0.0	40.00	1.0	-	-
9	小計	14,287	0.94	0.2	40.00	0.9	8,211	57.47
中堅中小企業向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	737	0.11	0.1	40.00	1.0	108	14.77
2	0.15以上0.25未満	633	0.20	0.1	40.00	1.0	147	23.23
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	421	0.60	0.0	40.00	1.0	194	46.07
5	0.75以上2.50未満	96	0.94	0.0	40.00	1.0	50	52.83
6	2.50以上10.00未満	136	3.63	0.0	40.00	1.0	113	83.61
7	10.00以上100.00未満	4	12.21	0.0	40.00	1.0	6	136.03
8	100.00（デフォルト）	25	100.00	0.0	40.00	1.0	-	-
9	小計	2,055	1.78	0.3	40.00	1.0	621	30.25
その他リテール向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	-	-	-	-
合計（全てのポートフォリオ）		49,796	0.38	0.6	43.35	-	13,726	27.56

2026年3月末

(単位：百万円、%、千件、年)

CCR4:内部格付手法－ポートフォリオ別及びPD区分別のカウンターパーティ信用リスク・エクスポージャー

項番	PD区分	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト
		EAD（信用 リスク削減 効果勘案後）	平均PD	取引相手方 の数	平均LGD	平均残存 期間	信用リスク ・アセット	リスク・ ウェイトの 加重平均値 (RWA density)
ソブリン向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	-	-	-	-
金融機関等向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	34,425	0.05	0.0	45.00	0.9	5,164	15.00
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	34,425	0.05	0.0	45.00	0.9	5,164	15.00
事業法人向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	1,203	0.07	0.0	41.76	0.6	153	12.76
2	0.15以上0.25未満	132	0.20	0.0	40.00	1.0	35	26.68
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	78	0.58	0.0	40.08	1.0	39	50.56
5	0.75以上2.50未満	15,814	0.92	0.0	40.00	1.0	9,928	62.77
6	2.50以上10.00未満	23	3.04	0.0	40.00	1.0	22	97.63
7	10.00以上100.00未満	1	12.64	0.0	40.00	1.0	3	171.47
8	100.00（デフォルト）	69	100.00	0.0	40.00	1.0	-	-
9	小計	17,323	1.25	0.1	40.12	0.9	10,182	58.78
中堅中小企業向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	324	0.11	0.0	40.00	1.0	49	15.39
2	0.15以上0.25未満	202	0.20	0.0	40.00	1.0	48	23.81
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	63	0.58	0.0	40.00	1.0	27	43.86
5	0.75以上2.50未満	60	0.92	0.0	40.00	1.0	31	52.43
6	2.50以上10.00未満	58	3.74	0.0	40.00	1.0	49	84.49
7	10.00以上100.00未満	8	12.64	0.0	40.00	1.0	12	139.06
8	100.00（デフォルト）	5	100.00	0.0	40.00	1.0	-	-
9	小計	724	1.47	0.3	40.00	1.0	219	30.29
その他リテール向けエクスポージャー								
1	0.00以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-
2	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
3	0.25以上0.50未満	-	-	-	-	-	-	-
4	0.50以上0.75未満	-	-	-	-	-	-	-
5	0.75以上2.50未満	-	-	-	-	-	-	-
6	2.50以上10.00未満	-	-	-	-	-	-	-
7	10.00以上100.00未満	-	-	-	-	-	-	-
8	100.00（デフォルト）	-	-	-	-	-	-	-
9	小計	-	-	-	-	-	-	-
合計（全てのポートフォリオ）		52,473	0.47	0.5	43.32	-	15,566	29.66

※1.平均残存期間はリスク・アセットの計算において、マチュリティ（期間）が用いられる区分のみ記載しています。

※2.上記以外に特定貸付債権（スロットティング・クライテリア方式）のカウンターパーティ信用リスクとして、2025年3月末EAD11,621百万円、信用リスク・アセット8,702百万円、2026年3月末EAD4,879百万円、信用リスク・アセット3,807百万円を計上しています。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第十八面 CCR5：担保の内訳

2025年3月末

(単位：百万円)

CCR5:担保の内訳

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理 されている	分別管理 されていない	分別管理 されている	分別管理 されていない		
1	現金（国内通貨）	-	59,122	-	16,155	-	1,379
2	現金（外国通貨）	-	-	-	-	262,449	-
3	国内ソブリン債	-	-	-	-	1,380	35,365
4	その他ソブリン債	-	-	-	-	-	223,418
5	政府関係機関債	-	-	-	-	-	4,634
6	社債	-	-	-	-	-	9,919
7	株式	-	-	-	-	-	-
8	その他担保	-	-	-	-	-	-
9	合計	-	59,122	-	16,155	263,830	274,717

2026年3月末

(単位：百万円)

CCR5:担保の内訳

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
		派生商品取引で使用される担保				レポ形式の取引で使用される担保	
		受入担保の公正価値		差入担保の公正価値		受入担保の公正価値	差入担保の公正価値
		分別管理 されている	分別管理 されていない	分別管理 されている	分別管理 されていない		
1	現金（国内通貨）	-	64,938	-	39,749	-	3,782
2	現金（外国通貨）	-	-	-	6,178	252,935	-
3	国内ソブリン債	-	-	-	-	3,738	31,751
4	その他ソブリン債	-	-	-	-	-	211,841
5	政府関係機関債	-	-	-	-	-	-
6	社債	-	-	-	-	-	8,561
7	株式	-	-	-	-	-	-
8	その他担保	-	-	-	-	-	-
9	合計	-	64,938	-	45,928	256,674	255,936

※中央清算機関に差入れた担保については含まれていません。(CCR8に記載しています。)

第十九面 CCR6：クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー
2025年3月末

(単位：百万円)

CCR6:クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー

項番		イ	ロ
		購入したプロテクション	提供したプロテクション
	想定元本		
1	シングルネーム・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
2	インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
3	トータル・リターン・スワップ	-	-
4	クレジットオプション	-	-
5	その他のクレジット・デリバティブ	-	-
6	想定元本合計	-	-
	公正価値		
7	プラスの公正価値（資産）	-	-
8	マイナスの公正価値（負債）	-	-

2026年3月末

(単位：百万円)

CCR6:クレジット・デリバティブ取引のエクスポージャー

項番		イ	ロ
		購入したプロテクション	提供したプロテクション
	想定元本		
1	シングルネーム・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
2	インデックス・クレジット・デフォルト・スワップ	-	-
3	トータル・リターン・スワップ	-	-
4	クレジットオプション	-	-
5	その他のクレジット・デリバティブ	-	-
6	想定元本合計	-	-
	公正価値		
7	プラスの公正価値（資産）	-	-
8	マイナスの公正価値（負債）	-	-

※クレジット・デリバティブ取引は行っていません。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第二十一面 CCR8：中央清算機関向けエクスポージャー

2025年3月末

(単位：百万円)

CCR8:中央清算機関向けエクスポージャー

項番		イ	ロ
		中央清算機関向けエクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		1,898
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー（当初証拠金を除く。）	62,377	1,247
3	（i）派生商品取引（上場以外）	62,355	1,247
4	（ii）派生商品取引（上場）	22	0
5	（iii）レポ形式の取引	-	-
6	（iv）クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
7	分別管理されている当初証拠金	-	
8	分別管理されていない当初証拠金	22,820	638
9	事前拠出された清算基金	1,673	12
10	未拠出の清算基金	-	-
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		-
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー（当初証拠金を除く。）	-	-
13	（i）派生商品取引（上場以外）	-	-
14	（ii）派生商品取引（上場）	-	-
15	（iii）レポ形式の取引	-	-
16	（iv）クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
17	分別管理されている当初証拠金	-	
18	分別管理されていない当初証拠金	-	-
19	事前拠出された清算基金	-	-
20	未拠出の清算基金	-	-

2026年3月末

(単位：百万円)

CCR8:中央清算機関向けエクスポージャー

項番		イ	ロ
		中央清算機関向けエクスポージャー (信用リスク削減手法適用後)	リスク・アセットの額
1	適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		2,047
2	適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー（当初証拠金を除く。）	119,835	2,396
3	（i）派生商品取引（上場以外）	119,788	2,395
4	（ii）派生商品取引（上場）	46	0
5	（iii）レポ形式の取引	-	-
6	（iv）クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
7	分別管理されている当初証拠金	-	
8	分別管理されていない当初証拠金	△12,980	△363
9	事前拠出された清算基金	1,685	14
10	未拠出の清算基金	-	-
11	非適格中央清算機関へのエクスポージャー（合計）		-
12	非適格中央清算機関に対するトレード・エクスポージャー（当初証拠金を除く。）	-	-
13	（i）派生商品取引（上場以外）	-	-
14	（ii）派生商品取引（上場）	-	-
15	（iii）レポ形式の取引	-	-
16	（iv）クロスプロダクト・ネットtingが承認された場合のネットting・セット	-	-
17	分別管理されている当初証拠金	-	
18	分別管理されていない当初証拠金	-	-
19	事前拠出された清算基金	-	-
20	未拠出の清算基金	-	-

第二十二面 SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

2025年3月末

（単位：百万円）

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2026年3月末

（単位：百万円）

SEC1：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第二十三面 SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

2025年3月末

（単位：百万円）

SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2026年3月末

（単位：百万円）

SEC2：原資産の種類別の証券化エクスポージャー（マーケット・リスク相当額の算出対象となっている証券化エクスポージャーに限る。）

項番	原資産の種類	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ
		自金融機関がオリジネーター			自金融機関がスポンサー			自金融機関が投資家		
		資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計	資産譲渡型証券化取引	合成型証券化取引	小計
1	リテール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	担保付住宅ローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	クレジットカード債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	その他リテールに係るエクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ホールセール（合計）	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	事業法人向けローン	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	商業用モーゲージ担保証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	リース債権及び売掛債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	その他のホールセール	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	再証券化	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

第二十四面 SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本
(自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合)

2025年3月末

(単位：百万円)

SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本 (自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合)

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産譲渡型証券化取引 (小計)	証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア	合成型証券化取引 (小計)	証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エクスポージャーの額（算出方法別）																
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所要自己資本の額（算出方法別）																
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円)

SEC3：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関がオリジネーター又はスポンサーである場合）

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産譲渡型証券化取引（小計）	証券化裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア	合成型証券化取引（小計）	証券化裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア		
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エクスポージャーの額（算出方法別）																
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所要自己資本の額（算出方法別）																
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

第二十五面 SEC4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本
(自金融機関が投資家である場合)

2025年3月末

(単位：百万円)

SEC4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本 (自金融機関が投資家である場合)

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ	
		合計	資産譲渡型証券化取引（小計）	証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア	合成型証券化取引（小計）	証券化	裏付けとなるリテール	ホールセール	再証券化	シニア	非シニア	
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																	
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
エクスポージャーの額（算出方法別）																	
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																	
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
所要自己資本の額（算出方法別）																	
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円)

SEC4：信用リスク・アセットの額の算出対象となる証券化エクスポージャー及び関連する所要自己資本（自金融機関が投資家である場合）

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル	ヲ	ワ	カ	ヨ
		合計	資産譲渡型証券化取引（小計）	証券化 裏付けとなるリテール	ホールセル	再証券化	シニア	非シニア	合成型証券化取引（小計）	証券化 裏付けとなるリテール	ホールセル	再証券化	シニア	非シニア		
エクスポージャーの額（リスク・ウェイト区分別）																
1	20%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	20%超50%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	50%超100%以下のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	100%超1250%未満のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
エクスポージャーの額（算出方法別）																
6	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
信用リスク・アセットの額（算出方法別）																
10	内部格付手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	外部格付準拠方式又は内部評価方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	標準的手法準拠方式により算出した信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る信用リスク・アセット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所要自己資本の額（算出方法別）																
14	内部格付手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	外部格付準拠方式又は内部評価方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	標準的手法準拠方式が適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	1250%のリスク・ウェイトが適用される証券化エクスポージャーに係る所要自己資本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※証券化取引はありません。

第二十九面 MR3：簡易的方式によるマーケット・リスク相当額

2025年3月末

(単位：百万円)

MR3:簡易的方式によるマーケット・リスク相当額

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		オプション取引 以外の取引	オプション取引		
			簡便法により算出 した額	デルタ・プラス法 により算出した額	シナリオ法により 算出した額
1	金利リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	-	-	-	-
2	株式リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	-	-	-	-
3	コモディティ・リスクの額	244	-	-	-
4	外国為替リスクの額	6,048	-	-	-
5	証券化エクスポージャーに係る個別リスクの額	-			
6	合計	6,293	-	-	-

2026年3月末

(単位：百万円)

MR3:簡易的方式によるマーケット・リスク相当額

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		オプション取引 以外の取引	オプション取引		
			簡便法により算出 した額	デルタ・プラス法 により算出した額	シナリオ法により 算出した額
1	金利リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	-	-	-	-
2	株式リスク（一般市場リスク及び個別リスク）の額	-	-	-	-
3	コモディティ・リスクの額	235	-	-	-
4	外国為替リスクの額	6,745	-	-	-
5	証券化エクスポージャーに係る個別リスクの額	-			
6	合計	6,980	-	-	-

第三十面 IRRBB1：金利リスク

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		ΔEVE		ΔNII	
		2026年3月末	2025年3月末	2026年3月末	2025年3月末
1	上方パラレルシフト	52,457	45,704	4,625	2,971
2	下方パラレルシフト	30,895	18,362	51,082	47,388
3	スティープ化	53,439	46,918		
4	フラット化	148	95		
5	短期金利上昇	13,849	10,631		
6	短期金利低下	30,696	29,863		
7	最大値	53,439	46,918	51,082	47,388
		ホ		ヘ	
		2026年3月末		2025年3月末	
8	Tier1 資本の額	1,084,835		991,077	

※1.当行連結における金利リスクは、重要性の観点より単体の金利リスクと等しいものと見なしており、ΔEVE、ΔNII及びTier1は単体の額としています。

※2.ΔEVEは経済的価値の減少をプラス、ΔNIIは期間収益の減少をプラスで表しています。

※3.ΔEVE及びΔNIIにおける複数の通貨の集計は、異なる通貨間の相関を考慮せず、通貨別に算出した金利リスクの正値（経済的価値や期間収益の減少額）を単純合算しています。

※4.ΔEVEの算出における流動性預金への満期の割当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

第三十一面 CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

2025年3月末

(単位：百万円、%)

CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・バッファー比率の計算に用いた当該国又は地域に係る信用リスク・アセットの額の合計額とデフォルト・リスクに対するマーケットリスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額とを合算した額	カウンター・シクリカル・バッファー比率	カウンター・シクリカル・バッファーの額
オーストラリア	1.00	13,558		
ベルギー	1.00	3,774		
フランス	1.00	20,725		
ドイツ	0.75	17,765		
香港	0.50	7,302		
韓国	1.00	3,977		
ルクセンブルク	0.50	1,910		
オランダ	2.00	11,900		
ロシア	0.25	-		
スウェーデン	2.00	5,503		
英国	2.00	86,546		
小計		172,965		
合計		6,399,581	0.04	2,859

2026年3月末

(単位：百万円、%)

CCyB1：カウンター・シクリカル・バッファー比率に係る国又は地域別の状況

	イ	ロ	ハ	ニ
国又は地域	各金融当局が定める比率	カウンター・シクリカル・バッファー比率の計算に用いた当該国又は地域に係る信用リスク・アセットの額の合計額とデフォルト・リスクに対するマーケットリスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額とを合算した額	カウンター・シクリカル・バッファー比率	カウンター・シクリカル・バッファーの額
オーストラリア	1.00	14,716		
ベルギー	1.00	5,911		
フランス	1.00	25,676		
ドイツ	0.75	12,315		
香港	0.50	7,490		
韓国	1.00	12,210		
ルクセンブルク	0.50	4,435		
オランダ	2.00	15,232		
ロシア	0.50	-		
南アフリカ	1.00	-		
スペイン	0.50	4,075		
スウェーデン	2.00	4,836		
英国	2.00	84,220		
小計		191,121		
合計		6,996,873	0.04	3,112

※1.原則として、最終リスクベースで信用リスク・アセット額を算出しています。なお、信用リスク・アセットのみなし計算が適用される資産等、複数の資産が裏付資産となるものは、裏付資産の最終リスクベースでの信用リスク・アセット額に応じて投分して計上しています。

※2.信用リスク・アセットのみなし計算が適用される資産のうち、ルック・スルー方式が適用できない部分等、最終リスク帰属先が不明である資産については、記帳国（日本もしくは米国）で集計しています。

※3.信用リスク・アセットの額の主な変動要因は、信用リスク・アセットのみなし計算が適用される裏付資産の構成比の変動及び、各金融当局が定める比率が零を超えた国又は地域の変更によるものです。

※4.デフォルト・リスクに対するマーケットリスク相当額は該当ありません。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第三十三面 OR1：オペレーショナル・リスク損失の推移

2025年3月末

(単位：百万円、件)

OR1:オペレーショナル・リスク損失の推移

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		当期末	前期末	前々期末	ハの前期末	ニの前期末	ホの前期末	ヘの前期末	トの前期末	チの前期末	リの前期末	直近十年間の平均
二百万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	691	344	16	30	88	-					195
2	損失の件数	11	6	4	1	4	-					4
3	特殊損失の総額	-	-	-	-	-	-					-
4	特殊損失の件数	-	-	-	-	-	-					-
5	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	691	344	16	30	88	-					195
千万円を超える損失を集計したもの												
6	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	666	318	-	30	75	-					181
7	損失の件数	6	1	-	1	2	-					1
8	特殊損失の総額	-	-	-	-	-	-					-
9	特殊損失の件数	-	-	-	-	-	-					-
10	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	666	318	-	30	75	-					181
オペレーショナル・リスク相当額の計測に関する事項												
11	ILMの算出への内部損失 データ利用の有無	有	有	有	有	有	有					-
12	項番11で内部損失デー タを利用していない場合 は、内部損失データの承 認基準充足の有無	-	-	-	-	-	-					-

2026年3月末

(単位：百万円、件)

OR1:オペレーショナル・リスク損失の推移

項番		イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	チ	リ	ヌ	ル
		当期末	前期末	前々期末	ハの前期末	ニの前期末	ホの前期末	ヘの前期末	トの前期末	チの前期末	リの前期末	直近十年間の平均
二百万円を超える損失を集計したもの												
1	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	1,182	24	22	16	30	88	-				194
2	損失の件数	23	3	4	4	1	4	-				5
3	特殊損失の総額	-	-	-	-	-	-	-				-
4	特殊損失の件数	-	-	-	-	-	-	-				-
5	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	1,182	24	22	16	30	88	-				194
千万円を超える損失を集計したもの												
6	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除前)	1,096	11	-	-	30	75	-				173
7	損失の件数	7	1	-	-	1	2	-				1
8	特殊損失の総額	-	-	-	-	-	-	-				-
9	特殊損失の件数	-	-	-	-	-	-	-				-
10	ネットの損失の合計額 (特殊損失控除後)	1,096	11	-	-	30	75	-				173
オペレーショナル・リスク相当額の計測に関する事項												
11	ILMの算出への内部損失 データ利用の有無	有	有	有	有	有	有	有				-
12	項番11で内部損失デー タを利用していない場合 は、内部損失データの承 認基準充足の有無	-	-	-	-	-	-	-				-

第三十四面 OR2：BICの構成要素

2025年3月末

(単位：百万円)

OR2:BICの構成要素

項番		イ	ロ	ハ
		当期末	前期末	前々期末
1	ILDC	141,976		
2	資金運用収益	244,032	203,566	174,927
3	資金調達費用	106,448	85,306	51,294
4	金利収益資産	20,923,477	20,444,276	16,932,299
5	受取配当金	16,492	15,821	14,139
6	SC	71,312		
7	役務取引等収益	65,088	63,221	60,229
8	役務取引等費用	14,015	12,416	10,580
9	その他業務収益	9,462	8,845	7,090
10	その他業務費用	6,571	5,362	4,235
11	FC	13,621		
12	特定取引勘定のネット損益 (特定取引等のネット損益)	1,121	1,438	1,995
13	特定取引勘定以外の勘定のネット損益 (特定取引等以外の勘定のネット損益)	18,889	12,586	△4,834
14	BI	226,910		
15	BIC	31,036		
16	除外特例の対象となる連結子法人等又は事業部門を含むBI	226,910		
17	除外特例によって除外したBI	-		

2026年3月末

(単位：百万円)

OR2:BICの構成要素

項番		イ	ロ	ハ
		当期末	前期末	前々期末
1	ILDC	161,443		
2	資金運用収益	307,435	244,032	203,566
3	資金調達費用	132,373	106,448	85,306
4	金利収益資産	20,394,211	20,923,436	20,444,287
5	受取配当金	21,108	16,492	15,821
6	SC	76,099		
7	役務取引等収益	68,769	65,088	63,221
8	役務取引等費用	15,415	14,007	12,423
9	その他業務収益	12,680	9,559	8,979
10	その他業務費用	12,039	8,937	7,397
11	FC	16,982		
12	特定取引勘定のネット損益 (特定取引等のネット損益)	590	1,121	1,438
13	特定取引勘定以外の勘定のネット損益 (特定取引等以外の勘定のネット損益)	16,321	18,889	12,586
14	BI	254,525		
15	BIC	35,178		
16	除外特例の対象となる連結子法人等又は事業部門を含むBI	254,525		
17	除外特例によって除外したBI	-		

【自己資本の充実の状況】
【銀行 連結】
定量的な開示事項

第三十五面 OR3：オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

2025年3月末

(単位：百万円)

OR3:オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

項番		
1	BIC	31,036
2	ILM	0.62
3	オペレーショナル・リスク相当額	19,418
4	オペレーショナル・リスク・アセットの額	242,729

2026年3月末

(単位：百万円)

OR3:オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本額の概要

項番		
1	BIC	35,178
2	ILM	0.61
3	オペレーショナル・リスク相当額	21,733
4	オペレーショナル・リスク・アセットの額	271,673

第三十六面 ENC1：担保資産の状況

2025年3月末

(単位：百万円)

ENC1：担保資産の状況

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		担保に供されている資産の額	担保に供されていない資産の額	合計	うち、証券化エクスポージャーの額
1	現金預け金	-	4,245,781	4,245,781	-
2	特定取引資産	-	16,496	16,496	-
3	有価証券	1,377,694	1,801,274	3,178,969	-
4	貸出金	1,313,458	11,869,726	13,183,185	-
5	その他資産	73,944	265,022	338,967	-
6	上記以外の資産の部の項目	-	667,893	667,893	-
	合計	2,765,098	18,866,194	21,631,292	-

2026年3月末

(単位：百万円)

ENC1：担保資産の状況

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		担保に供されている資産の額	担保に供されていない資産の額	合計	うち、証券化エクスポージャーの額
1	現金預け金	-	2,680,390	2,680,390	-
2	特定取引資産	-	22,998	22,998	-
3	有価証券	1,472,756	2,019,062	3,491,819	-
4	貸出金	1,231,348	12,850,987	14,082,336	-
5	その他資産	51,496	344,645	396,141	-
6	上記以外の資産の部の項目	-	538,095	538,095	-
	合計	2,755,602	18,456,179	21,211,781	-

第三十七面 CMS1：内部モデルを用いた手法と標準的手法のリスク・アセットの比較

2025年3月末

(単位：百万円)

CMS1：内部モデルを用いた手法と標準的手法のリスク・アセットの比較

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセットの額			
		内部モデルを用いて算出したリスク・アセットの額	標準的な手法適用分のリスク・アセットの額	リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的な手法により算出したリスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	信用リスク	4,854,301	322,748	5,177,050	9,886,192
2	カウンターパーティ信用リスク	22,428	4,782	27,211	47,188
3	CVAリスク		68,338	68,338	68,338
4	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	-	-	-	-
5	マーケット・リスク	-	78,667	78,667	78,667
6	オペレーショナル・リスク		242,729	242,729	242,729
7	その他リスク・アセット		1,555,265	1,555,265	874,317
8	合計	4,876,730	2,272,532	7,149,263	11,197,434

2026年3月末

(単位：百万円)

CMS1：内部モデルを用いた手法と標準的手法のリスク・アセットの比較

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセットの額			
		内部モデルを用いて算出したリスク・アセットの額	標準的な手法適用分のリスク・アセットの額	リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的な手法により算出したリスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	信用リスク	5,140,272	448,856	5,589,128	10,855,051
2	カウンターパーティ信用リスク	19,373	6,260	25,633	39,297
3	CVAリスク		73,550	73,550	73,550
4	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	-	-	-	-
5	マーケット・リスク	-	87,260	87,260	87,260
6	オペレーショナル・リスク		271,673	271,673	271,673
7	その他リスク・アセット		1,733,564	1,733,564	1,090,712
8	合計	5,159,646	2,621,166	7,780,812	12,417,546

第三十八面 CMS2：ポートフォリオ別の内部格付手法と標準的手法の信用リスク・アセットの比較
2025年3月末

(単位：百万円)

CMS2：ポートフォリオ別の内部格付手法と標準的手法の信用リスク・アセットの比較

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		信用リスク・アセットの額			
		内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額	イ欄の内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額について、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額	信用リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	ソブリン向けエクスポージャー	192,101	69,092	192,101	69,092
	うち、我が国の地方公共団体向け	55,768	-	55,768	-
	うち、外国の中央政府等以外の公共部門向け	6,215	1,939	6,215	1,939
	うち、国際開発銀行向け	-	-	-	-
	うち、地方公共団体金融機構向け	735	520	735	520
	うち、我が国の政府関係機関向け	38,339	30,743	38,339	30,743
	うち、地方三公社向け	291	460	291	460
2	金融機関等向けエクスポージャー	87,790	169,259	89,109	170,578
3	株式等向けエクスポージャー	255,695	167,050	497,071	408,427
4	購入債権	11,956	16,013	12,142	16,199
5	事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）	1,494,436	3,390,624	1,563,849	3,460,037
	うち、基礎的内部格付手法適用分	1,494,436		1,494,436	
	うち、先進的内部格付手法適用分	-		-	
6	中堅中小企業向けエクスポージャー	1,546,730	3,068,463	1,546,730	3,068,463
	うち、基礎的内部格付手法適用分	1,546,730		1,546,730	
	うち、先進的内部格付手法適用分	-		-	
7	居住用不動産向けエクスポージャー	728,124	1,825,744	728,124	1,825,744
8	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	78,516	100,762	78,516	100,762
9	その他リテール向けエクスポージャー	145,534	275,116	155,989	285,571
10	特定貸付債権	313,415	481,316	313,415	481,316
	うち、事業用不動産向け貸付け及びボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け	153,006	224,650	153,006	224,650
11	合計	4,854,301	9,563,444	5,177,050	9,886,192

2026年3月末

(単位：百万円)

CMS2：ポートフォリオ別の内部格付手法と標準的手法の信用リスク・アセットの比較

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		信用リスク・アセットの額			
		内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額	イ欄の内部格付手法適用分の信用リスク・アセットの額について、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額	信用リスク・アセットの額	資本フロア計算に用いられる、標準的手法により算出した信用リスク・アセットの額（フロア掛目前）
1	ソブリン向けエクスポージャー	177,452	59,759	177,452	59,759
	うち、我が国の地方公共団体向け	44,898	-	44,898	-
	うち、外国の中央政府等以外の公共部門向け	5,915	976	5,915	976
	うち、国際開発銀行向け	-	-	-	-
	うち、地方公共団体金融機構向け	804	655	804	655
	うち、我が国の政府関係機関向け	29,842	24,542	29,842	24,542
	うち、地方三公社向け	129	79	129	79
2	金融機関等向けエクスポージャー	89,121	148,470	90,791	150,140
3	株式等向けエクスポージャー	286,185	224,228	656,207	594,250
4	購入債権	14,893	21,142	14,962	21,211
5	事業法人向けエクスポージャー（中堅中小企業向けエクスポージャー及び特定貸付債権を除く。）	1,664,964	3,719,712	1,734,030	3,788,778
	うち、基礎的内部格付手法適用分	1,664,964		1,664,964	
	うち、先進的内部格付手法適用分	-		-	
6	中堅中小企業向けエクスポージャー	1,551,565	3,147,866	1,551,565	3,147,866
	うち、基礎的内部格付手法適用分	1,551,565		1,551,565	
	うち、先進的内部格付手法適用分	-		-	
7	居住用不動産向けエクスポージャー	746,685	2,134,101	746,685	2,134,101
8	適格リボルビング型リテール向けエクスポージャー	82,911	104,995	82,911	104,995
9	その他リテール向けエクスポージャー	158,778	289,185	166,808	297,215
10	特定貸付債権	367,713	556,732	367,713	556,732
	うち、事業用不動産向け貸付け及びボラティリティの高い事業用不動産向け貸付け	193,393	290,887	193,393	290,887
11	合計	5,140,272	10,406,195	5,589,128	10,855,051

【自己資本の充実の状況】

【銀行 連結】

連結レバレッジ比率に関する開示事項

連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(第一面)

(単位：百万円)

項番 (国際 様式 (LR1) の該当番号)	項目	2026年3月末	2025年3月末
1	連結貸借対照表における総資産の額	21,211,781	21,631,292
2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	-	-
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	-	-
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	2,556,085	4,148,358
5	顧客資産のうち、連結貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	136	169
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	-	-
8	デリバティブ取引等に関する調整額	△ 10,928	941
8 a	デリバティブ取引等に関する額	194,400	133,076
8 b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	205,328	132,134
9	レポ取引等に関する調整額	8,135	11,748
9 a	レポ取引等に関する額	26,317	22,677
9 b	レポ取引等に関する額 (△)	18,181	10,928
10	オフ・バランス取引に関する額	463,145	446,309
11	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	14,082	15,503
12	その他の調整項目	△ 131,040	△ 101,724
12 a	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	61,879	45,933
12 b	支払承諾見返勘定の額 (△)	23,361	24,854
12 c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	-	-
12 d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	45,799	30,936
12 e	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	-	-
13	総エクスポージャーの額	18,971,062	17,824,875

(第二面)
(単位：百万円、%)

項番 (国際 様式 (LR2) の該当番号)	項目	2026年3月末	2025年3月末
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	18,408,960	17,315,186
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	-	-
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	45,799	30,936
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	-	-
5	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	14,082	15,503
6	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	61,879	45,933
7	オン・バランス資産の額 (イ)	18,287,199	17,222,812
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	135,671	74,662
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	58,728	58,413
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	-	-
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	194,400	133,076
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	18,181	10,928
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	8,135	11,748
17	代理取引のエクスポージャーの額		
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	26,317	22,677
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	2,493,222	2,414,393
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	2,030,076	1,968,083
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	463,145	446,309
連結レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	1,168,734	1,075,732
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	18,971,062	17,824,875
25	連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	6.16	6.03
26	適用する所要連結レバレッジ比率	3.15	3.15
27	適用する所要連結レバレッジ・バッファ比率	-	-
日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 (6)			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	18,971,062	17,824,875
	日本銀行に対する預け金の額	2,556,085	4,148,358
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	21,527,148	21,973,234
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ´))	5.42	4.89
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	28,151	25,760
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	28,151	25,760
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	-	-
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	18,181	10,928
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	18,181	10,928
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	-	-
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	18,981,032	17,839,707
30 a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	21,537,118	21,988,066
31	連結レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	6.15	6.02
31 a	連結レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	5.42	4.89

前連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

該当事項はありません。

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
自己資本の構成に関する開示事項

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ
		2026年3月末	2025年3月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目（1）				
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	984,742	943,816	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203	267,203	(1) (2)
2	うち、利益剰余金の額	802,000	767,280	(3)
1c	うち、自己株式の額（△）	64,921	75,104	(4)
26	うち、社外流出予定額（△）	19,539	15,562	
	うち、上記以外に該当するものの額	-	-	
1b	普通株式に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-	
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	150,859	93,442	(5)
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額 (イ)	1,135,602	1,037,259	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目（2）				
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	13,756	10,631	
8	うち、のれんに係るものの額	-	-	
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	13,756	10,631	(6)
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	
11	繰延ヘッジ損益の額	△ 9,622	△ 8,729	(7)
12	適格引当金不足額	21,727	23,913	
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	2,687	1,188	
15	前払年金費用の額	21,081	19,146	(8)
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	59	30	
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	1,076	-	
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限定る。）に関連するものの額	-	-	
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限定る。）に関連するものの額	-	-	
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	
24	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限定る。）に関連するものの額	-	-	
25	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限定る。）に関連するものの額	-	-	
27	その他Tier1資本不足額	-	-	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額 (ロ)	50,766	46,181	
普通株式等Tier1資本				
29	普通株式等Tier1資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	1,084,835	991,077	

(前ページより続く)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ	
		2026年3月末	2025年3月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目	
その他Tier1資本に係る基礎項目（3）					
30	31a	その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-	
	31b	その他Tier1資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-	
	32	その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-	
		特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-	-	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額	(二)	-	-	
その他Tier1資本に係る調整項目					
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-		
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		
42	Tier2資本不足額	-	-		
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額	(ホ)	-	-	
その他Tier1資本					
44	その他Tier1資本の額（(二)－(ホ)）	(ヘ)	-	-	
Tier1資本					
45	Tier1資本の額（(ハ)＋(ヘ)）	(ト)	1,084,835	991,077	
Tier2資本に係る基礎項目（4）					
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-		
	Tier2資本調達手段に係る株式引受権及び新株予約権の合計額	-	-		
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	-	-		
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-	-		
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	7	5		
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	7	5		
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-	-		
51	Tier2資本に係る基礎項目の額	(チ)	7	5	
Tier2資本に係る調整項目（5）					
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-		
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	1	-		
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		
57	Tier2資本に係る調整項目の額	(リ)	1	-	
Tier2資本					
58	Tier2資本の額（(チ)－(リ)）	(ヌ)	5	5	
総自己資本					
59	総自己資本の額（(ト)＋(ヌ)）	(ル)	1,084,841	991,083	

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
自己資本の構成に関する開示事項

(前ページより続く)

(単位：百万円、%)

CC1：自己資本の構成（銀行単体）

国際様式の 該当番号	項目	イ	ロ	ハ	
		2026年3月末	2025年3月末	別紙様式 第十三号 (CC2) の参照項目	
リスク・アセット (6)					
60	リスク・アセットの額	(ヲ)	7,639,570	7,004,793	
自己資本比率及び資本バッファー (7)					
61	普通株式等Tier1比率 ((ハ) / (ヲ))		14.20	14.14	
62	Tier1比率 ((ト) / (ヲ))		14.20	14.14	
63	総自己資本比率 ((ル) / (ヲ))		14.20	14.14	
調整項目に係る参考事項 (8)					
72	少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額		108,591	93,202	
73	その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額		39,094	30,216	
74	無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。）に係る調整項目不算入額		-	-	
75	繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に係る調整項目不算入額		-	-	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項 (9)					
76	一般貸倒引当金の額		7	5	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額		771	732	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額（当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。）		-	-	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額		43,056	39,510	

【自己資本の充実の状況】

【銀行 単体】

定性的な開示事項

金利リスクに関する事項

【自己資本の充実の状況】【銀行 連結】における「定性的な開示事項」の「金利リスクに関する事項」に記載しています。

貸借対照表の科目が別紙様式第一号に記載する項目のいずれに相当するかについての説明

2025年3月末

(単位：百万円)

CC2：貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表貸借対照表	別紙様式第一号を 参照する番号又は 記号	付表 参照番号
資産の部			
現金預け金	4,236,671		
コールローン	448,130		
債券貸借取引支払保証金	1,379		
買入金銭債権	18,032		
特定取引資産	15,414		
有価証券	3,162,013		6-a
貸出金	13,233,344		6-b
外国為替	5,571		
その他資産	252,791		6-c
有形固定資産	118,680		
無形固定資産	15,498	(6)	2
前払年金費用	26,107	(8)	3
支払承諾見返	22,454		
貸倒引当金	△ 25,510		
資産の部合計	21,530,580		
負債の部			
預金	16,268,796		
譲渡性預金	523,114		
コールマネー	1,415,022		
売現先勘定	50,565		
債券貸借取引受入担保金	214,190		
特定取引負債	9,435		
借入金	1,619,707		
外国為替	845		
社債	44,831		7
信託勘定借	16,892		
その他負債	258,863		
睡眠預金払戻損失引当金	421		
ポイント引当金	649		
繰延税金負債	21,279		4-a
再評価に係る繰延税金負債	10,688		4-b
支払承諾	22,454		
負債の部合計	20,477,758		
純資産の部			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,134	(2)	1-b
利益剰余金	767,280	(3)	1-c
自己株式	△ 75,104	(4)	1-d
株主資本合計	959,379		
その他有価証券評価差額金	66,197		
繰延ヘッジ損益	17,650	(7)	5
土地再評価差額金	9,594		
評価・換算差額等合計	93,442	(5)	
純資産の部合計	1,052,821		
負債及び純資産の部合計	21,530,580		

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
定性的な開示事項

2026年3月末

(単位：百万円)

CC2：貸借対照表の科目と自己資本の構成に関する開示項目の対応関係

項目	イ	ハ	ニ
	公表貸借対照表	別紙様式第一号を 参照する番号又は 記号	付表 参照番号
資産の部			
現金預け金	2,674,547		
コールローン	306,014		
債券貸借取引支払保証金	3,782		
買入金銭債権	19,033		
特定取引資産	22,027		
有価証券	3,470,156		6-a
貸出金	14,147,744		6-b
外国為替	6,781		
その他資産	301,368		6-c
有形固定資産	120,352		
無形固定資産	20,053	(6)	2
前払年金費用	29,171	(8)	3
支払承認見返	20,627		
貸倒引当金	△ 29,867		
資産の部合計	21,111,793		
負債の部			
預金	16,851,456		
譲渡性預金	242,316		
コールマネー	415,244		
売現先勘定	63,045		
債券貸借取引受入担保金	192,214		
特定取引負債	19,347		
借入金	1,687,953		
外国為替	882		
社債	47,955		7
信託勘定借	17,970		
その他負債	339,054		
睡眠預金払戻損失引当金	213		
ポイント引当金	674		
繰延税金負債	47,275		4-a
再評価に係る繰延税金負債	10,420		4-b
支払承認	20,627		
負債の部合計	19,956,651		
純資産の部			
資本金	145,069	(1)	1-a
資本剰余金	122,134	(2)	1-b
利益剰余金	802,000	(3)	1-c
自己株式	△ 64,921	(4)	1-d
株主資本合計	1,004,282		
その他有価証券評価差額金	86,088		
繰延ヘッジ損益	55,087	(7)	5
土地再評価差額金	9,683		
評価・換算差額等合計	150,859	(5)	
純資産の部合計	1,155,141		
負債及び純資産の部合計	21,111,793		

《付表》 単体

株主資本

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
資本金	145,069	145,069		1-a
資本剰余金	122,134	122,134		1-b
利益剰余金	767,280	802,000		1-c
自己株式	△ 75,104	△ 64,921		1-d
株主資本合計	959,379	1,004,282		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
普通株式等Tier1資本に係る額	959,379	1,004,282	普通株式に係る株主資本の額 (社外流出予定額調整前)	
うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203	267,203		1a
うち、利益剰余金の額	767,280	802,000		2
うち、自己株式の額 (△)	75,104	64,921		1c
うち、上記以外に該当するものの額	-	-		

無形固定資産

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
無形固定資産	15,498	20,053		2
うち、のれん	-	-		
うち、モーゲージ・サービシング・ライツ	-	-		
うち、その他の無形固定資産	15,498	20,053	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等)	
上記に係る税効果	4,866	6,296	全額費用認識した場合の繰延税金 資産相当額	

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
無形固定資産 のれんに係るものの額	-	-		8
無形固定資産 その他の無形固定資産に係るものの額	10,631	13,756	のれん、モーゲージ・サービシング・ライツ以外 (ソフトウェア等) 税効果控除後	9
無形固定資産 モーゲージ・サービシング・ライツに係るものの額	-	-		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		20
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		24
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-	-		74

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
定性的な開示事項

前払年金費用

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)				
貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
前払年金費用	26,107	29,171		3
上記に係る繰延税金負債	6,961	8,089		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
前払年金費用の額	19,146	21,081	繰延税金負債控除後	15

繰延税金資産

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)				
貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
繰延税金負債	21,279	47,275		4-a
再評価に係る繰延税金負債	10,688	10,420		4-b
その他の無形固定資産の税効果勘案分	4,866	6,296	全額費用認識した場合の繰延税金 資産相当額	
前払年金費用の繰延税金負債	6,961	8,089		

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、貸借対照 表計上額とは一致せず	10
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）の額	-	-	資産負債相殺処理のため、貸借対照 表計上額とは一致せず	
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		21
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		25
繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。） に係る調整項目不算入額	-	-		75

繰延ヘッジ損益

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)				
貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
繰延ヘッジ損益	17,650	55,087		5

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
繰延ヘッジ損益の額	△ 8,729	△ 9,622	ヘッジ対象に係る時価評価差額が 「評価・換算差額等」として計上さ れているものを除いたもの	11

金融機関向け出資等の対象科目

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
有価証券	3,162,013	3,470,156	うち、金融機関向け出資等 2025年3月末 118,287百万円 2026年3月末 148,659百万円	6-a
貸出金	13,233,344	14,147,744	劣後ローン等を含む うち、金融機関向け出資等 2025年3月末 5,161百万円 2026年3月末 161百万円	6-b
その他資産	252,791	301,368	出資金を含む うち、金融機関向け出資等 2025年3月末 2百万円 2026年3月末 2百万円	6-c

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)

自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
自己保有資本調達手段の額	30	59		
自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	30	59		16
自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-		37
自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-		52
意図的に保有している他の金融機関等の資本等調達手段の額	-	-		
意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-		17
意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		38
意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		53
少数出資金融機関等の資本等調達手段の額	93,202	109,668		
少数出資金融機関等の普通株式の額	-	1,076		18
少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		39
少数出資金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	1		54
少数出資金融機関等の対象資本等調達手段に係る調整項目不算入額	93,202	108,591		72
その他金融機関等の資本等調達手段の額	30,216	39,094		
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-		19
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-		23
その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-		40
その他金融機関等のTier2資本調達手段及びその他外部TLAC関連調達手段の額	-	-		55
その他金融機関等に係る対象資本等調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	30,216	39,094		73

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
定性的な開示事項

その他資本調達

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)				
貸借対照表科目	2025年3月末	2026年3月末	備考	参照番号
社債	44,831	47,955		7

(2) 自己資本の構成

(単位：百万円)				
自己資本の構成に関する開示事項	2025年3月末	2026年3月末	備考	国際様式の 該当番号
その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	-	-		32
Tier2資本調達手段に係る負債の額	-	-		46

自己資本調達手段に関する契約内容

バーゼルⅢによる自己資本比率規制に係る開示事項のうち「自己資本調達手段に関する契約内容の概要および詳細」につきましては、当行ウェブサイト「バーゼル規制関係資料」に掲載しています。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 単体】

定量的な開示事項

開示告示別紙様式第二号に基づく開示事項

第一面 OV1：リスク・アセットの概要

(単位：百万円)

OV1：リスク・アセットの概要

国際様式の 該当番号		イ	ロ	ハ	ニ
		リスク・アセット		所要自己資本	
		2026年3月末	2025年3月末	2026年3月末	2025年3月末
1	信用リスク	5,732,974	5,301,790	458,637	424,143
2	うち、標準的手法適用分	432,914	300,022	34,633	24,001
3	うち、基礎的内部格付手法適用分	4,811,907	4,569,672	384,952	365,573
4	うち、スロットティング・クライテリア適用分	367,713	313,415	29,417	25,073
5	うち、先進的内部格付手法適用分	-	-	-	-
	うち、重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
	うち、リース取引における見積残存価額のエクスポージャー	-	-	-	-
	その他	120,439	118,680	9,635	9,494
6	カウンターパーティ信用リスク	21,415	24,323	1,713	1,945
7	うち、SA-CCR適用分	18,982	21,052	1,518	1,684
8	うち、期待エクスポージャー方式適用分	-	-	-	-
	うち、中央清算機関関連エクスポージャー	2,041	1,894	163	151
9	その他	391	1,376	31	110
10	CVAリスク	73,550	68,338	5,884	5,467
	うち、SA-CVA適用分	-	-	-	-
	うち、完全なBA-CVA適用分	-	-	-	-
	うち、限定的なBA-CVA適用分	73,550	68,338	5,884	5,467
11	経過措置により適用されるマーケット・ベース方式に基づく株式等エクスポージャー	248,985	207,759	19,918	16,620
12	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（ルック・スルー方式）	1,074,058	982,667	85,924	78,613
13	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（マンドート方式）	63,673	52,306	5,093	4,184
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式250%）	-	-	-	-
	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（蓋然性方式400%）	-	-	-	-
14	リスク・ウェイトのみなし計算又は信用リスク・アセットのみなし計算（フォールバック方式1250%）	889	1,199	71	95
15	未決済取引	-	-	-	-
16	信用リスク・アセットの額の算出対象となっている証券化エクスポージャー	-	-	-	-
17	うち、内部格付手法準拠方式適用分	-	-	-	-
18	うち、外部格付準拠方式又は内部評価方式適用分	-	-	-	-
19	うち、標準的手法準拠方式適用分	-	-	-	-
	うち、1250%のリスク・ウェイト適用分	-	-	-	-
20	マーケット・リスク	87,260	78,666	6,980	6,293
21	うち、標準的方式適用分	-	-	-	-
22	うち、内部モデル方式適用分	-	-	-	-
	うち、簡易的方式適用分	87,260	78,666	6,980	6,293
23	勘定間の振替分	-	-	-	-
24	オペレーショナル・リスク	239,026	212,202	19,122	16,976
25	特定項目のうち、調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	97,735	75,541	7,818	6,043
26	フロア調整	-	-	-	-
27	合計	7,639,570	7,004,793	611,165	560,383

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
定量的な開示事項

第三十面 IRRBB1：金利リスク

(単位：百万円)

IRRBB1：金利リスク

項番		イ	ロ	ハ	ニ
		ΔEVE		ΔNII	
		2026年3月末	2025年3月末	2026年3月末	2025年3月末
1	上方パラレルシフト	52,457	45,704	4,625	2,971
2	下方パラレルシフト	30,895	18,362	51,082	47,388
3	スティープ化	53,439	46,918		
4	フラット化	148	95		
5	短期金利上昇	13,849	10,631		
6	短期金利低下	30,696	29,863		
7	最大値	53,439	46,918	51,082	47,388
		ホ		ヘ	
		2026年3月末		2025年3月末	
8	Tier1 資本の額	1,084,835		991,077	

※1. ΔEVEは経済的価値の減少をプラス、ΔNIIは期間収益の減少をプラスで表しています。

※2. ΔEVE及びΔNIIにおける複数の通貨の集計は、異なる通貨間の相関を考慮せず、通貨別に算出した金利リスクの正値（経済的価値や期間収益の減少額）を単純合算しています。

※3. ΔEVEの算出における流動性預金への満期の割当て方法については、金融庁が定める保守的な前提を採用しています。

【自己資本の充実の状況】

【銀行 単体】

単体レバレッジ比率に関する開示事項

単体レバレッジ比率の構成に関する事項

(第一面)

(単位：百万円)

項番 (国際 様式 (LR1) の該当番号)	項目	2026年3月末	2025年3月末
1	貸借対照表における総資産の額	21,111,793	21,530,580
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	-	-
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	2,551,376	4,144,618
5	顧客資産のうち、貸借対照表に計上されている金額 (△)		
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	-	-
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	-	-
8	デリバティブ取引等に関する調整額	△ 10,928	941
8 a	デリバティブ取引等に関する額	194,400	133,076
8 b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	205,328	132,134
9	レポ取引等に関する調整額	3,923	8,864
9 a	レポ取引等に関する額	18,738	17,185
9 b	レポ取引等に関する額 (△)	14,815	8,321
10	オフ・バランス取引に関する額	459,879	443,313
11	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	21,727	23,913
12	その他の調整項目	△ 102,401	△ 83,200
12 a	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	35,973	29,809
12 b	支払承諾見返勘定の額 (△)	20,627	22,454
12 c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	-	-
12 d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	45,799	30,936
13	総エクスポージャーの額	18,889,162	17,731,966

【自己資本の充実の状況】
【銀行 単体】
単体レバレッジ比率に関する開示事項

(第二面)
(単位：百万円、%)

項番 (国際 様式 (LR2) の該当番号)	項目	2026年3月末	2025年3月末
オン・バランス資産の額 (1)			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	18,319,645	17,223,051
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	-	-
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	45,799	30,936
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	-	-
5	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	21,727	23,913
6	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	35,973	29,809
7	オン・バランス資産の額 (イ)	18,216,143	17,138,391
デリバティブ取引等に関する額 (2)			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	135,671	74,662
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	58,728	58,413
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	-	-
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	-	-
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	-	-
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	194,400	133,076
レポ取引等に関する額 (3)			
14	レポ取引等に関する資産の額	14,815	8,321
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	-	-
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	3,923	8,864
17	代理取引のエクスポージャーの額		
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	18,738	17,185
オフ・バランス取引に関する額 (4)			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	2,485,170	2,406,020
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	2,025,291	1,962,707
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	459,879	443,313
単体レバレッジ比率 (5)			
23	資本の額 (ホ)	1,084,835	991,077
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	18,889,162	17,731,966
25	単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.74	5.58
26	適用する所要単体レバレッジ比率	3.15	3.15
日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	18,889,162	17,731,966
	日本銀行に対する預け金の額	2,551,376	4,144,618
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ´)	21,440,538	21,876,585
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ´))	5.05	4.53
平均値の開示 (7)			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	24,980	23,113
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	24,980	23,113
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	-	-
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	14,815	8,321
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	14,815	8,321
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	-	-
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	18,899,327	17,746,758
30 a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	21,450,703	21,891,377
31	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	5.74	5.58
31 a	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	5.05	4.52

前事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因
該当事項はありません。